

中畑善策氏所蔵資料目録

番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	年代	作成	宛先	形態	点数	備考
1	1				[モノクローム写真](被写体は書状。「会津藩計相のこり、てきより取巻れ、無是非一統打死覚悟相組メ候得とも」など)	(慶応4年)辰七月四日	逸平(瀧沢逸平)	為輔様、次郎兵衛様、貞次様、敬止郎様	状	1	年代・作成・宛先は写真被写体のもの。同被写体は中畑善策氏所蔵資料中に無し。
1	2				古文真宝前集(その他内題:諸儒註解古文真宝前集、古文前集、魁本大字諸儒箋解古文真宝。版本)	文化二年乙丑初冬補刻(貞享四年丁卯仲春出版)	書林・江戸日本橋一丁目・須原茂兵衛、など		冊	1	地に書入れ「古文前」。丁間文書として墨書きで「百五十九年前(文化二年)」とのみある紙片あり。書き外題
1	3				論語集註大全(巻7・8。その他内題:論語大全。版本)	(近世刊)			冊	1	地に書入れ「論語 七 八」。外題無し、裏表紙欠
1	4				論語集註大全(巻9・10。その他内題:論語大全。版本)	(近世刊)			冊	1	地に書入れ「論語 九 十」。外題無し
1	5				論語(巻8~10。版本)	(近世刊)	朱熹集註		冊	1	見返し書入れ「佐藤今朝吉」。外題無し
1	6				詩経(版本)	(近世刊)	洛陽雲川弘毅改定		冊	1	地に書入れ「詩経」。外題無し
1	7				詩下(版本)	明和新刊			冊	1	地に書入れ「詩 呂」。丁間に題簽「詩経 山崎闇齋点 再刻 呂」、名札「木名瀬直行虎溪(「直行」印)(「当家九世仙府住吝(カ)技弍人木名瀬氏藤原義元印)」、志村五城漢詩「九日偶成」(七言絶句)刷物の3点。外題無し
1	8				易経 山崎闇齋点改刻 乾(版本)	(近世刊)	洛陽雲川弘毅改定		冊	1	地に書入れ「易 乾」。巻末に書入れ「藤原永吉」。丁間に紙片1点、訓点を示す付箋5点。
1	9				周易 坤(版本)	享和改刻	山崎闇齋点。梶川芸香堂、勝村文徳堂、刻		冊	1	地に書入れ「易 二」。訓点を示す付箋6点。奥付書入れ「藤原永吉」。裏表紙書入れ「中畑友五郎」。題簽剥離跡に書き外題
1	10				唐後詩辛集巻之上(版本)	(近世刊)			冊	1	「函館釧路間列車運行表」により表紙補綴。裏表紙書入れ「中畑」。
1	11				孟子集註大全(巻13・14。版本)	慶安四年歳次辛卯夏四月日	洛陽後学石菴鶴信之訓点弁校讎		冊	1	地に書入れ「孟子 十三 十四」。丁間に題簽「官板 四書大全 孟子 九十」。外題無し
1	12				孟子集註大全(巻9・10。版本)	(慶安4年4月)	(洛陽後学石菴鶴信之訓点弁校讎)		冊	1	題簽剥離跡有り
1	13				孟子集註大全(巻5・6。版本)	(慶安4年4月)	(洛陽後学石菴鶴信之訓点弁校讎)		冊	1	題簽剥離跡有り
1	14				首書四書集註 孟子(版本)	(近世刊)			冊	1	背に書入れ「孟子 一梁恵王上 同下 公孫丑上 同下 共十」。本文中に書き込み、頭注などあり。外題無し
1	15				みかけあふき全(版本)	安政四年丁巳新刻(安政四年七月後跋)	水府・郡官蔵板、三輪信善記并書、吉田尚徳(後跋)		冊	1	
1	16				女孝経 唐鄭氏 女誠 曹大姑 完(写本)	(近世写)			冊	1	
1	17				帝範・臣軌(版本)	寛文八年秋八月日(跋)	(帝範、唐太宗撰。臣軌、周思茂ほか撰)、(跋)柳谷散人野子苞父書(「静軒」印影印)(「子苞」印影印)、林和泉掾板行		冊	1	表紙・背破損

中畑善策氏所蔵資料目録

1	18		漢文中学読本 三卷上 (題簽)	(明治刷)			状	1	
1	19		論語(巻6・7。版本)	(近世刊)	朱熹集註		冊	1	欄外などに註釈書入れ。表紙外装欠損
1	20		首書四書集註 論語(巻3・4。版本)	(近世刊)	朱熹集註		冊	1	地に書入れあるも磨滅により判読不可。欄外に註釈書入れ1ヶ所あり。丁間に紙片1点。表紙外装欠損
1	21		論語集註大全(巻11・12。その他内題:論語大全。版本)	(近世刊)			冊	1	地に書入れ「論語 十一 十二」。表紙外装欠損
1	22		[和古書](謡曲「東北」。写本)	(近世カ)			冊	1	
1	23		百人一首(写本)	(近世写)			冊	1	
1	24		長唄 老松(零本)(版本。表題作①)のほか、②「猿廻し」、③「こもそう・文七清川」合冊)	①(近世) ②文政十一戊子年三月吉日発行 ③(近世)	①長唄・富士田千蔵など ②長唄・芳村伊十郎など ③長唄・富士田吉次など		冊	1	
1	25		御製性理大全(写本)	(近世写)	(明・胡広、楊榮、金幼孜等撰)		冊	1	丁間文書1点あり。外題無し
1	26		[和古書](仮名消息。版本)	(近世カ)			冊	1	表紙外装欠損
1	27		①安政語録(安政5年付徳川齊昭宛九条尚忠書状、安政5年5月2日付ハリス宛老中書簡、安政5年5月2日付米大統領ピアス宛徳川家定返書、安政5年5月6日付ピアス宛徳川家定返翰案、各写) ②安政五年三月廿於 小御門所被 仰出候 勅答之写 ③安(政脱カ)語録(安政4年9月付伊達慶邦上書、安政5年6月10日～7月記録、「安政六己未六月ヨリ書記左之通」、万延元年4月9日和歌)(2冊・1点合綴)	(記載内容:安政4年9月、万延元年4月9日など)			冊	1	
1	28		朱子社倉記考 完(版本)	(近世刊)			冊	1	
1	29		白鹿洞書院掲示(版本)	(近世刊)	(朱子)		冊	1	題簽剥離欠損
1	30		[和古書](謡曲「海士」、「当麻」、「藤渡」、「阿濃」、「女郎花」。版本)	正徳四甲午曆 弥生吉日	洛陽書林、新町通下長者町上ル町・谷口七左衛門(印)、伊勢屋七郎兵衛(印)		冊	1	表紙破損大
1	31		[和古書](仮名消息。版本)	(近世カ)			冊	1	題簽剥離欠損カ
1	32		己酉九月中浣 嘉永間録(表題の記録のほか、「恵美三伯伝」、「安政三丙辰年二月東蝦夷地御驚(警)衛御人数調左二記」、「御歴代様御法号并年月覚」、「安政四丁己歳十月廿七日 志村退蔵門弟輪講御見分章割調」収載)	(記録内容:嘉永2年3月、安政3年2月、安政4年10月27日)	重習館(中畑友五郎)		冊	1	
1	33		四体千字文(版本)	寛保元辛酉三月	金華宋濂識(「金華宋氏」印影印)、京師書房玉枝軒植道有梓行		冊	1	題簽破損
1	34		尚書(その他内題:書経 虞書。版本)	明和新刊	洛陽雲川弘毅改定		冊	1	奥付書入れ「中畑氏」。裏表紙書入れ同左。外題無し
1	35		周書(その他内題:書経 周書。版本)	明和新刊	洛陽雲川弘毅改定		冊	1	奥付書入れ「中畑氏」。丁間に題簽「書経 山崎闇齋点 再刻 地」、紙片4点。外題無し

中畑善策氏所蔵資料目録

1	36			仙台府学読本 西銘 (版本)	文化辛未(8年)鐫	宋・横渠張先生著、晦庵朱先生解、日本後学大槻清準訓点、養賢堂蔵、男沢信清校字、養賢堂御蔵板西銘製本所・大町四丁目・三浦屋儀兵衛		冊	1	題簽剥離跡有り	
1	37			日本王代一覽(巻2。その他内題:王代一覽。版本)	(寛文3年4月刊行、慶安5年5月撰)	(法眼春齋林恕撰、書林村上勘兵衛刊行)		冊	1	題簽剥離欠損	
1	38			日本王代一覽(巻3。その他内題:王代一覽。版本)	(寛文3年4月刊行、慶安5年5月撰)	(法眼春齋林恕撰、書林村上勘兵衛刊行)		冊	1	題簽剥離欠損	
1	39			日本王代一覽(巻4。その他内題:王代一覽。版本)	(寛文3年4月刊行、慶安5年5月撰)	(法眼春齋林恕撰、書林村上勘兵衛刊行)		冊	1	題簽剥離欠損	
1	40			日本王代一覽(巻5。その他内題:王代一覽。版本)	(寛文3年4月刊行、慶安5年5月撰)	(法眼春齋林恕撰、書林村上勘兵衛刊行)		冊	1	題簽やや破損	
1	41			日本王代一覽(巻6。その他内題:王代一覽。版本)	(寛文3年4月刊行、慶安5年5月撰)	(法眼春齋林恕撰、書林村上勘兵衛刊行)		冊	1	題簽剥離欠損	
1	42			日本王代一覽(巻7。その他内題:王代一覽。版本)	寛文三曆癸卯孟春日(刊行)(慶安五年壬辰五月吉日撰)	(撰)法眼春齋林恕、書林村上勘兵衛刊行		冊	1	題簽剥離欠損	
1	43	1		[長箱](箱書き「明和四年正月十三日壱通 天明三年四月十七日壱通 外二明和五年九月分モ入 御知行拝領御書立式通入」)	明和四年正月十三日~天明三年四月十七日				1		
1	43	2		[紙片](赤ボールペン書きの上書き「金子及年貢借用証」)					状	1	
1	43	3	1	[包紙](上書き「甚助一件入 千松一件共入」)	(天明6年12月13日、文化10年8月13日・26日)				状	1	
1	43	3	2	[書状案](「先年御亡父様より御知行四百文之所申請金子」について)	(天明4年カ)	(中畑左角種良)	(八木次郎兵衛)		状	1	
1	43	3	3	[申渡状](「先年八木五郎右衛門方より貸金為返済受取置候御知行」について)	明和四年三月七日	小右衛門(木名瀬小右衛門直行カ)	中畑和太利殿		状	1	
1	43	3	4	[人請証文](「拙者親類千松与申者」ら「三人、此度貴体様御縁御譜代二仕」について)	天明六年十二月日	岩沼西町・勘右衛門(印)	中畑左角様(中畑種良)、御家来衆		状	1	
1	43	3	5	[返答状](「拙者此度私譜代甚助ト申者其御許様御家中遠山丈(右脱カ)衛門殿御躰養子二内々御縁組致候処」について)	(文化10年)八月廿六日	古内主膳(古内広保)内・中畑左角(中畑種朋)	柴多兵庫様御内・高橋助左衛門様		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

1	43	3	6		[暇証文]（「私家中彦七郎与申者」「此度其元聲家督二縁組致度申出候所」について）	文化十年八月十三日	古内主膳（古内広保）内・中畑左角（中畑種朋）（「章」印）	柴田兵右（マ）様御内・遠山丈右衛門様	状	1	
1	43	3	7		[地所間尺・反畝歩覚書]（地所「 \times 式反畝セ式分位」分の間尺・反畝歩）	（近世）			状	1	前後欠カ
1	43	3	8		[年貢内訳書]（「中畑和太利 高百式拾五文」の年貢内訳）	明和四年十二月十六日			状	1	後欠
1	43	3	9	1	[地図]（16筆分の地所）	（近世）			状	1	
1	43	3	9	2	[地所間尺覚書]（「五郎兵衛」所持地「イ」～「チ」9筆「 \times 四百二拾六坪」の間尺）	（近世）			状	1	
1	43	3	9	3	[田畑間尺覚書]（「北ノ田」3筆、「畑」1筆の間尺）	（近世）			状	1	
1	43	3	10		[願書]（「御納戸御用籾之内式石八斗八升」「奉拝借候処」について）	寛政四年四月五日	小河村籾御拝借人・五左衛門（印）	御納戸御借付・御役人様中	状	1	
1	43	3	11		[願書]（「拙者儀先年御納戸御石之内三斗拝借仕居候処」について）	寛政四壬子四月八日	堀内村口入・善八（印）、同村拝借人・清四郎（印）	御納戸御貸付・御役人様中	状	1	
1	43	3	12		[金子借用証文]（「壱歩判金三歩借用」）	明和七年十一月十九日	高福寺（印）	中畑喜右衛門殿	状	1	
1	43	3	13		[申達状]（「此度其御許様御譜代基助ト申者」の養子縁組について）	（文化10年）八月廿六日	柴多兵庫内・高橋助左衛門	古内主膳様（古内広保）御内・中畑左角様（中畑種朋）	状	1	
1	43	4	1		[包紙]（上書き「御直筆」）	（天明4年カ、8日）			状	1	
1	43	4	2		[仰渡書]（「其方義、八木次郎兵衛亡父同苗五郎左衛門代貸金如々相疊り、返済成兼候二付」など。「去々年・去年兩年之大早魃にて御知行迫り大不作二有之」ともあり。）	（天明4年カ、8日）		中畑左角（中畑種良）	状	1	
1	43	5	1		[包紙]（上書き「御直筆御書立入 享和三亥十二月廿三日」）	享和三亥十二月廿三日			状	1	
1	43	5	2		[仰渡書]（「当春中より万御骨折相勤」、「仍之御米四俵・もち米壹俵・大豆壹俵取合六俵之方二被下置候間此旨可申談候事」）	（享和三年）十二月廿三日		（中畑左角種良）	状	1	前欠カ
1	43	6	1		[包紙]（上書き「中畑和太利種良」、裏に「一代運事 宝曆拾三未ノ年八月廿六日 拾歳之時」とあり）	宝曆拾三未ノ年八月廿六日			状	1	
1	43	6	2		本性戊辰納音性木御一代運衰（易占による中畑和太利種良の運勢）	宝曆十有三八吉日（26日）			状	1	
1	43	7	1		[包紙]（上書き「天明三卯四月十七日被 仰渡候御書立入」）	天明三卯四月十七日			状	1	
1	43	7	2		[申渡状]（「其方旧臘金子七百切并米五拾俵差上」について）	（天明3年4月17日）		中畑左角（中畑種良）	状	1	
1	43	8	1		[封紙]（上書き「明和四年正月十三日被 仰渡候事」）	明和四年正月十三日			状	1	
1	43	8	2		[申渡状]（「御手前儀」「千三百四切余献上」について）	（明和4年正月13日）		中畑左角	状	1	
1	44				[印譜]（写本）	（近世写）			冊	1	
1	45	1			天保十一年分 駒口判	（天保11年）	遠島村肝入・吉治（印）、遠島村売人・太郎右衛門、土屋市之進（印）		状	1	紙綴状にして1-45-2「町々明鑑」の綴紐に括り付けられる。

中畑善策氏所蔵資料目録

1	45	2		町々明鑑(版本)	(近世)	根津宮原町・ 上州屋半右衛 門板		冊	1	第1・2丁欠損
1	46			[仙台藩定書留抄](目録は「郡村附之事」など 226条。うち35条まで抄録)	(記載内容:元 禄14年8月12 日<第10条>~ 享保16年7月9 日<第9条>)			冊	1	低間に赤ボールペン書きで「胆沢郡 中畑村」とある付箋。
1	47			[大坂陣時大坂城軍勢配置図]	(近世カ)				1	
1	48			詩語碎金(版本)	文化七年庚午 五月新刻(安 永七年戊戌六 月原板)	(序文)内藤政 陽(「前延陸太 守藤政陽」印 影印)(「厥字 曰子温」印影 印)、など		冊	1	題簽剥離跡有り
1	49			大学 全(版本)	(近世刊)			冊	1	裏表紙書入れ「此主 中畑仙止 郎」。
1	50			林家正本 改正四書集註	(近世刊)	芝山後藤先生 定本、男師周 校訂		冊	1	奥付書入れ「中畠氏」。表紙無し
1	51			葉徴(巻下。版本)	文政十一年戊 子冬	東洞吉益先生 著。		冊	1	裏表紙書入れ「菅原[]」。題簽剥離 跡有り
1	52			孟子(巻3~6。版本)	(近世刊)	朱熹集註		冊	1	巻末に「くマル九」印。巻4は欄外な どに註釈の書入れ多し。表紙無し
1	53			孟子 四(巻之6・7。その他内題:首書四書集註 孟子。版本)	明治四未年三 月吉日(表紙 補綴カ)			冊	1	反故紙による表紙補綴あり。
1	54			孟子(巻之7~10。版本)	(近世刊)			冊	1	表紙保護の反故紙書入れ「(中)畑 仙止郎」、「中畑氏」。欄外に語訓の 書入れなどあり。
1	55			見分耳底記(植物の培養等に関する記録)	明治卅二年第 一月改正	陸前名取郡岩 沼二木の里・ 淡堅堂主人		冊	1	
1	56			[和古書](謡曲「春日」、「国栖」、「蟻通」、「壇 風」、「谷行」。版本)	于時天和二壬 戌吉辰	二条通御幸町 西へ入ル町・ 山本長兵衛新 刊(花押)		冊	1	地に書入れ「春 国 蟻 壇 谷」。 表紙外装欠損
1	57			忠臣水滸伝(前編巻之2。版本)	(近世刊)	東都窟京伝子 著		冊	1	扉欄外に「くフツヤマ」佐」印、「くマルさ 味」印。表紙外装欠損
1	58			忠臣水滸伝(前編巻之3。版本)	(近世刊)	東都窟京伝子 著		冊	1	扉欄外に「くマルさ味」印、「くフツヤマ 佐」印。表紙外装欠損
1	59			袖珍武鑑 全(版本)	天保七丙申歳 毎月改	江戸日本橋南 町目・須原 屋茂兵衛		冊	1	
1	60			道中記(岩沼から須賀川まで)	(近世カ)	此主・多利世		冊	1	
1	61			[三字経](第7句「教之道」~第174句「及老 荘」。写本)	(近世写カ)			冊	1	
1	62			[和古書(零本)](孟子の註釈。写本)	(近世写カ)	丸子弘篤識		冊	1	汚損あり
1	63			靖献遺言(巻3・4。写本)	(近世写カ)			冊	1	丁間に語釈覚2点、白紙1点あり。
1	64			孟子序講義(写本)	(万延元年閏3 月写)	(東海<菅原東 海カ>写)		冊	1	末尾書入れ「安政七改元万延閏三 月諸生扱ナカラ東海六十七歳写」。 若干破損
1	65			論語(朱熹集註序説~巻5。版本)	(近世刊)			冊	1	朱熹集註序説最前丁欄外に「中畑 蔵書」とあり。最前・最終数丁破損 大

中畑善策氏所蔵資料目録

1	66		御家流女中庸 全(版本)	文政十三歳庚寅歳冬十月板刻成	榎先生筆、書肆・仙台国分町十九軒・裳華房・伊勢屋半右衛門板		冊	1	題簽剥離跡に書き外題
1	67		明治十三年正月元旦 御手本蓋紙(写本)	明治十三年正月元旦			冊	1	裏表紙書入れ「岳沼新小路 中畑左角持用」。
1	68		[手習帳]	(弘化年間カ)	中畑貞次		冊	1	
1	69		[三字経](第201句「八百載」～第368句「下沢民」。写本)	(近世写カ)			冊	1	
1	70		[仮名手本忠臣蔵(零本)](第3～10。写本)	(近世写)			冊	1	
1	71		東京輿論新誌 第百六拾貳号	昭和十七年五月十日(毎旬)初兌	持主兼印刷人・荒井泰治、編輯人・都留光太郎、発行所・東京京橋区弥左衛門町七番地・嚶鳴社		冊	1	
1	72		瘡そう食もの考 附忌さけるもの・かん病人の心得(版本)	天保十一年十月(識語)	痘疹科・池田瑞仙謹識		状	1	
1	73		天保改正 大増補道中独案内図	天保十一年庚子春二月発兌	書肆、江戸日本橋通南一丁目・須原屋茂兵衛、など		状	1	
1	74		[日本図(断簡②)](陸奥・越後から蝦夷地まで)	延享五戊辰年五月吉旦	鳥飼市兵衛版		状	1	1-75[日本図(断簡①)]の「備考」欄参照。後欠
1	75		[日本図(断簡①)](肥前から安房・相模・越中まで)	(延享5年5月)	(鳥飼市兵衛版)		状	1	1-75と1-74の間にあるべき武蔵など関東諸国の図が欠損。前欠
1	76		懐中早見武鑑(写本)	(近世)			状	1	
1	77		孟子(巻3～6。版本)	明治八年二月吉(表紙補綴カ)			冊	1	
1	78		千貫松の賦	(近世刊)			状	1	包紙共
1	79		論語集註大全(巻3・4。その他内題:論語大全。版本)	(近世刊)			冊	1	表紙外装欠損
1	80		論語集註大全(巻13・14。その他内題:論語大全。版本)	(近世刊)			冊	1	地に書入れ「論語 十三 十四」。表紙外装欠損
1	81		孟子集註(零本)(その他内題:孟子。版本)	(近世刊)			冊	1	
1	82		論語 二(巻3～5。版本)	(近世刊)			冊	1	
1	83		論語集註大全(巻15・16。その他内題:論語大全。版本)	(近世刊カ)			冊	1	最終数丁欠損
1	84		中庸(その他内題:中庸章句。版本)	(近世刊カ)			冊	1	
2	1		明治十二年卯五月ヨリ同十三年辰二至ル 私用日誌	(記事内容:明治11年2月18日～明治17年4月)	(地平民中畑種昌所)		冊	1	
2	2		摺印補正 摺印補遺 海外 全(写本)	嘉永辛亥孟春	多々良敬止(書写)		冊	1	
2	3		無尽像並相法伝(写本)	(近世写カ)	藤円中		冊	1	丁間に附図1点。
2	4		東海木曾兩道中記(版本)	(近世刊)			冊	1	丁間に「東海木曾兩道中記」断簡1丁。表紙外装欠損
2	5		[日本諸国名覚書](端に「三月廿九日 小林惣太夫」)	三月廿九日(近世)			状	1	前後欠
2	6		千貫松の賦	丙子孟春写	無能齋書		状	1	
2	7		十六点(断簡①)(用筆法書)	(近世カ)			状	1	本来2-6、2-7の順に継がれたもの。後欠

中畑善策氏所蔵資料目録

2	8			〔「十六点」(断簡②)〕	(近世カ)			状	1	2-6「十六点(断簡①)」の「備考」欄参照。前欠
2	9			〔用筆法書〕	(近世カ)			状	1	
2	10			明治五壬申年五月より陸奥国名取郡南方岩沼本郷三百口番屋敷伍長方諸事手扣帳	(記事内容:明治5年4月19日~明治6年)			冊	1	丁間文書3点。
2	11			〔紙片〕(赤ボールペン書きの上書き「年賀に対する公家より返書」)					1	
2	12			入木秘伝之抄 全(写本)	于時貞享三年九月十日写之			冊	1	
2	13			絵本宝鑑(その他内題:絵本。版本)	(近世カ)	(発題)難波東軒藤貞漢由書、橘氏宗重著、藤貞漢再考、画師・雪舟嫡流・法橋宗円子・長谷川氏等雲		冊	1	
2	14			古内家抜書(古内広慶までの由緒書、「御忌掛り之御親類様」書上、古内家分限帳・役列帳)	天保十亥稔六月上浣改	藤種良(中畑友五郎)		冊	1	
2	15			増補絵抄 和字功過自知録 全(版本)	天保九年戊正月重刻(安永五年丙申二月原刻)	(蔵)毘耶窟、(跋)平安処士・安田棟隆(印影印)(「印影印」、など		冊	1	
2	16			忠臣水滸伝前編巻之五(版本)	寛政十一年己未冬十一月発行	(著者)山東窟京伝子。石川五郎述。書林・江戸通油町・蔦屋重三郎、同所・鶴屋喜右衛門、同様		冊	1	題簽剥離跡有り
2	17			〔仙台藩定書留〕(「近衛様御使 御登城之節、御小人目付ハ道筋為御メリ之被相付候由之事」など130条)	(記載内容:享保元年8月4日<第76条>~文化6年9月13日<第188条>)			冊	1	丁間に附図1点。
2	18			改正中庸新説(版本)	嘉永七年後七月	嶺南学人保岡孚元吉甫識		冊	1	題簽剥離跡有り
2	19			草書千字文(版本)	明治二十九年十月十日発行	版權所有、書者・東京市神田区猿楽町二丁目二番地・小野鏑之助、など		冊	1	
2	20			〔江戸図絵(断簡)〕	安政五戊午年新刊(嘉永六癸丑年改正)	東都書肆(「書六」印)・横山町吉丁目・出雲寺万次郎、馬喰町式丁目・森屋治兵衛、人形町通松嶋町・若林喜兵衛版		状	1	左下部のみ残存

中畑善策氏所蔵資料目録

2	21			明治廿二年略曆(「御菓子砂糖石油商廬(マル二)陸前増田駅・鶴見屋源吉」の店名入り)	明治廿二年	印刷兼発行者・東京日本橋区堀江町二丁目十番地・団扇問屋遠州屋亘市兵衛		状	1	
2	22			忠臣水滸伝前編巻之一(版本)	(寛政11年11月)	醒世老人山東子著。江陵書肆・僊鶴堂、耕書堂、同梓		冊	1	題簽剥離跡有り
2	23			文久三癸亥稔九月 元治元甲子季混合 全式乙丑稔二月ヨリ 京洛書簡等雜録(表題内容のほか享保8年2月27日付「佐竹九吉上書写全」もあり)	(記載内容: 文久3年9月~元治2年4月、享保8年2月27日)			冊	1	丁間文書1点あり。
2	24			日本を中心とせる世界の交通	一九二二、七	初三郎(印)、凸版印刷株式会社印刷			1	
2	25			[包紙](上書き「重習館 文久三癸亥年九月 三分一所氏八十年賀無題詩歌」)	文久三癸亥年九月			状	1	本来2-33-5「三分一所氏珍宝書」の包紙。
2	26			[申達状](「御徒目付四人廻勤之義」について)	十一月朔日(近世)	友五郎(中畑友五郎)	嘉右衛門様、喜平治様(八木喜平治)、為輔様(伊藤為輔)、勘之輔様	状	1	
2	27	1		[七福神図(切抜カ)]	(明治カ)				1	
2	27	2		[鶯を詠む和歌集](刷物)	(近世)	千溪庵清妙、柳塘亭綾次、など		状	1	
2	27	3		[紙製軸]					1	
2	28	1		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	2		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	3		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	4		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	別丁左半丁の一部貼り付け。
2	28	5		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第67丁カ)	(近世写)			状	1	
2	28	6		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第66丁カ)	(近世写)			状	1	
2	28	7		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	8		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	第113丁(カ)左半丁貼り付け。
2	28	9		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第86丁右半丁と某丁左半丁貼り継ぎ)	(近世写)			状	1	
2	28	10		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	11		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第85丁)	(近世写)			状	1	
2	28	12		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第65丁)	(近世写)			状	1	
2	28	13		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	14		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	第86丁(カ)左半丁貼り付け。
2	28	15		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	16		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第68丁カ)	(近世写)			状	1	
2	28	17		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	右半丁半分欠損
2	28	18		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第79丁)	(近世写)			状	1	
2	28	19		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	20		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第69丁カ)	(近世写)			状	1	
2	28	21		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第61丁カ)	(近世写)			状	1	
2	28	22		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第62丁カ)	(近世写)			状	1	
2	28	23		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第64丁)	(近世写)			状	1	
2	28	24		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第58丁カ)	(近世写)			状	1	
2	28	25		[伊達氏系譜(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	26		[伊達氏系譜(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	左半丁一部欠損
2	28	27		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	28	28		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	右半丁欠損
2	28	29		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	30		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第93丁)	(近世写)			状	1	
2	28	31		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	32		[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	33		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	28	34		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第112丁)	(近世写)			状	1	
2	28	35		[幕末仙台藩分限帳(断簡)](写本。第111丁)	(近世写)			状	1	
2	29	1		[輪ゴム]					1	
2	29	2		①[容体伺口上書写](「私儀上府中二付、使者を以御容体相伺申候」など) ②[披露状案](「内膳様御事」「江戸表御発駕被遊御下り候段承知仕」など)	①十二月 ② (①②とも文久3年～慶応2年)	①古内左近介(古内広居) ②	① ②本間一学様、御同役中様	状	1	
2	29	3		口上(「今六日於大年寺 勁松院様御廟御造畢、御供養被遊御執行」について)	(文久元年)			状	1	
2	29	4		[年頭祝詞返礼状]	正月十三日(文久2年以降)	岩左京大夫隆(花押)(出羽国亀田藩主・岩城左京大夫隆邦)	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
2	29	5		[年頭祝詞状]	正月二日(安政4年以降)	猪飼勝之助長(花押)	左近介様(古内左近介広居)	状	1	
2	29	6		[年頭祝詞返礼状]	正月十三日(文久2年以降)	岩左京大夫隆(花押)(岩城左京大夫、岩城隆邦、出羽国亀田藩主)	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
2	29	7		[披露状返書](「就寒中被示聞之趣、則三位中将殿え申入候処」など)	二月廿八日(安政4年以降)	春日伯耆守(花押)、森但馬守(花押)、春日隠岐守(花押)	古内左近介様(古内広居)	状	1	
2	29	8		[披露状返書](「就年始被示聞之趣、則三位中将殿え申入候処」など)	二月廿八日(安政4年以降)	春日伯耆守(花押)、森但馬守(花押)、春日隠岐守(花押)	古内左近介様(古内広居)	状	1	
2	29	9		[披露状案](「三春感応院為御使」について)	五月(安政3年以降)	古内左近介(古内広居)内・横田四郎兵衛	右近様、右兵衛様、御用人様中	状	1	
2	30	1		[茶封筒]					1	
2	30	2		勝川春章筆 美人戯猫図(印刷物)		報知新聞社		状	1	
2	30	3	1	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第49丁カ)	(近世写)			状	1	
2	30	3	2	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第32丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	3	[幕末仙台藩分限帳(カ)(断簡)](写本。第115丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	4	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	5	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	6	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	7	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	8	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	9	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	10	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第48丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	11	[幕府仰付記録]	(記載内容: 慶応元年5月15日～閏5月)			状	1	前後欠

中畑善策氏所蔵資料目録

2	30	3	12	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第55丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	13	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第54丁カ)	(近世写)			状	1	
2	30	3	14	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第53丁カ)	(近世写)			状	1	
2	30	3	15	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第52丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	16	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第45丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	17	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第51丁カ)	(近世写)			状	1	
2	30	3	18	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第50丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	19	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第15丁カ)	(近世写)			状	1	
2	30	3	20	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第13丁カ)	(近世写)			状	1	右半丁半分欠損
2	30	3	21	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第16丁)	(近世写)			状	1	別丁貼り付け。
2	30	3	22	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	23	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	左半丁の一分のみ残存
2	30	3	24	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第14丁カ)	(近世写)			状	1	
2	30	3	25	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	26	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	左半丁の一分のみ残存
2	30	3	27	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第8丁カ)	(近世写)			状	1	
2	30	3	28	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第7丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	29	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第12丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	30	[柳営秘鑑(断簡)](写本。第11丁)	(近世写)			状	1	
2	30	3	31	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	32	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	3	33	[柳営秘鑑(断簡)](写本)	(近世写)			状	1	
2	30	4		[紙片](赤ボールペン書きの上書き「関係あり」)				状	1	
2	30	5		[画仙紙白紙]				状	1	
2	30	6	1	[書](「貞寿」)	(近世カ)	東海(菅原東海カ)(「東海」印)		状	1	
2	30	6	2	[名附書(断簡)](「橋元栄五郎 一、御家具番菊地養蔵 御足軽・源七、新右衛門」)	(近世)			状	1	全体にかかる抹消線あり。前後欠カ
2	30	6	3	[木製軸]					1	
2	31	1		[茶封筒]					1	
2	31	2		[建築関係書類綴]	(昭和63年8月17日)			冊	1	
2	32	1		[輪ゴム]					1	
2	32	2		[紙袋](フェルトペン書きの上書き「明治以後」)					1	
2	32	3	1	[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き「願届書」)					1	
2	32	3	2	記(「大七荷車廿三輪」税金11円50銭など4件合27円77銭「相急致遠納」)	(明治)十一年七月卅日納			状	1	
2	32	3	3	[明治28年度前半季分菓子税・車税・舟税・煙草税名簿]	(明治28年度)			冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。「古内三遊 文化元甲子年五月廿日生」と書入れあり。
2	32	3	4	[所持田畑名簿](49名分の玉浦・逢隈・千貫・館腰・槻木5ヶ村内の所持田畑)	(明治)			冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	3	5	[岩沼学校授業料未納人名簿]	(明治26年)			冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。丁間文書1点。
2	32	4	1	[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き「雑」)					1	
2	32	4	2	明治十四年十二月岩沼郷臨時村会議案	(明治14年12月)			冊	1	
2	32	4	3	大小麦種子無代償配付	(明治)			状	1	
2	32	4	4	[断簡](金銭徴収に関する第15条・第16条のみ残存)	(明治17年以前)			状	1	
2	32	4	5	御請書(「明治十二年地租及地方税不納二付」)	(明治12年)			状	1	
2	32	4	6	[達書](「今般、五穀成就・郷内安全之為、一村守護仏薬師別当高福寺自費ヲ以施行之旨」について)	明治八年十一月七日	小十区扱所(「第八大区小十区之印」)	幸小路・門前・九軒丁・新小路・丸山、惣伍中衆	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	32	4	7		明治廿二己丑年農家種蒔案内	明治廿二年一月廿五日出版	編輯兼出版人・宮城県下仙台元寺小路四十三番地・宮沢義雄、印刷人・仙台区国分町五丁目弘文館内・虎岩頼孝		状	1	
2	32	4	8		[名取郡岩沼町春季浚渫出来形帳(断簡③)]	明治廿九年六月十七日	岩沼町貳百貳拾五番地・伊藤銀右衛門		状	1	2-32-4-10「名取郡岩沼町春季浚渫出来形帳(断簡①)」の「備考」欄参照。
2	32	4	9		受領証	明治卅年六月	岩沼町六百五拾番地・高橋清左衛門	岩沼町収入役高橋紋之助殿	状	1	
2	32	4	10		名取郡岩沼町春季浚渫出来形帳(断簡①)	(明治29年6月17日)	(伊藤銀右衛門)		状	1	本来2-32-4-10、2-32-4-16、2-32-4-8の順に綴じられていたもの。後欠
2	32	4	11		墓所恩借地確証	明治十年六月十二日	右借地本人・佐藤清蔵、仲立人・高橋勇蔵	大御本家・高橋庄三郎殿、高橋始太郎殿、御中	状	1	
2	32	4	12		[印鑑関係証文等貼り継ぎ](印譜御届1点、印請書1点、再御検印願3点、金子預証1点)	明治十六年六月(再御検印願3点)、明治十六年十一月十九日(印請書)			状	1	
2	32	4	13		年賦証文之事(「糶五斗入貳俵也 右之通諸上納物不足二付」)	明治五壬申年十一月十日	岩沼郷鍛冶橋借用人・菅井長(印)、「菅井請合人・猪又升五郎(印)	伊藤良泰殿、中畑清治殿、惣御連中衆	状	1	
2	32	4	14		受領証	明治卅年六月	岩沼町・本郷幸吉	岩沼町収入役高橋紋之助殿	状	1	
2	32	4	15		屠畜場設置願(案文)	(明治39年カ)			状	1	
2	32	4	16		[名取郡岩沼町春季浚渫出来形帳(断簡②)]	(明治29年6月17日)	(伊藤銀右衛門)		状	1	2-32-4-10「名取郡岩沼町春季浚渫出来形帳(断簡①)」の「備考」欄参照。
2	32	4	17		岩沼小学校維持地小作証(沼地40番田反別6畝7分、草生地反別3反8畝21分)	明治廿一年七月十四日	名取郡岩沼郷六百五拾四番地願人・岩淵多四郎、保証人・伊藤敬八郎、全・中畑清治	戸長渥美狭織殿	状	1	
2	32	4	18		[地価金徴収に関する規則書(断簡)](第13~16条のみ残存)	(明治)			状	1	
2	32	4	19		[達書等控(断簡)](①「今般各持高之田畠之内」についてなど。②「授業料可指出旨先般御達」について。③「右絵図面一字」についてなど)	(明治)			状	1	後欠
2	32	5	1		[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き「学校関係」)					1	
2	32	5	2		明治廿七年度岩沼尋常高等小学校授業料徴票(中畑まつ授業料、納人中畑清治)	(明治27年度)	岩沼町役場(「宮城県名取郡岩沼町役場之印」)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	32	5	3	明治廿八年度岩沼尋常高等小学校授業料徴票 (中畑まつ授業料、納人中畑清治)	(明治28年度)	岩沼町役場 (「宮城県名取郡岩沼町役場之印」)		状	1	
2	32	5	4	明治廿七年度岩沼尋常高等小学校授業料徴票 (中畑まつ・中畑ゆきみ授業料、納人中畑清治)	(明治27年度)	岩沼町役場 (「宮城県名取郡岩沼町役場之印」)		状	1	
2	32	5	5	就学御届(名取郡岩沼町百八拾八番地・吉田勤兵工)	明治廿八年二月日	右保護者・吉田伝兵工	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	32	5	6	就学免除願(名取郡岩沼町貳百五拾番地・きを)	明治廿八年二月日	右保護者・猪股金兵工	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	32	5	7	①[幕府触書写](「蔵宿貸出金年賦借方」につき) ②[申渡書写](①に折紙裏に記載。「御下町質屋共へ金銭利足付貸方之義」など)	①(天保14年)卯ノ十二月 ②(近世)		①大目付え ②	状	1	
2	32	5	8	就学猶予願(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	32	5	9	明治廿六年度岩沼小学校授業料徴票(みか・きく授業料、納人菊田定右工門)	(明治26年度)	岩沼町役場 (「宮城県名取郡岩沼町役場之印」)		状	1	
2	32	5	10	明治三十年度岩沼尋常高等小学校授業料徴票(ゆきみ・種愷授業料、納人中畑清治)	(明治30年度)	岩沼町役場 (「宮城県名取郡岩沼町役場之印」)		状	1	
2	32	5	11	[小学校授業料未納督促状]	明治廿七年十二月廿七日	岩沼町長太田庄七(「宮城県名取郡岩沼町長太田庄七」印)	千葉亀吉殿	状	1	
2	32	5	12	[教員免許状下附手数料領収証](金20銭)	明治廿七年十二月廿五日	名取郡長守屋孝章(「宮城県名取郡長守屋孝章」印)	名取郡岩沼町中畑左角	状	1	
2	32	5	13	[租税上納票等綴](12点一綴)	明治十五年六月(第1綴目)、明治卅一年九月五日(第12綴目)			冊	1	
2	32	6	1	[輪ゴム]					1	
2	32	6	2	[紙片](フェルトペン書きの上書き「林扱時代公用事」)				状	1	
2	32	6	3	[達書等綴](中畑清治岩沼本郷定雇時の達書、税金等諸受領証、40点)	(明治9年)子ノ五月廿一日(第11綴[達書])、(明治12年)卯ノ五月十二日(第32綴[民費受領証])			冊	1	
2	32	6	4	[達状](「九年分民費未納之義二付」)	十月廿七日(明治9年以降)	区務所(「宮城県第二大区小一区区務所印」)	村扱補・中畑清治殿	状	1	
2	32	7	1	[仰渡書](「御下町旧御用達亡鉄五郎倅・三品三四郎」、「亡父鉄五郎」の「勤仕中指上候御用金過分御払懸有之候」についてなど)	(近世)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	32	7	2	[仰渡書]（「御下町旧御用達大田源十郎倅・源八 亡父大田源十郎」、「借財」についてなど）	(近世)				状	1	
2	32	7	3	[申渡状]（「家中伊藤清八郎等、名取郡岩沼郷へ帰農為致置候」など）	(明治3年)庚午九月四日	藩庁	古内左近介殿 (古内広居)		状	1	
2	32	8	1	地券(陸前国名取郡岩沼郷字館下圀87番、宅地4段5歩、代価72円90銭5厘。所有者変更記載無し)	明治九年四月十日	宮城県(「宮城県」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・中畑清治		状	1	
2	32	8	2	地券(陸前国名取郡岩沼郷字中才圀198番、耕地1畝5歩、代価2円59銭2厘。所有者変更記載無し)	明治九年四月十日	宮城県(「宮城県」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・中畑清治		状	1	
2	32	8	3	地券(陸前国名取郡岩沼郷字中才圀200番、耕地29歩、代価28銭7厘。所有者変更記載無し)	明治九年四月十日	宮城県(「宮城県」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・中畑清治		状	1	
2	32	8	4	地券(陸前国名取郡岩沼郷字中才圀253番、耕地1畝4歩、代価2円51銭3厘。所有者変更記載無し)	明治九年四月十日	宮城県(「宮城県」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・中畑清治		状	1	
2	32	8	5	地券(陸前国名取郡岩沼郷字中才圀261番、耕地2畝11歩、代価5円26銭4厘。所有者変更記載無し)	明治九年四月十日	宮城県(「宮城県」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・中畑清治		状	1	
2	32	8	6	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圀471番、田3畝26歩、地価13円55銭7厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・佐藤省吾		状	1	
2	32	8	7	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圀469番、田6畝8歩、地価21円85銭8厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・佐藤省吾		状	1	
2	32	8	8	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圀475番、田2畝24歩、地価7円12銭5厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・佐藤省吾		状	1	
2	32	8	9	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圀474番、田3畝22歩、地価13円3銭1厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・佐藤省吾		状	1	
2	32	8	10	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圀463番、田3畝25歩、地価13円43銭1厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同(名取)郡岩沼郷・持主・佐藤省吾		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	32	8	11	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圃163番、田4畝18歩、地価14円31銭3厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同 (名取)郡岩沼 郷・持主・佐藤 省吾	状	1	
2	32	8	12	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圃162番、田5畝21歩、地価17円71銭8厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同 (名取)郡岩沼 郷・持主・佐藤 省吾	状	1	
2	32	8	13	地券(陸前国名取郡岩沼郷字遠干圃462番、田3畝11歩、地価10円44銭7厘。所有者変更記載無し)	明治廿一年八月十六日	宮城県(「宮城県」印)、主 持・名取郡長 守屋孝章(「宮 城県名取郡長 守屋孝章」印)	同(陸前)国同 (名取)郡岩沼 郷・持主・佐藤 省吾	状	1	
2	32	9	1	[達書](明治26年度米作試験場当町へ設置について)	(明治)廿五年十一月十七日	岩沼町長太田 庄七(「宮城県 名取郡岩沼町 長太田庄七」 印)	中畑清治殿	状	1	本文インク脱色化甚大
2	32	9	2	[照会返書](「現住所岩沼町字町六十八番地豊之助長女 後藤てる」について)	昭和九年四月二十八日	名取郡岩沼尋 常高等小学校 長斎藤盛	後藤喜代治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼尋常高等小学校」罫線紙使用。
2	32	9	3	[名簿](伊場野竜彦ら85名)	(明治)			冊	1	「宮城県名取郡岩沼小学校」罫線紙使用。
2	32	9	4	[二区学齡児童・保護者名簿](児童は「廿年生」)	(明治26年カ)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	9	5	第二区廿七年度学年(齡カ)児童調	(明治27年度)			冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	9	6	廿七年度学齡児童調	(明治27年度)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	9	7	廿六年度授業料未納調	(明治26年度)			冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	9	8	就学御届(名取郡岩沼町百七拾七番地・ます)	明治廿八年二月 日	右保護者・川 口ろく	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	9	就学御届(名取郡岩沼町五百廿五番地・つなよ)	明治廿八年二月 日	右保護者・大 友兵弥	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	10	就学御届(名取郡岩沼町貳百貳拾九番地・塚太平)	明治廿八年三月 日	右保護者・塚 平内	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	11	就学御届(名取郡岩沼町貳百貳拾壹番地・とみ)	明治廿八年三月 日	右保護者・布 木儀助	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	12	就学猶予願(名取郡岩沼町貳百拾八番地・しめ)	明治廿 年 月 日(記入 用紙に未記 入)	右保護者・本 郷卯三郎	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	13	就学猶予願(記入用紙)	明治廿 年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	14	就学猶予願(記入用紙)	明治廿 年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	15	就学猶予願(記入用紙)	明治廿 年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	16	[案内状](「来ル三十日午前九時ヨリ本校卒証書授与式挙行候二付」)	明治廿七年三月廿八日	岩沼尋常高等 小学校(「宮城 県名取郡岩沼 高等小学校 印」)	中畑清治殿	状	1	「名取郡小学校用紙」使用。

中畑善策氏所蔵資料目録

2	32	9	17	就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	9	18	就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿	状	1	
2	32	10	1	[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き 「役場よりの通達」)					1	
2	32	10	2	[達書](「岩沼町長太田庄七 全助役佐藤富治 郎」について)	明治廿五年八 月廿九日	岩沼町役場 (「宮城県名取 郡岩沼町役場 印」)	区長・中畑清 治殿	状	1	「宮城県□□□(名取郡)岩沼町役 場」罫線紙使用。
2	32	10	3	[達書](「森喜内煙草出売鑑札」について)	一月廿二日 (明治13~17 年)	戸長平田久之 進	筆生・中畑清 治殿	状	1	
2	32	10	4	[達書](「陸軍予備後備下士卒結婚済届」に ついて。兵員9名の名簿あり。)	十一月十七日 (明治25年以 降)	岩沼町役場 (「宮城県名取 郡岩沼町役場 印」)	中畑区長殿 (中畑清治)	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	5	[達書案](「第二大区、廿五年四月ヨリ全廿六 年至三月、電信柱番地手当金受領」につき高橋 養吉へ金28銭、ほか7名、など)	(明治26年頃)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	6	[通牒書](「本月十七日春季種痘施行候条」に ついて)	明治廿九年五 月十二日	岩沼町役場 (「宮城県名取 郡岩沼町役場 印」)	武区々長・中 畑清治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	7	[通牒書](「岩沼町役場内ニ於テ蚕種検査施行 相成候条」について。「養蚕家人名概略調」同 綴。)	明治廿九年一 月廿八日	岩沼町役場 (「宮城県名取 郡岩沼町役場 印」)	第二区長・中 畑清治殿	冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	8	[通牒書](「伝染病予防ノタメ邸内浄潔ニ掃除 候様毎戸へ御通達有之度」につき。)	明治廿八年六 月廿四日	岩沼町役場 (「宮城県名取 郡岩沼町役場 印」)	第二区長・中 畑清治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	9	[通牒書](「岩沼町消防組秋季演習施行二付」)	十一月三日 (明治25年以 降)	岩沼町役場 (「宮城県名取 郡岩沼町役場 印」)	中畑第二区長 殿(中畑清治)	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	10	[通牒書](「当岩沼町ニ於テ消防秋季演習施行 ノ際」について)	明治廿六年拾 月拾五日	岩沼町長太田 庄七(「宮城県 名取郡岩沼町 長太田庄七」 印)	第二区々長・ 中畑清治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	11	[通牒書](「本郡蚕糸業組合ニ於テ丹野久吉ヲ 蚕種検査員ニ委嘱シ、左記日割之通巡回検査 施行之旨其筋達有之候条」について)	明治廿六年八 月二日	岩沼町助役佐 藤富治郎(「宮 城県名取郡岩 沼町助役佐藤 富治郎」印)	第二区長・中 畑清治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。本文書付のインク薄色化
2	32	10	12	[通牒書](「宮城尋常師範学校 内ニ於テ、前田 正名、殖産興業等ニ関スル有益之演説有之筈 ニ付」など)	明治廿六年七 月十九日	岩沼町長太田 庄七(「宮城県 名取郡岩沼町 長太田庄七」 印)	区長・中畑清 治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	32	10	13	[依頼状](「株式会社日本鉄道会(ママ)ニ於テ、常盤 線路実測之ため、全社員土岐技師出張、本日ヨ リ着手相成候条」について)	明治廿六年十 月三日	岩沼町長太田 庄七(「宮城県 名取郡岩沼町 長太田庄七」 印)	区長・金沢盛 殿(「金沢」 印)、中畑清 治殿(印ナシ)、 山田源吉殿 (「山田」印)	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。

中畑善策氏所蔵資料目録

2	32	10	14	[通牒書] (「岩沼町字外灘用水堤防敷地内一ソネ中折倒木壱本目通六尺枝下壱間」の「入札ヲ以テ売渡候条」について)	明治廿六年十一月十六日	岩沼町長太田庄七 (「宮城県名取郡岩沼町長太田庄七」印)	第二区長・中畑清治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。	
2	32	10	15	達 (「御用有之候条、本日午前第十時、礼服用、当役場へ出頭有之候也」)	(明治)十三年十一月卅日	岩沼戸長役場 (「宮城県名取郡岩沼本郷戸長役場之印」)	中畑清治殿	状	1		
2	32	10	16	急達 (「一等往送南参引道路御普請」について)	(明治8年)いノ五月五日	戸長ノ・八嶋英雄 (「矢嶋英雄」印)	中畑清治殿、大沼吉蔵殿	状	1		
2	32	10	17	[達状] (「岩沼消防総長・三浦金右衛門 同副総長・佐藤伝蔵 右町会ニ於テ撰定相成候条、此旨報告ス」)	明治廿六年九月十四日	岩沼町長太田庄七 (「宮城県名取郡岩沼町長太田庄七」印)	第二区長中畑清治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。	
2	32	10	18	至急達 (「年行事一統係官出張所え早朝より出頭之筈ニ御談有之候由之所、未夕不参ニ付」)	(明治)十五年二月廿三日	岩沼戸長役場 (「宮城県名取郡岩沼本郷戸長役場之印」)	年行事・鎌田孫右衛門殿 (印) (ほか5名)	状	1	「宮城県名取郡岩沼戸長役場」罫線紙使用。	
2	32	10	19	[報告書] (「岩沼町第二区」内の「岩沼町共同産穢物理瘻場」について)	明治貳拾六年八月三十日	岩沼町長太田庄七 (「宮城県名取郡岩沼町長太田庄七」印)	岩沼町第二区	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。	
2	32	10	20	[通牒書] (「今般更ニ左記ノ場所へ官令縦見所ヲ設置致候条」について。第1~3区の「官令縦覧所設置表」あり)	明治廿六年八月	岩沼町長太田庄七 (「宮城県名取郡岩沼町長太田庄七」印)	第二区長	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。	
2	32	10	21	[通牒書] (「今般奥羽在住之農学々士諸氏聯合シ、来ル廿五日午前九時ヨリ、仙台市五城館ニ於テ農事講話会開会候ニ付」)	明治廿六年十一月廿二日	岩沼町役場 (「宮城県名取郡岩沼町役場印」)	岩沼町第二区長御中 (中畑清治)	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。	
2	32	11	1	[ハترون紙製封筒] (フェルトペン書きの上書き「税金関係」)					1		
2	32	11	2	[名簿] (「壱等」高橋養吉から「廿五」まで232名)	(明治)				冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	3	[名簿] (糶屋敷6名、桜小路15名、南町46名、中町21名)	(明治)				状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	4	[名簿] (片町19名、新小路24名、大手南小路21名、南町25名、中町25名)	(明治)				状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	5	[出頭者名簿] (「明十七日午前八時当役場へ出頭候様御取計相成度也」の件、および名簿)	(明治)				冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	6	廿七年度地方税戸数割壱キ急納者 (第2区6名)	(明治27年度)				状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	7	鉄道線路接続地所有者調	(明治)				状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	8	[明治27年度県税戸数追加名簿]	(明治27年度)				冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	9	[名簿] (桃野久作ら「中畑組」17人。「十八日分」とあり)	(明治)				状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	10	[明治26年度町税等戸別割名簿]	(明治26年度)				冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	11	[明治27年度水利組合費・農業組合費・地租・県税名簿]	(明治27年度)				冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	12	[明治26年度地租第3期名簿]	(明治26年度)				冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。

中畑善策氏所蔵資料目録

2	32	11	13	達(「明治廿五年度諸営業税、雑種税」について。「中畑組」25名分の名簿あり。)	明治廿五年七月十四日	岩沼町役場 (「宮城県名取郡岩沼町役場印」)	中畑清治殿	冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	14	[明治30年度国税・営業税前記名簿]	(明治30年度)			冊	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	15	[照会状](「本月廿日限り国税・諸営業税」について)	(明治)廿五年七月廿一日	岩沼町役場 (「宮城県名取郡岩沼町役場印」)	中畑清治殿	状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	32	11	16	[名簿](南町31名、中町34名、片町21名、大手南小路13名、新小路丸山25名、その他22名)	(明治)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。裏面にフェルトペン書きで「明治以後」とあり。
2	32	11	17	[名簿](樋地恩蔵ら75名)	(明治)			状	1	
2	32	11	18	[岡崎きち所持地3筆分反別・地価・地租書上]	(明治)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町(尋常)高等小学校」罫線紙使用。
2	32	11	19	[名簿](山田千代吉ら20名。「弍等 三拾九銭」とあり)	(明治)			状	1	
2	32	11	20	[名簿](「明十七日午前九時より午後二時迄出頭ノ分」中畑組)26名)	(16日、明治22年4月1日の町村制施行以降)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	33	1		[紙袋](フェルトペン書きの上書き「明治以前」)					1	
2	33	2	1	[年頭祝詞状]	正月元日(近世)	志村吉之介武因(花押)	中畑友五郎様、参人々御中	状	1	折紙端欠、奥破損
2	33	2	2	当正月分御仕法金是迄より相増候分御座候二付左二(断簡)	(近世)			状	1	
2	33	2	3	[年頭祝詞状]	正月朔日(近世)	上林三入	只野兵蔵様、渡部三郎兵衛様、伊藤味右衛門様、人々御中	状	1	
2	33	2	4	[披露状](「於和光院御祈禱今日中日 御名代御拝相勤申候」)	正月十四日、(裏書き)正月十六日(文化3年以前)	中畑左角種良(花押)、(裏書き)片平清左衛門	片平清左衛門様、(裏書き)中畑左角様(中畑種良)	状	1	
2	33	2	5	[披露状](「左京太夫様より御拝領之御茶之内、御叮嚀之 御自筆を以拝味仕候様ニと拝領被 仰付」)	八月五日、(裏書き)八月六日(文化3年以前)	中畑左角種良(花押)、(裏書き)片平清左衛門	片平清左衛門様、(裏書き)中畑左角殿(中畑種良)	状	1	
2	33	2	6	[達状](「御曹司様御事」「去月廿九日寅刻被遊御卒去候段、下郡山下野・坂英力より申上」など)	(慶応3年)卯七月三日	御奉行様連名略之	西大立目函書殿	状	1	
2	33	2	7	[書状](「四月上旬ニ御登仙之義承知仕候処、只今ニ御登も無之」など)	四月七日(近世)	七尾柳格	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	8	[書状](「此度岩淵万徳登仙二付、一筆啓上仕候」。「馬廻斎藤殿・御在所橋元森治方より出金」について。)	菊月廿八日(近世)	今野助一郎	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	33	2	9	[書状](「今夕罷出候様被仰下、承知仕候所、昨日妻始宜敷連有之候中」など)	九月一日(近世)	菊庵(吉田菊庵、吉田万)	重習館先生(中畑友五郎)、貴酬	状	1	
2	33	2	10	覚(断簡。「小鉾女帯一、白一丈五尺、綿共二」手形22切25文など2件)	七月十七日~九月十三日(近世)			状	1	後欠
2	33	2	11	覚(「紫山蝶大織帛丈三尺」16匁2分5厘など2品目、 \times 直して手形5切・75文)	十二月廿九日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	2	12	〔勘定書(断簡カ)〕〔紫形縮緬七尺有切〕手形2分2朱100文など5件)	十月晦日(近世)	名取屋権三郎	中畑友五郎様	状	1	前欠カ
2	33	2	13	覚(「薄也巻反」16分など6件、ノ47匁6分、直しで金3分・銭218文)	十一月十日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	
2	33	2	14	覚(断簡カ。「小鉛女帯巻本、白巻丈五尺、綿共ニ」手形5両2歩25文など15件)	(近世)			状	1	後欠カ
2	33	2	15	〔仕切状(断簡)〕〔太織形五尺〕5匁5分など4件)	十一月廿九日(近世)	名取屋権三郎	中畑友五郎様	状	1	2-33-25「覚」が前欠部分か。前欠
2	33	2	16	覚(「千草三尺」1匁1分4厘など2件、ノ4匁4分4厘、直しで手形1切・73文受取)	十一月七日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	全文にかかる抹消線あり。
2	33	2	17	覚(「中太方五帖」550文など7件、ノ2貫235文請取)	巳ノ八月七日(明治2年以前)	武田屋金右衛門(「仙台岩沼口町□□□」印)	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	18	覚(「中太方巻帖」110文など7件、ノ779文請取)	巳ノ八月七日(明治2年以前)	武田屋金右衛門(「仙台岩沼口町□□□」印)	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	19	覚(「納戸緋帷子地巻反」42匁5分など5件、ノ129匁200文、直しで手形34切・186文)	五月廿六日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	
2	33	2	20	覚(反物代手形35切2朱など12件、ノ銀173匁9分8厘、直しで手形81切2朱・158文)	五月十八日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	
2	33	2	21	〔書状(断簡②)〕	四月十八日			状	1	2-33-2-2〔書状(断簡①)〕の「備考」欄参照。前欠
2	33	2	22	覚(「白乗良晒留袖巻反、惣縫ちらしちん」金3銭、内金2分受取)	七月六日(近世)	名取屋権三郎	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	23	覚(反物代11匁など7件、ノ105匁8分4厘受取)	六月四日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	
2	33	2	24	覚(反物代金5切2朱・銀1匁)	七月十七日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	
2	33	2	25	覚(断簡。「琥珀帯白巻丈五尺、綿共ニ」手形22切・25文など9件)	(11月29日カ、近世カ)	(名取屋権三郎カ)	(中畑友五郎カ)	状	1	2-33-15〔仕切状(断簡)〕が後欠部分か。後欠
2	33	2	26	覚(反物代金6匁2分4厘など5件、ノ78匁6分1文、直しで金1両1歩384文)	十二月十九日(近世)	名取屋権三郎	上	状	1	
2	33	2	27	〔書状(断簡①)〕〔白糯巻斗式升三升近日中御便次第為登給度候〕	(4月18日、近世)			状	1	本来2-33-2-27、2-33-2-21の順に継がれていたもの。但し前欠。内容は2-33-2-27〔書状(断簡①)〕の「表題(内容)」欄に一括して示す。前後欠
2	33	2	28	〔披露状〕〔「今六日、私義、奥老、御役列御用人格被仰付」〕	十二月六日(近世)	橋元九兵衛俊直(花押)	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	29	〔願書案〕〔「拙者義、定詰御合力御積ヲ以被下増度奉願候」〕	文政十一年七月廿日	中畑友五郎(「藤」印)		状	1	
2	33	2	30	〔申達状〕〔「御諸道具等御詰方ニ相成候御長持式棹、入記ヲ以被相下、受取申候」など〕	三月廿三日(近世)	岩・磯村彦太夫	仙台・中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	31	〔披露状〕〔「従 徴粧院様、母え御茶并丁子香二本被分置候段」など〕	八月廿四日(近世)	伊東貞介包(伊東包秀)(花押)	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	32	〔諧謔文書写〕〔「実語教」の諧謔化など。「右之数条於鶴崎城記写」とあり〕	(近世)	種良(中畑友五郎)(花押)		状	1	
2	33	2	33	〔中畑種良学問修行書上案〕	(天保13年11月)	(中畑友五郎種良花押)		状	1	本文部分が3-135-2-63〔中畑種良学問修行書上案〕と同文。
2	33	2	34	〔書状〕〔「御知行高取合六ノ百三拾七文」について「愚算」〕	十一月廿六日(近世)	菅原東海	中畑様	状	1	
2	33	2	35	〔願書案〕〔「拙者義、亡養父同氏左角病死仕候に付」など〕	天保四年九月廿八日	(中畑友五郎種良)重判		状	1	
2	33	2	36	〔申達状〕〔「過ル十九日 奥様御事御枕引無御滞被為済候に付」〕	七月廿三日(近世)	岩ヨリ・平井玄純	仙二而・中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	37	〔披露状〕〔「奥様御事、過ル十九日御枕引之御祝義無滞被為済候由」など〕	七月廿三日(近世)	従岩・鈴木山之輔	仙二而・中畑友五郎様	状	1	折紙一部切取られ欠

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	2	38	〔年頭祝詞状(案カ)〕	正月(近世)	中畑友五郎種良(花押)	高橋理三郎様	状	1	
2	33	2	39	〔年頭祝詞状〕	正月三日(近世)	磯村篤治信(花押)	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	40	〔申達状〕(「御乳母方之義」)	三月廿一日(近世)	岩・磯村彦太夫	仙・中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	41	〔披露状〕(「大殿様御事、御道中無御滞被遊 御着」)	七月十日、(裏書き)七月(近世)	沼倉宮之助純(花押)、(以下欠)。(裏書き)太田正輔繁向(カ)(花押)	(欠損)。(裏書き)中畑友五郎殿、磯村篤治殿、沼倉宮之助殿	状	1	折紙奥欠
2	33	2	42	〔人名書上げ〕(片平清治ら14名)	(近世)			状	1	後欠カ
2	33	2	43	〔披露状〕(「武治様」「過ル八日昼之九ツ半時江戸御屋敷被遊 御着」について)	八月十一日(近世)	遠藤敬止郎成福(印)(花押)	中友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	33	2	44	〔願書案〕(「拙者義、仙表奥方御メり定詰勤仕中、自分繰ヲ以御間ニ合被上置候金子」について)	三月十七日(近世)	(中畑友五郎)		状	1	
2	33	2	45	〔申達状〕(「貞鏡院様より平嶋御賞被遊度趣」)	六月廿八日(近世)	宮野仁左衛門	中畑友五郎様	状	1	
2	33	2	46	①〔伺書案〕(「私御預御給主口口市左衛門義当四拾五歳口罷成候処、病身ニ付」) ②〔披露状案〕(①の折紙裏面に記載。「大黒大供御祈禱之御守札指上候二付」)	①(文政三年五月カ) ②(四月廿八日カ、近世)	①古内主膳(古内広保) ②信受院	②松前和泉殿、福原縫殿殿、遠藤勘解由殿、後藤孫兵衛殿、石田豊前殿、平賀美濃殿	状	1	手習に転用されている。やや破損
2	33	2	47	①〔消息〕(「日外ハ江戸染物、くたりのせつ態々御遣し下され」など) ②易経 山崎間齋点 乾 (①の裏面を転用した書籍表紙。裏表紙側に「中畑氏持用」)	(近世)	①桜咲	①お秀様、お永様、人々御申上	状	1	易経写本表紙を以っての裏打。
2	33	2	48	〔申渡状〕(「御自分義、来ル十七日、殿様御事被遊 御上府候二付」)	十月九日(近世)	中友五郎(中畑友五郎)	鈴木音人殿(印)	状	1	
2	33	2	49	先触(「明朝日為浦々廻勤之、武頭巻騎、同朝明六つ時岩沼発起」について「兼而之通案内并肝入在宿之首尾可被申候」。3-130-30「願書」と関連)	(嘉永2年カ)			状	1	
2	33	2	50	〔達書〕(「寿衛事、順々奥様より思召有之故、御暇も延引、我等事本服祝義も首尾能相済候俛、八巻八十助を以別紙被相渡候条」)	十二月十九日(近世)		中畑左角殿	状	1	
2	33	2	51	〔青山火事次第書〕(弘化2年1月24日の江戸青山火事の詳細について)	(記載内容:弘化2年1月24日)			状	1	
2	33	2	52	〔古内家中名附書(断簡カ)〕(家老指次用人高沢専治ほか12名書き上げ)	(近世)			状	1	
2	33	2	53	婦人安産之方角	(近世)			状	1	
2	33	2	54	①〔封紙〕 ②〔包紙〕(①の裏に記載。上書き「白砂糖 一」) ③〔塩竈御隊旗・亀岡御隊旗の図〕(②と同一面に記載)	(近世)	①仙二而・中畑友五郎殿岩沼より	①岩瀬大之進	状	1	③は3-117「御軍用御定 全」に類似の図あり。
2	33	2	55	〔勘定書(断簡)〕(「くわ武文」など4貫200文、「仕ちん」金1切)	五月三日(近世)	高館(カ)屋		状	1	前欠カ
2	33	2	56	〔書状〕(「伺候得者、東京及広島迄御出発之由ニ候得共、何日頃与申義御確定次第御通報相願申候」)	十月卅日(大正2年以前)	中畑左角	羽州善作様	状	1	
2	33	2	57	覚(「古内左近介手人数四拾壱人」の書き上げ)	(慶応4年)辰ノ八月四日	右同人(古内左近介(古内広居))内・中畑貞次		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	2	58	キ(記)(「車程(カ)壹斤」8錢6厘など×26錢6厘請取)	(明治)				状	1	後欠カ
2	33	2	59	〔熨斗紙〕(上書き「のし 上 御年始」、裏に「御歳始」)	(近世カ)				状	1	
2	33	2	60	来月朔日御祈祷二付面附左二(御膳番中畑貞次ら9名)	(近世)				状	1	後欠カ
2	33	2	61	〔徳川家茂ら在京記録写(断簡)〕	(記事内容: 慶応元年10月2日~4日)				状	1	
2	33	2	62	〔村不時二季代並大神宮御抜(祓)御初穂料左之通(断簡③)〕	(明治5年)申ノ十月二日	中畑清治	伍中衆		状	1	2-33-2-64「村不時二季代並大神宮御抜(祓)御初穂料左之通(断簡①)」の「備考」欄参照。前欠
2	33	2	63	〔村不時二季代並大神宮御抜(祓)御初穂料左之通(断簡②)〕	(明治5年10月2日)	(中畑清治)	(伍中衆)		状	1	2-33-2-64、2-33-2-63「村不時二季代並大神宮御抜(祓)御初穂料左之通(断簡①)」の「備考」欄参照。前後欠
2	33	2	64	村不時二季代並大神宮御抜(祓)御初穂料左之通(断簡①)(斎藤三五郎ら7名に割り当てた金粉と小札につき)	(明治5年10月2日)	(中畑清治)	(伍中衆)		状	1	本来2-33-2-64、2-33-2-63、2-33-2-62の順に継がれていたもの。全体の内容を2-33-2-64「村不時二季代並大神宮御抜(祓)御初穂料左之通(断簡①)」の「表題(内容)」欄に一括して示す。後欠
2	33	2	65	〔包紙カ〕(梅などの絵付き)					状	1	
2	33	2	66	〔書状〕(病により「折々御機嫌も相伺不申、剩御請迄延引」など)	五月二日(近世)	小梁川喜平次兼清(カ)(花押)	伊藤半兵衛殿		状	1	余白部分に試し書きがされる。
2	33	2	67	性理千文(断簡)					状	1	
2	33	2	68	〔「起死回生宝丹」包紙〕	(明治11年)				状	1	
2	33	2	69	麻疹能毒養生弁(食物の番付表、「禁忌へき物」、「麻疹を避奇法」)	文久二壬戌年七月				状	1	
2	33	2	70	〔包紙〕(上書き「天保十五年分岩沼御給主四拾三人前直判帳(花押カ)」)	(天保15年頃)				状	1	
2	33	3	1	〔諸願書等綴〕(諸願書、区長中畑清治宛達書など72点一綴)	(明治8年)亥ノ九月廿三日(第1綴目)、明治三拾貳年七月(第43綴目)など				冊	1	
2	33	3	2	明治七年分地券税割分(地価金271円12錢4厘、金8円3錢4厘、「本月中半高、十二月廿日悉皆上納可致もの也」)	(明治7年)戌ノ十一月廿二日	小十区扱所(「第八大区小十区之印」)	小十区岩沼郷・中畑清治		状	1	
2	33	3	3	〔租税金覚〕(「十二月十五日 金貳円 千葉金七是者十年地租金并民費金之内」など3名分)	(明治10年頃)				状	1	
2	33	3	4	〔租税金覚〕(「金廿錢 三浦幾松 是者十年民費金之内」など2名分)	(明治10年頃)				状	1	
2	33	3	5	①〔畑反別書上げ〕(佐々木兵吉ら所持の畑反別3筆書上げ。略地図あり) ②〔覚書〕(①の裏面に記載。「葉御鑑札御下ケ渡願 第八大区小十区岩沼本郷 七百三拾貳番・貳百九拾四番地表」などとあり)	①(明治) ②(明治7年4月の管内区画更正~同9年11月の管内区画更正及区吏更正)				状	1	
2	33	3	6	①第壹組人名(斎彦助ら59名名簿) ②〔封紙カ〕(①の余白に記載。「御祖父様三十三回御忌旧三月廿七日法事執行二付御出之事」とあり)	(明治)	②仙台市東一番丁南町通北角より二軒め・内池弥治	②大河原駅・渡部文蔵様御内・きんとの		状	1	「名取郡学区用紙」使用。

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	3	7	不在御届(2-33-3-18「御暇願」と関係。「名取郡岩沼本郷三百六十六番地平民三右衛門長男・川口栄助」について)	(7月、明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	
2	33	3	8	分家願(「名取郡岩沼本郷百七拾壱番地平民卯八妹・菊地千代」ら2名について)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	
2	33	3	9	死亡跡相続届(「名取郡岩沼町七百七番地平民亡長男・千葉伊三郎」について)	明治三拾年月	右跡相続人・千葉伊三郎、名取郡岩沼町五百七拾六番地平民・親類・高橋敬治、全郡岩沼町六百三拾五番地平民・親類・中畑清治	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	33	3	10	[検査票綴](岩沼本郷平間久衛の酒造桶、蒸釜、柄杓について3点)	明治十七年一月八日検査	(検印「小林」印)		冊	1	
2	33	3	11	自家用料酒類製造御届(記入用紙)	明治廿年月日	名取郡岩沼町番地、(奥書)岩沼町長太田庄七	宮城県知事勝間田稔殿	状	1	
2	33	3	12	分家届(「名取郡岩沼町六百八拾五番地平民亡中山清之丞二男、伯父・中山屯」ら4名について)	(明治22年4月1日の町村制施行以降)			状	1	
2	33	3	13	①車番号異名上申(案文。「本年十一月中、古人力車式人乗車輜、名乙九百九十八号之車売買仕候二付」) ②[照会状返書案](①の裏面に記載。「貴墨披閱、然者当郷江刺とよ旧婿星大助義二付」)	①(明治12年以降) ②(明治)			状	1	
2	33	3	14	[売渡証文(断簡)](売渡物件および代金の記載欠)	(明治)十六年十二月卅日	名取郡岩沼郷六百七拾三番地・売渡人・中畑清治、保証人・矢口直四郎	八巻才助殿	状	1	前欠
2	33	3	15	脱籍御届(「名取郡岩沼本郷三百七十壱番地平民・菊地卯八」について)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	
2	33	3	16	不在御届(2-33-3-7「不在御届」と同文の案文を書きかけたもの。本文は「右名七月二日」とのみあり)	(明治)			状	1	
2	33	3	17	遺漏入籍願(「名取郡岩沼本郷借舎平民清蔵伯母ナカ女長男、従弟、高砂忠兵衛」について)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	
2	33	3	18	御暇願(2-33-3-7「不在御届」と関係。「名取郡岩沼本郷三百六十六番地平民三右衛門長男・川口栄助」について)	(6月、明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	前欠
2	33	3	19	[送籍届(断簡)](「名取郡千貫村南長谷七拾八番地平民太田や口、同苗喜一郎妻二縁組差遣候間、送籍相成度、此段及御届候也」)	明治廿年月日(記入用紙に未記入)	右戸主	岩沼町長太田庄七殿	状	1	前欠
2	33	3	20	[転住届様式書]	(明治)			状	1	
2	33	3	21	婿養子婚姻届(「名取郡岩沼町式百四拾壱番地戸主桶結職長谷栄松長女平民無職ゑい」の婿養子縁組について)	(明治22年4月1日の町村制施行以降)			状	1	前欠

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	3	22	開キ(明治九年分民費金)について)	(明治9年)子 九月九日	おし分村・村 扱之・庄司栄 五郎	岩沼ヨリ入作 分御取都係 リ・中畑清治 様	状	1	
2	33	3	23	明治八乙亥歳 民費課出分賦帳 第八大区小拾 区 押分村(断簡①)	(明治8年4月)	(庄司栄五郎)		状	1	本来2-33-3枝3の23、25、24、27(ま たは27、24)、28、26の順に綴じられ ていたもの。
2	33	3	24	[民費課出分賦帳](断簡③または④)	(明治8年4月)	(庄司栄五郎)		状	1	2-33-3-23「明治八乙亥歳 民費課 出分賦帳 第八大区小拾区 押分 村」の「備考」欄参照。
2	33	3	25	[民費課出分賦帳](断簡②)	(明治8年4月)	(庄司栄五郎)		状	1	2-33-3-23「明治八乙亥歳 民費課 出分賦帳 第八大区小拾区 押分 村」の「備考」欄参照。
2	33	3	26	[民費課出分賦帳](断簡⑥)	明治八年四月	小拾壹区押分 村・村扱・庄司 栄五郎(「衛」 印)		状	1	2-33-3-23「明治八乙亥歳 民費課 出分賦帳 第八大区小拾区 押分 村」の「備考」欄参照。
2	33	3	27	[民費課出分賦帳](断簡③または④)	(明治8年4月)	(庄司栄五郎)		状	1	2-33-3-23「明治八乙亥歳 民費課 出分賦帳 第八大区小拾区 押分 村」の「備考」欄参照。
2	33	3	28	[民費課出分賦帳](断簡⑤)	(明治8年4月)	(庄司栄五郎)		状	1	2-33-3-23「明治八乙亥歳 民費課 出分賦帳 第八大区小拾区 押分 村」の「備考」欄参照。
2	33	3	29	[名簿](「後藤安吉弟藤坂俊置」ら、明治7~8年 生れの者26名)	(明治8年以 降)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	33	3	30	[名簿](「二区」の平泉清六ら8名、各「金貳円」 とあり)	(明治25年頃 の中畑清治区 長就任以降)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	33	3	31	[金銭受取証文](金2円97銭6厘請取)	九月六日(明 治)	藤場(カ)土手 新丁南町消毒 方・小倉俊治 (「小倉俊治」 印)	検疫所、御中	状	1	前欠
2	33	3	32	[金高書上(断簡)](八巻才助の16年1月~6月 の金高。各月1円)	(明治16年1 月)			状	1	後欠
2	33	3	33	[名簿(断簡カ)](「一二三 土工 八巻源之允」ら 11名)	(明治)			状	1	前欠カ
2	33	3	34	[給料支給要請書](「一寸御出校相成り、給料 御支給有之度候也」)	明治二十年十 二月二十六日	阿部	中畑様	状	1	「名取学校用紙」使用。
2	33	3	35	[領収証](12月26日金1円益田増三郎領収など 9件)	(記載内容:12 月26日、12月 29日、9月1 日、9月2日、 明治)	益田増三郎 (印)、戸塚庄 吉(「東京戸塚 芳国(カ)堂 印)など8名		状	1	折紙奥、片面の天切取られ欠
2	33	3	36	割当願書(記入用紙)	昭和 年 月 日	願出者 住所 氏名、受註 者 氏名		状	1	
2	33	3	37	割当願書(記入用紙)	昭和 年 月 日	願出者 住所 氏名、受註 者 氏名		状	1	
2	33	3	38	[断簡](「何時も順達ヲ以相廻し、夜中御迷惑ニ て御座候得共、御用支ニ相成不申様御廻し可 く被カ下度候也」とのみあり)	(明治カ)			状	1	
2	33	3	39	[名簿(断簡)](「全借舎 森岡高蔵」ら13名)	(明治22年4月 1日の町村制 施行以降)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。前欠、後欠カ
2	33	3	40	[名簿(断簡カ)](三浦承右衛門ら4名、「右、御 他村所有地ニ係ル地租額ノ証明ヲ要スル者ナ リ」)	(明治22年4月 1日の町村制 施行以降)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。前欠カ

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	3	41	自家用料酒類製造御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	名取郡岩沼町 番地、(奥書)岩沼町長 太田庄七	宮城県知事勝 間田稔殿	状	1	
2	33	3	42	[保護者・童名簿](「保護者」・「童」6組の名簿)	(明治22年4月 1日の町村制 施行以降)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙 使用。
2	33	3	43	明治九年畑税金半数取立帳 南町組扱方(表紙 断簡)	明治九年			状	1	
2	33	3	44	[人名書上げ](「片平敬次殿」ら28名)	(明治カ)			状	1	
2	33	3	45	目録(「小袖 吉重」など5品目、「右為御祝儀御 恵贈被成下、幾久敷受納仕候也」)	明治十八年四 月十七日	高橋忠太郎	御媒酌人様	状	1	
2	33	3	46	[願書](「東京日本橋通三丁目・白髪染粉大垣 屋川上藤兵衛製造 右名葉種、貴所二而御売 捌之事二承知仕居候処、当所二者売薬店無之 不便二付」)	(明治)卅二年 十月十六日発 ス	岩代桑折町・ 売薬商・仙台 屋半七。(発 送者)中畑清 治		状	1	
2	33	3	47	①[願書(カ)(断簡)](帳崩れ。「前書之通相達」 とのみあり。) ②年行事方給受取分(①の裏面に記載。)	①(明治) ②(明治17年 10月29日調)			状	1	①前欠
2	33	3	48	[拝借金返済書案](「稲荷山村出張之際拝借 金」について。〈抹消『中畑区長様』』とあり。)	(明治25年頃 の中畑清治区 長就任以降)			状	1	
2	33	3	49	[長費渡覚(断簡カ)]	(明治16年頃)			状	1	前欠カ
2	33	3	50	[皆済金書上](伊藤茂右衛門58銭9厘など15件 分)	(記載内容:8 月24日~9月5 日、明治)			状	1	
2	33	3	51	[払金覚(断簡)](使夫給料1人金20銭づつな ど)	(明治)			状	1	前欠カ
2	33	3	52	記(「明儀 吉儀 三五郎」など7件)	(明治カ)			状	1	
2	33	3	53	[六角田地価反別覚](合1反8畝13分、都合1円 32銭9厘)	(明治)			状	1	
2	33	3	54	記(「吉人 伊藤繁三郎(印) 右之通潜穴御払方 え召仕者也」)	七月一日(明 治)	組扱・伊藤左 治蔵(印)		状	1	
2	33	3	55	記(「七小区熊野堂村六郷御夕切方御人足出 人」2人4分、受負金30銭受取)	十月廿一日 (明治7年4月 の管内区画更 正~同9年11 月の管内区画 更正及区吏更 正)	右金受取人・ 木尾勇吉 (「口」印)	中畑清治様	状	1	
2	33	3	56	[夫人出働覚](10月6日「出働」の「金野伝兵衛 用迄」75人など)	(明治カ)			状	1	
2	33	3	57	[夫人取立依頼状](樋地彦市ら8人5分)	(明治)	伊藤左治蔵 (印)	中畑清治様	状	1	
2	33	3	58	[覚書](「車税并育業民費入 金拾円」などとあ り)	(明治)			状	1	
2	33	3	59	[教員給金計算書](10月1日渡の9月分給金× 10円のうち鈴木吉兵衛前借金など差引95円50 銭)	九月十日(明 治)	(検印「山田」)		状	1	
2	33	3	60	証(「御泊二人様」56銭など4件、合金77銭領収)	(明治)十五年 十一月七日	仙台区国分町 四丁目・渡辺 忠八	上様	状	1	
2	33	3	61	[金額書上](「第二大区一小区名取郡岩沼本郷 七百廿番地 菅井善衛」2円25銭3厘)	(明治9年11月 の大区・小区 制改変~同22 年4月1日の町 村制施行)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	3	62	記(「唐条リン子式丈五尺」金50銭など2件、 \times 80銭9厘請取)	十二月廿一日 (明治)	堺平内	上様	状	1	
2	33	3	63	〔覚書〕(「四拾五銭 横田文八 十二月十一日御引合上納相済、番号御印落、追而通帳差上候節被下等二而候事」とあり)	(明治)			状	1	
2	33	3	64	〔覚書(断簡カ)〕(松本円三郎の諸税について)	(明治)			状	1	
2	33	3	65	〔願賃銭覚〕(「荷車願済 阿部平兵衛 賃銭三銭」など3人分)	(明治)			状	1	
2	33	3	66	記(「商業方」「八等 三拾円」~「廿 五拾銭」)	(明治)			状	1	
2	33	3	67	〔書状〕(「昨日之御礼之義、内府様御始宜敷御鶴声之程奉願上候」など)	丑ノ三月六日 (近世)	日中御用心 之・細横丁清 治	鎌田旦那様、 御店様御中	状	1	
2	33	3	68	〔勘定書案〕(「元」15円90銭、「納高」14円90銭など、「引残」97銭)	(明治)			状	1	
2	33	3	69	〔包紙〕(上書き「上納金九拾四銭弍リ 外二納料四り 引残壹円五銭五り 二月廿六日二皆(カ) 済廿七日分 一月十二日 鎌田惣衛宅地税并民費金弍円預り」)	(明治)			状	1	
2	33	3	70	〔断簡〕(古文書宛名部分カ。「片平清作殿 伊藤繁三郎殿 菊田口(ニジミ)衛門殿」とのみあり)	(明治カ)			状	1	前欠カ
2	33	3	71	〔断簡〕(「居館勤 八人九分南町分 拾壹人壹分 新小路 相原伝衛角より糶屋敷 四十九人南町分 廿六人中町分」とのみあり)	(明治カ)			状	1	前後欠カ
2	33	3	72	備籾貸附面附左二(「籾壹俵 但弍斗五升充 鈴木文助・伊藤繁三郎」ら2名一組を4組記載)	(明治)			状	1	
2	33	3	73	〔地価反別書上〕(西谷内囲597番の田5筆、 \times 2反9畝82分、地価86円95銭1厘)	(明治)			状	1	
2	33	3	74	証(御酒4本分金20銭など3件、合金44銭5厘、内36銭5厘受取)	明治廿七年六月七日	岩沼町改良旅 舎・高橋松太 郎	上様	状	1	
2	33	3	75	明治卅二年五月 仙台開設貞山公三百年祭二付猶子名簿 岩沼町第二区(表紙断簡)	明治卅二年五月			状	1	
2	33	3	76	地租増税割分(中畑清治組8名分 \times 451文)	(明治5年)壬 申七月	八嶋二等戸長 (印)、猪股二 等副戸長 (印)、伊東 (藤カ)百姓代 (「伊藤良泰」 印)		状	1	
2	33	3	77	怠滞納調(18名書上げ)	(明治)			状	1	
2	33	3	78	達(「明十二日五間堀口私人足」本多茂七ら12名「出働之御住(注カ)意被下度」)	(13日、明治)	中畑清治	高橋松五郎殿	状	1	
2	33	3	79	〔通牒書〕(「来ル三月九日、天皇・皇后両陛下大婚満廿五年御祝典行ハセラルヘニ付」)	明治廿七年三月五日	岩沼町長太田 庄七(「宮城県 名取郡岩沼町 長太田庄七」 印)	区長中畑清治 殿	状	1	
2	33	3	80	明治廿六年度水利組合費未納調	(明治26年度)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫線紙使用。
2	33	3	81	〔断簡〕(「六百七拾四番」とのみあり)	(明治カ)			状	1	
2	33	3	82	九州戦地出張履歴	(記載内容:明 治10年3月13 日~4月7日)	宮城県陸前国 名取郡第二大 区一小区岩沼 本郷六十六番 地平民・今野 与市		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	33	4	1	[礼状]「今般 殿様被為遊 御登仙候節人馬遅滞之趣御不審被 仰渡、恐入奉存」など	慶応元年十月七日	一ノ関町検断・伊三郎(印)、有壁町検口(断)・熊谷良平(印)、〃・佐藤利右衛門(印)	左近介様(古内左近介(古内広居))御内・中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
2	33	4	2	[伺書案]「拙者義御膳米・御賄米御突方御免被成下度奉願候」	宝暦十二年七月廿九日	中畑左角(「専」印)	(欠損カ)	状	1	折紙奥欠
2	33	4	3	[願書案]「拙者儀仙奥方御メり定詰御口(免)被成下度奉願候」。母の介護を理由とする。天保4年8月以降の履歴記載あり	弘化三年十一月一日	一良英(伊藤謙治)(花押)		状	1	
2	33	4	4	[願書案]「私儀、催合米上納之分、前々より十一月頭市中相場より式升揚ヲ以年々金直上納仕来候処、当不作二付」	(近世)			状	1	
2	33	4	5	覚(「米九石六斗七升也」右之通御定之御利足附を以拝借仕候儀実正二御坐候)	安政三年十二月	右借用人・義三郎(印)、親類請合人・下野郷村・重蔵(印)、同同・御城下川原町・義平(印)	中畑友五郎様、伊藤丈太夫様	状	1	
2	33	4	6	[金子借用証文]「米御買金貳拾五両慥預置申候」	宝暦拾叁年十二月廿四日	飯野坂村御百性預り主・又兵衛(印)、岩沼南町口入・仁三郎(「玉字」印)、飯野坂村指南・源七郎(印ナシ)。(末書)同村肝入・彦右衛門(「穩」印)	(本文及び末書)中畑左覚様(中畑左角)	状	1	
2	33	4	7	[糶借用証文]「糶五石貳斗壹升 小川村拝借人伊七」、「四石壹斗五升五合 〃 〃 弥左衛門」、「右之通慥二御拝借申所実正二御坐候」	安政貳卯ノ月日	同村(小川村)拝借人・伊七(印)、〃 〃 〃 弥左衛門(印)	中畑友五郎様	状	1	
2	33	4	8	[金子借用証文]「金拾三両也 右之通私為御奉公相続之、御郡方別段御備金之内、月壹割御利足附を以拝借致候儀実正二御座候」	慶応貳年二月	高橋藤蔵	伊藤祐太郎殿	状	1	
2	33	4	9	覚(「米九石六斗七升也 右者定御利足付を以拝借仕候儀実正二御坐候」)	安政三年十二月	拝借人・茂三郎(「清」印)、請合人・清五郎(「黒」印)	友五郎様(中畑友五郎)、丈太夫様(伊藤丈太夫)	状	1	
2	33	5		三分一所氏珍宝書(内題:無題詠斎翁(三分一所景明)八十年賀詩歌)	文久三癸亥稔季秋上浣(写)(原書安永7年)	藤原種良(中畑友五郎)写		状	1	
2	33	6		①[目録]「進上 御太刀 一腰 御馬 一疋 以上」。松平容保の七言律詩書付あり ②新刊運上明鑑 上巻 (①を転用して書写)	①(安政3年4月以降) ②(慶応4年閏4月18日写)宝暦八戊寅季中春(原書)	①古内左近介広居 ②方巾齋房常記(藤原種良写)		状	1	
2	33	7		新刊運上明鑑 下巻 (写本)	慶応四戊辰閏四月十八日(写)(原書宝暦8年2月)	(方巾齋房常記)、(筆写者)藤原種良		状	1	奥付に「此書、千葉姓ヨリ恩借而写記畢焉」とあり。

中畑善策氏所蔵資料目録

2	34		安政五戊午年 水戸前黄門景山公呈関白殿下 九条公書札之写	安政五戊午年	(徳川齊昭)	(九条尚忠)	冊	1	
2	35		安政五年戊午九月 漫筆(孝明天皇和歌、安政5 年7月6日付松平慶永書付、幕臣連歌)	安政五年戊午 九月			冊	1	
2	36		嘉永七年五月廿八日 殿様御事 御継目 御目見 無御滞被為濟候御祝申上候御帳(高橋辰之進 ほか11名書き上げ)	嘉永七年五月 廿八日			冊	1	
2	37		[書簡写](①ハリス書簡。②徳川家定返書。③ 徳川家定返書案)	①安政五午年 五月二日 ②安政五年五 月六日 ③安政五年戊 午五月六日	①(老中)連名 判 ②日本国源家 定(徳川家定) 御朱印 ③日本国源家 定(徳川家定)	①エキセルレ ンシー・トウ セント・ハル リス(Townsend Harris)え ②亜墨利加合 衆国大統領皮 児設(Pierce) 殿下 ③亜米利加合 衆国大統領フ (ラ脱)ンクリ ン・ピールセ (Franklin Pierce)殿下	冊	1	
2	38		華(華)山渡辺先生筆蘭竹画譜(版本)	明治十三年四 月十三日御届	臨写人・静岡 県士族・高島 藍泉・浅草区 元吉町十七番 地、出版人・ 府下平民・武 田伝右衛門・ 京橋区弥左工 門町十三番 地、発売人・ 同・大川錠吉・ 浅草区三好町 七番地		冊	1	題簽欠損
2	39		文化十三丙子曆	文化十二年出	江戸曆開板 所・竹内屋政 右衛門、仙台 売方所・壺屋 利兵衛、松屋 茂兵衛		冊	1	
2	40		詩語碎金抄(写本)	(文政7年1月 29日写カ)			冊	1	奥付に「文政七甲申年正月廿九日 伊藤友五良持主」、「伊藤持用 文 政 拾三歳」とあり。
2	41		大学序師説(写本)	安政七年閏三 月(写)			冊	1	裏表紙書入れ「安政七年閏三月(菅 原カ)東海病中写之」。
2	42		文化十二乙亥曆	文化十一年出	江戸曆開板 所・鶴屋喜右 衛門、仙台売 方所・壺屋利 兵衛、松屋茂 兵衛		冊	1	裏表紙書入れ「此主大井氏」。

中畑善策氏所蔵資料目録

2	43			①大正十一年十一月 列車乗務員乗務割表 ②〔ノート〕(①の各ページに上書きまたは空白頁に書き込み。姓名判断占い、衣類価格の覚書、読書ノートなど。日付のあるものに「一九四六年六月三日読了」とある『キュリー夫人伝』読書ノート、昭和21年12月23日付仙台市菅原国治宛仙台市渋谷善雄地所売渡証筆写あり)	①大正十一年十一月 ②(1946年)	①札幌鉄道局		冊	1	
2	44			〔公務日記〕	(記載内容:明治11年4月5日～同12年5月14日)	(中畑清治)		冊	1	
2	45			〔中畑左角種良・種朋勤功等書上〕	(記事内容:寛政3年頃～文政12年2月19日)			冊	1	最前の3丁破損大
2	46			文政八年九月十有五日 諸小遣覚帳	(文政8年6月頃～弘化2年7月下旬)			冊	1	丁間文書2点あり。
2	47			評定格式(仙台藩の評定格式留)	(近世)			冊	1	
2	48			公義御旧例格留 全(仙台藩の旧例格留。末尾に嘉永元年2月付の古内家中伊藤義蔵隠居願写あり)	(慶応3年5月28日写)	(中畑友五郎写)		冊	1	
2	49			天保十三年八月 御野場方御条目写	(天保13年8月写)			冊	1	紙背の一部が仙台藩「御儒役家業人調」など。
2	50			戊戌安永七年九月大吉日 判立牒	(記載内容:安永7年9月～安永8年)			冊	1	丁間文書3点あり。
2	51			〔八木五郎左衛門より中畑左角受取高覚(断簡カ)〕	明和七年十一月			状	1	破損
2	52			①〔覚書〕(「御香奠 改正巻切」、裏面に「菱沼東作」、「進供」とあり) ②当郷百姓中畑清治呈伺申上候事(案文。①の「御香奠」記載と同面に記載。)	①(近世) ②(明治4年)	②(中畑清治)		状	1	
2	53			〔庭訓往来(断簡)〕(6月11日の状の一部。端裏に「伊藤友五郎」とあり)	(近世写)			状	1	前後欠
2	54			〔庭訓往来(断簡)〕(2-53の続き。6月11日の状の一部、および7月5日の状の一部。端裏「伊藤□□(友五)郎」)	(近世写)			状	1	前後欠
2	55			客舎聞鶯(七言絶句)	(近世カ)			状	1	
2	56			〔伺書(カ)案(断簡)〕(「此度浪人数百人、南御境え相入候義風唱御座候二付」など)	(慶応4年)			状	1	
2	57			〔和歌書付〕(「御製」、「西本願寺」など)	(近世カ)			状	1	
2	58			酒造秘方御徳用伊丹楠灰	(近世)	本家・摂州伊丹・上村庄左衛門(印影印)。元弘所、江戸新川岸・内田茂兵衛(印影印)、芸州栗川・松屋弥市(印影印)。奥州取次所・仙台二日町・池田勘兵衛(その他7名)		冊	1	
2	59			〔冊子断簡〕(pp.891-893。勅令第77号海岸望楼条例)	(明治)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	60			書出(伊達綱村による古内氏への屋敷立寄、諸拝領物等の書き上げ)	明和九年九月廿五日	古内頼母広充		冊	1	落丁・乱丁があるか
2	61			小学新□□□□(書籍表紙断簡)	(近世写)			状	1	題簽一部欠
2	62			[申達状](「屋形様・御曹司様御事」)	(明治元年)辰十月廿五日	横田四郎衛	中畑友五郎様、御用前様	状	1	
2	63			[海鱈に関する文章](全文漢文。天保9年2月に荒浜・蒲崎両浜の漁人らが争い獲り、凶年の危急を救った「海鱈」の死骸について)	天保歳次戊戌(9年)二月日	只野克己(只野欽吾、樗斎)識		状	1	
2	64			御教諭(写。勸農などについて6ヶ条、および大肝入身持についてなど3ヶ条)	(近世)			冊	1	
2	65	1		[申達状](「自今為相登候御酒、今日式樽為相登候得者、当月分ハ為替吉樽在之候得ハ」など)	十月廿五日(近世)	岩沼より・岩淵大之進	仙二而・中畑友五郎様	状	1	
2	65	2		[年頭祝詞状]	初春中七(近世カ)	大橋様(ママ) 隠居(白石領主片倉氏)	岩沼君(古内氏)	状	1	
2	66			廃業届(「菓子小売営業」の廃業)	明治廿七未八月	名取郡岩沼町 式百三拾六番地・門真栄之助	宮城県知事勝間田稔殿	状	1	
2	67			[切絵](花に蝶)					1	
2	68			①[書状臨写](菅公御詠歌、および豊州公宛奥州書状) ②町見之書(蛇腹本①の裏面を使用)	①万治二年正月 ②(近世)	①[]入・正景(印)(花押)		状	1	
2	69			□□日誌(表紙断簡)	(明治)			状	1	
2	70			[仰渡書](「御足輕組頭山田甚五郎悴見習・新右衛門」について)	(近世)			状	1	
2	71			[ペリー来航諸記録等写]	(嘉永7年写)			冊	1	
2	72			[書状](「先日ハ御来臨」、「其節御頼仕候笠島村え之紙面相認、さし上候間」など)	雁来月十九日(近世)	志村吉之介	岩沼御屋敷・中畑友五郎様	状	1	
2	73			①享和三年八月吉日写之 御領分大名御知行高并在所附 ②御役列 (①②一綴)	①享和三年八月吉日(9日)写之 ②(近世)	①(筆写者)中畑与右衛門		冊	1	①の奥付書入れ「右之通書物矢内氏より借用致写取也 八月九日 中畑与右衛門」。
2	74			[書籍裏表紙(断簡)]	明治三十二年十月二十日発行	編者・宮城県教育会、筆者・香川熊蔵・千葉県千葉町登戸七百四十番地		状	1	裏表紙書入れ「陸前国名取郡岩沼明治三十六年 中畑種愷 中畑種愷持用」。
2	75			[包紙](上書き「屠蘇」。その他、「大井良安」の記載、割印、ボールペンの試し書きあり)	(明治カ)			状	1	
2	76			[反故紙]				状	1	
2	77			[反故紙]				状	1	
2	78			古言集(写本)	(近世写カ)			冊	1	
2	79			哥林名所記 奥州(写本)	(近世写カ)			冊	1	
2	80			奥羽史料 卷三	明治廿四年 月 日発行	香雪精社		冊	1	
2	81			[仏閣堂舎に関する文章(断簡)](「蓮糸の曼荼羅織殿間」云々とあり。)	(近世)			状	1	
2	82			[礼状(手習カ)](端に「十九番 中畑貞治(次)」とあり。)	(近世)			状	1	
2	83			[漢詩](無題七言律詩2首)	(近世カ)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	84			売薬請売約定書(断簡①)(「雲切散」など薬5種につき)	明治十六年七月十九日	売薬営業人・宮城県陸前国仙台区二日町二丁目二十四番地・平民・池田勘兵衛、売薬請売人・宮城県陸前国名取郡岩沼本郷四百四番地・阿部彦三郎(印)		状	1	欠損部分は2-93-1。内容と作成は2-84の「表題(内容)」・「作成」欄に一括して示す。文書の地欠損
2	85			覚(「かご長持 売ツ」など3品「御預り人、渡部五三郎様方より預り」)	慶応四年七月廿九日	渋民・与八	岩沼御家中・中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
2	86			[達状](「為御取〆り之、御町同心、町内御家中共二、夜明近相廻り、御役々え相届ケ廻勤候様首尾可被申候」)	七月朔日(近世)	大之進(岩淵大之進)	御町扱方御用・中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
2	87			天保五甲午稔正口初三日[] 鷲崎城之宦[] 公私課日録(末尾に「傘巧定法」記載)	(記載内容:天保5年1月1日~4月24日)			冊	1	虫損
2	88			明和四亥年三月十二日二被渡下候 御知行請取内扣牒(表題記録のほか、「天明三の四月十七日田方壺反御知行被下置左之通当座覚」、明和6年8月20日付中畑左角切米渡覚、収載)	(明和4年3月12日、明和6年8月20日、天明3年4月17日)			冊	1	
2	89			姦賊広目 全(写本)	万延元庚申年七月廿四日写	時珍物選		冊	1	
2	90			天下変 全(写本)	(近世写カ)			冊	1	
2	91	1		[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き「左角」)					1	
2	91	2		[米借用証文](「米五斗入壺俵二借用仕候」)	安永五年十二月	借り主・渡部幸内(印)、小川村御百姓口入・源四郎(印)	中畑左角殿(中畑種良)	状	1	
2	91	3		[申達状](「御願振之義ハ、御上席之外は、直願二相認不申不叶義二御坐候」など)	九月十六日(近世)	渡部多利之丞	中畑左角様	状	1	
2	91	4		[古内氏直書](「志祢祝義、家老共二被下候義居かゝり二而軽ク何も御手酒被下候処」)	十二月四日(近世)	(古内氏)	左角方え(中畑左角)	状	1	
2	91	5		[書状](「当四月十六日 公義御役人衆被相下、鈴木与五右衛門抱屋敷見分被致候に付」公義御役人衆との問答を記す)	八月九日(近世)	伊藤操太郎		状	1	
2	91	6		[断簡](「左之通御座候間、拙者共連名を以此之段相達申候以上」とのみあり)				状	1	前欠カ
2	91	7		[伺書案](「去冬之重キ 思召ヲ以御金百疋充被下置」について)	天保二年五月十七日	中畑左角(中畑種朋)(「専」印)		状	1	
2	91	8		[書状](「昨日御尊書之趣拝見、甚驚入、重々不念之仕合、御品々ハ無相違請取上、其後実ハ御請取モ認置、終二指上不申候」など)	八月廿三日(近世)			状	1	
2	91	9		[伺書案](「拙者義、玉造郡川度(渡)え入湯二罷越申度奉存間、来ル廿二日より来月七日迄日数十五日御暇被成下度奉願候」)	五月(近世)	中畑左角		状	1	
2	91	10		[金子・玄米借用証文](「壺分判式切并玄米五斗入壺俵右両様二致借用候」)	安永五年三月廿九日	平田清兵衛(印)	中畑左角殿(中畑種良)	状	1	
2	91	11		[諸芸書上状案](「此度諸芸伝授以上之者書上仕候様被仰渡、承知仕候」)	七月(弘化2年以降)	古内弘見(古内広賢)用人・中畑友五郎		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	92	1		[ハترون紙製封筒]					1	一部裂
2	92	2		[兵法雄鑑(断簡②)]	(文化8年閏2月)	(茂松軒・片平亘定広)	(篠谷貞吉)	状	1	2-92-4「兵法雄鑑(断簡①)」の「備考」欄参照。前後欠
2	92	3		[兵法雄鑑(断簡③)]	文化八年閏二月	茂松軒・片平亘定広(花押)	篠谷貞吉殿	状	1	2-92-4「兵法雄鑑(断簡①)」の「備考」欄参照。前欠
2	92	4		兵法雄鑑(断簡①)(「大将可被存五十箇条之事」)	(文化8年閏2月)	(茂松軒・片平亘定広)	(篠谷貞吉)	状	1	本来2-92-4、2-92-2、2-92-3の順に継がれていたもの。全体の内容を2-92-4「兵法雄鑑(断簡①)」の「表題(内容)」欄に一括して示す。後欠
2	92	5		[剣術秘伝書]	(近世)			状	1	後欠カ
2	93	1		[売薬請売約定書(断簡②)]	(明治16年7月19日)	(阿部彦三郎)		状	1	欠損部分は2-84。内容は2-84の「表題(内容)」欄に一括して示す。大部分欠損
2	93	2		明治十六年度一月ヨリ六月マテ車税割賦(金50銭、地方税金50銭)	明治十六年一月日	相原致遠(「致遠」印)	納人・吉田長衛	状	1	
2	93	3		明治十五年度七月ヨリ十二月マテ工業税割賦(金12銭5厘)	明治十五年十月日	相原致遠(「致遠」印)	納人・中畑清治	状	1	
2	93	4		[受領証](御茶料金10銭)	明治十五年十一月七日	仙台国分町・渡辺忠八(「陸前宮城国分町渡部(ママ)〈カ中(カ)〉」印)	十四番・御客様	状	1	
2	93	5		[勘定書(断簡)](金74円5厘の内訳。端裏に「加藤清五郎分 壹円拾銭」)	(明治)			状	1	後欠
2	93	6		[達状](「今廿四日宝珠院壺村御備糶御貸付二相成候間」)	(数字ナシマ)月廿四日(明治9~11年)	平田村扱(「景」印)	組扱・大沼吉蔵殿(○印あり)、「」・中畑清治殿、「」・中山清之丞殿	状	1	
2	93	7		極至急達(「民費課出勤皆納之義」)	七月十三日(明治9~11年)	組扱・中畑清治(印)	新小路丸山	状	1	
2	93	8		[断簡](「九円拾弍銭五り 内拾五銭六り 合九円五拾八銭壱り」とのみあり)	(明治)			状	1	前欠
2	93	9		[金額書上げ](「金七円三拾五銭壱り 伍舎長給」など書上げ)	(明治8年6月10日~9年6月2日の中畑清治伍舎長在任時)			状	1	
2	93	10		[出人証文](「出人壺人 岩沼郷 右之通熊野堂 六郷下堀通り植松村字宮下悪水抜水門伏替方二相届候」)	(明治8年カ) 亥ノ六月八日	土木下係・大友順蔵(印)	岩沼郷	状	1	
2	93	11		記(鈴木文助人足1人3分など4人分、「右之通り、北はせ通中道え、はし懸ケ御人足相出、御支払被下度候」)	十月廿三日(明治)	小倉俊次(「忠孝」印)	中畑清治殿	状	1	
2	93	12		定則(納金上納に関する第1条~第3条。右半丁に楷書、左半丁に草書で同文を記載)	(明治)			状	1	
2	93	13		[達状](「至急」承合候条早々出頭可有之候也」)	三月十七日(明治8~9年)	小十区役所(「第口〈八〉大区口〈小〉十区之印」)	中畑清治殿、中山清之丞殿	状	1	
2	93	14		記(八巻源之丞分質地預り分、私より金2円68銭4厘8毛上納)	十二月十日(明治4~5年)	大友今太郎	中畑伍長様	状	1	
2	93	15		[田畑反別地価書上げ](木名瀬源五郎ら47名分)	(明治)			冊	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	93	16		〔租税受領関係書類綴〕(13点一綴)	(明治7年度、第4・9・11綴目)、(明治10年)丑ノ十一月十九日(第1綴目)など			冊	1	
2	93	17		記(夏物金など不納の8口分2円91銭2厘7毛督促)	(明治9年)十二月十九日	おし分村・庄司栄五郎(印)	岩沼・中畑清治様	状	1	
2	93	18		〔書状〕(「今回者衆議院議員選挙に際して」)	明治四十一年拾一月	高野孟矩	中畑左角殿	状	1	
2	93	19		〔衆議院議員選挙当選礼状〕	明治四十一年五月十八日	高野孟矩	中畑左角殿	状	1	
2	93	20		〔国税・地方税改め書〕(文書奥に大書きされる「一等軍曹・黒部猪三郎」は作成者か)	(明治)			状	1	
2	93	21		〔押分村分納税調書〕	(明治9年頃)			状	1	
2	93	22		①記(地租上納抄写。合金315円3厘) ②〔覚書〕(①の折紙裏面に記載。「東京芝区三田四国町育種場内南厩居住・村上新兵衛 明治十八年四月六日マテ」とあり)	①明治十年十二月十二日 ②明治十八年四月六日マテ	①戸長・一、区长・氏家次章		状	1	折紙一部切取られ欠
2	93	23		五月三十一日内灘水門伏替方より御用立人足割(「左角口上扣」とあり)	(記載内容:5月31日、明治)			状	1	
2	93	24		〔税金計算書カ〕(「中小車」について計金37円25銭税金、18円62銭5厘地方税)	(明治13年カ)辰ノ九月十七日改メ			状	1	
2	93	25		〔売渡証文(断簡)〕	(明治)十六年十二月卅日	名取郡岩沼郷売渡人・中畑清治、保証人・矢口直四郎	八巻才助殿	状	1	前欠
2	93	26		〔招待状〕「本日閉場二付玉望楼二於テ親睦会相催シ候間、御下懸御立寄アランコトヲ希候」	(明治)十五年九月卅一日	会場外番	中畑清治様、伊藤次郎兵衛様	状	1	
2	93	27		金子借用証(金10円)	明治十三年十一月十日	右金子借用人・中畑清治(「中畑種昌」印)	伊藤佐治衛殿	状	1	全文にかかる抹消線あり。
2	93	28		名取兵事義会加盟(「一、金拾壹銭 鈴木金六一、金六銭 佐々布兵蔵 一、金四銭 小野悟平」とあり)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫紙使用。
2	93	29		〔兵員名簿〕(「現役兵」3名、「海軍全」3名、「陸軍予備兵」2名、「全後備兵」3名)	(明治26年以降)			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫紙使用。
2	93	30		〔馬(カ)所有名簿〕(所有者14名、頭数22)	(明治)			冊	1	
2	93	31		〔通達状〕(「大友今太郎売菓諸売営業明治十四年九月中出願二付」)	(明治)十六年五月廿二日	租税係(「名取郡租税係」印)	岩沼郷戸長役場御中	状	1	
2	93	32		証(賄料金3円25銭など受取)	(明治)十五年八月十一日	検疫所御宿・岡田儀蔵(印)	中畑清治様	状	1	
2	93	33		〔使夫給料調書〕(瀧沢源四郎の15年7月分2円50銭など「使夫給料之分」2人分、各6件)	(明治)15年7月分~明治16年6月分)			状	1	
2	93	34		〔依頼状〕(「当郷平民太田喜平ナル者、同郷相原栄松ニ係ル貸金催促ノ件ニ付」)	八月廿六日(明治12~17年)	戸長・平一(マ)久之進(平田久之進)(「平田」印)	筆生・中畑清治殿	状	1	
2	93	35		〔東武神社脇堤防間尺図〕	(明治)			状	1	
2	93	36		年賦金延期願(案文。「私義亡父卯左衛門代、馬買金トシテ旧藩拝借金」のうち未返済分の金165円40銭について)	(明治)16年)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	93	37		記(明治5年6月初調から同16年8月調まで金252円)	(明治16年頃)				状	1	
2	93	38		廿六年臨時修繕之部	(明治26年)				状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫紙使用。
2	93	39		証(岩沼町字稻荷山大江下堀分三ヶ所、春季江弘、受負人夫雇金4円14銭受領)	明治廿六年六月	岩沼町貳百七拾七番地・片山彦五郎、全貳百六拾貳番地・相原致遠	岩沼町長太田庄七殿		状	1	
2	93	40		入札(「字外灘土手」「八子枯木根カイリ壺本 此代価三拾銭也 右代価ヲ以御払下ケ被成下度、此段奉願上候」)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)	名取郡岩沼本郷・渡辺喜内(印)			状	1	封紙同綴
2	93	41		①隠居家督願(案文。「第二大区一小区名取郡岩沼本郷三百五十五番地 農 鈴木鉄蔵」、長男金六)への相続について。 ②嘆願書(案文。①の裏面に記載。「当県管下第二大区十小区宮城郡郷六村五番地農相原平五郎長男 農 相原平次郎」について)	①明治十年四月 ②明治十年六月一日	①右願人・鈴木鉄蔵(印)、長男願人・鈴木金六、(奥書)村扱補・中畑清治(印)、村扱・相原致遠 ②右平五郎父願人・相原平十郎			状	1	
2	93	42		〔諸営業願案〕(以下①～③は同一面に記載。①「菓子営業願」。②「増営業願」(①「増営業願」とは別記)。③「増商願」。)	①明治廿七年十月 ②③(明治)	①名取郡岩沼町貳百拾六番地・横山清三郎	①宮城県知事 勝間田稔殿 ②郡長宛		状	1	
2	93	43		①紛失届(案文。菓子製造免許鑑札紛失) ②送籍届(案文。①の裏面に記載。名取郡岩沼町六百八十四番地岩淵多四郎二女きくの婚姻による)	①明治廿七年八月 ②(明治)	①平民・門真栄之助 ②戸主・岩淵多四郎	①岩沼警察署 長武市郎殿		状	1	
2	93	44		職獵願(明治17年10月より同18年4月までの「和銃玉目」3匁4分「御免許御鑑札御下渡シ被成下度、此段奉願候」)	(明治17年)	右願人・——(名取郡岩沼本郷六百九十二番地・久板栄助・明治十七年十月四十五歳二ヶ月)	名取郡長小笠原幹殿		状	1	
2	93	45		①記(金3円33銭3厘9月分のうち1円33銭3厘渡) ②解車御届(①に上書き。案文。荷横車1輛について)	①(明治) ②(明治22年4月1日の町村制施行以降)	②名取郡岩沼町貳百拾九番地・門真与祢	①中畑君 ②宮城県知事 船越衛殿		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	93	46		職獵願(明治15年10月より同16年4月までの「和銃玉目」3匁4分、「何卒御免許御鑑札御下ケ渡被成下度、此段奉願候」)	明治十五年十月、(奥書)明治十五年十月十六日、(聞届書)(明治)十五年十月廿日	右願人・久板栄助(「栄」印)(名取郡岩沼本郷六百九拾貳番地・十五年十月四十二年二月)、(奥書)戸長相原致遠大理・筆生・中畑清治(「中畑種昌」印)、(聞届書)名取郡長小笠原幹殿小梁川明康(「宮城県名取郡書記小梁川明康」印)	名取郡長小笠原幹殿	冊	1	
2	93	47	1	[紙帯]					1	
2	93	47	2	[上達書](「竹駒寺丈払 御火消廻勤方 吾人」など「御足輕御ヶ所勤分」3ヶ所「取調、同役一統吟味之上相達申候条、否之義早速御差図被成下度此段相達申候」)	辰六月廿一日(慶応4年以前)	中畑貞次		状	1	
2	93	47	3	竹駒宮御祭礼御神事割(友五郎、関治ら、7日~13日まで3名づつ番人割)	(安政6年5月24日の吉田関治死去以前)			状	1	
2	93	47	4	[申上状](「竹駒明神御親(か)包、又蔵方より相下候洪紙候やら油かミ候やら取、昨日参候所」について)	五月八日(近世)	中山衛守	伊藤味右衛門様、御同役中様	状	1	
2	93	47	5	[神社名書上げ](塩竈大明神など22社)	(近世)			状	1	
2	93	47	6	宿証文之事(「御城下人形商人五人 右之通初午御神事中宿仕相違無御座候」)	弘化四歳二月	御門前ノ・嘉蔵(印)	方丈・御役者様	状	1	
2	93	47	7	[達状](「大殿様御事、明廿一日朝五つ半時御召出二付」)	九月廿日(近世)	友五郎(中畑友五郎)	今藤若蔵殿	状	1	
2	93	47	8	①[封紙](上書き「仙二而・中畑友五郎様 從岩沼・中畑貞次 小札十八枚中」) ②[諸金高書上](①の裏面に記載。「竹駒宮へ年始并初午御名代御初穂」金2切、「御格小役代見詰」金16切程など6件)	(近世)			状	1	
2	94	1		[輪ゴム]					1	
2	94	2		①[勘定書](18日から30日まで、「かれへ 七俵」6貫文など16件) ②[包紙](①の裏面に記載。上書き「明治三庚午正月改 岩沼郷田畑之図」)	①(近世) ②明治三庚午正月改			状	1	
2	94	3		[絵図](「江靄海道」と「五間堀」の間に存する地所3筆)	(明治)			状	1	
2	94	4		[申達状](鮭1尺、巴酒5升2樽、酒塩引5.6本、「右之通二御座候間御都合被下度、此段申達候」)	九月九日(近世)	岩より・鈴木山之輔	仙二而・中畑友五郎様	状	1	折紙一部切取られ欠
2	94	5		[人名書上げ](佐藤安太夫の御番入に関する人員の書き上げか)	嘉永七年甲寅、正月廿五日			状	1	
2	94	6		[封紙](初穂金に関する書き入れあり)	(近世)	三木庄左衛門(白石領主片倉家中)	岩沼御屋敷・中畑友五郎様	状	1	
2	94	7		[書状](「從 徴粒院様御初献金百疋、例年之通延命寺え被相備候二付」)	三月十五日(近世)	丹野八弥(白石領主片倉家中)	中畑友五郎様、御詰合中様	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	94	8		覚(「金百疋 徴粧院様御初穂、右之通神前え相備、慥ニ落手仕候」)	西三月十五日(文久元年以前)	延命寺(「瑞珠山」印)	丹野八弥様(白石領主片倉家中)	状	1	
2	94	9		[書状](「当正月中、岩沼御屋敷より 御初穂入別封到来仕候ヲ、愚悞、書状之受取計指遣シ、急カニ不用迎指置候」など)	三月六日認メ(近世)	金子樞之助(白石領主片倉家中)、拝上	三庄左衛門様(三木庄左衛門、白石領主片倉家中)、几前	状	1	
2	94	10		[申達状](「例年之通延命寺え被相備候御初穂金百疋御廻相成受取候」)	三月廿日(近世)	三木庄左衛門(白石領主片倉家中)	中畑友五郎様	状	1	
2	94	11		[封紙]	(近世カ)			状	1	
2	94	12		[封紙]	(近世)	従白石・斎藤新兵衛(白石領主片倉家中)	仙台岩沼御屋敷二而・中畑友五郎様、貴酬	状	1	
2	94	13		[書状](「是非御面談致し不申不叶義御坐候間」など)	八月廿六日(近世)	吉之介(志村吉之介)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	94	14		甲戌(明治7)年楽山様方御備糶并宝珠院御備糶貸付返納左二	(明治8年)亥ノ一月十七日	(「第八大区小十区之印」)村扱・伊藤良泰	中山清之丞殿、中畑清治殿	状	1	
2	94	15		①[願書写](「福田秀吉」の入籍について。)②[調書](①の裏面に記載。「稲荷山御普請出人不出調」3名、「村普請方不出」4名、「過人足覚」4名)	①明治六酉年一月 ②(明治)	①福田紀六郎、五(伍)長・一、百姓代・一、副戸長・一、二小区戸長・一		状	1	折紙一部切取られ欠
2	94	16		明治七年分地券税金書紙御勘定調	(明治8年)いノ三月廿五日改メ			状	1	
2	94	17		[普請方名簿](「明治十年五月より遠普請方」52名、「明治十年五月より村普請方」10名、「新町分遠普請方」14名、「村普請方新町分」21名、「村普請分限調 明治十年分」54名)	(明治10年頃)			冊	1	
2	94	18		[和古書(断簡)](道中記。第74~76丁。版本)	(近世刊)			状	3	
2	94	19		[書状](「論示蒙首巻一本、御手本二有御坐候哉。可有御坐候ハ、御恩借奉願候」)	廿六日(近世カ)	畏齋(増田有常カ)、拝	方齋君、玉几下	状	1	
2	94	20		[仕置仰付書](蟹江太郎介らへの仕置仰付。裏面に「用法口述 鈴木要安老」とあり)	(乙丑(慶応元年)十二月十一日)			状	1	折紙奥切取られ欠
2	94	21		[漢詩詠草](「別後呈北郡諸友人」七言絶句、「訪千葉君宅見饗因以謝」七言絶句、「室根山」五言絶句、「其二」五言古詩、「其三」七言律詩の5首)	(弘化2年1月14日の志村篤治死去以前)	獲心軒(志村篤治、志村弘強)		状	1	
2	94	22		[礼状](「茲辱錦字者亶々不止感愧許多不佞劣々依旧幸勿煩遠念臨期慙々海山之厚情謝々尖頭何既」とあり)	(天保14年4月7日の巻菱湖死去以前カ)	菱湖(巻菱湖カ)、頓首拝	方齋先生、案下	状	1	前欠カ
2	94	23		[書状](「明八日御講有御坐候所、亡子之法事二相当り」など)	二月初七(近世)	志村味庵(志村退蔵、志村利安)、拝	岩沼御用人・中畑友五郎様	状	1	
2	94	24		寄寓円嶠戯作(七言絶句)	(弘化2年1月14日の志村篤治死去以前)	獲心軒(志村篤治、志村弘強)		状	1	
2	94	25		[申達状](「鮭壹尺」および「巴酒 五升入式樽」について)	九月十日(近世)	岩・鈴木山之輔	仙・中畑友五郎様	状	1	
2	94	26	1	[封紙]	(6月19日、近世)	広賢(古内広賢)	伊藤繁右衛門殿	状	1	
2	94	26	2	[古内広賢直書](「先刻申入候義、如何致首尾合候哉」など)	六月十九日(近世)	(古内広賢)	伊藤繁右衛門殿	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	94	27		入籍願(「名取郡岩沼本郷百六拾七番地平民平間弥五郎養長男・平間弥五郎」について)	明治十五年六月	平間弥五郎		状	1	全文にかかる抹消線あり。
2	94	28		〔書状〕(「八月廿日御認御書紙、一昨廿六日遠刈田え相達、拝読、同所え出役致居」など)	八月廿八日(近世)	斎藤新兵衛(白石領主片倉家中)	中畑友五郎様	状	1	
2	94	29		〔伺書案〕(竹駒神社初午神事中の小見せ物御免を願う)	(元治2年)丑ノ正月十五日	古内左近介(古内広居)	中橋久右衛門様、御同役中様	状	1	
2	94	30		〔書状〕(「御両処様え寒中御伺之畢(ママ)翰奉指上度御坐候処、乍憚御序之節宜御披露被成下度奉願候」など)	十一月廿八日(近世)	松寿、拝	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	94	31		〔書状(断簡①)〕(「屋形様御登城之節者、惣御供、笠なしにて御供仕候由ニ御坐候」など。)	(3月26日、近世)			状	1	本来2-94-31(奥下に「忝番」とあり)、2-94-32(端下に「忝番」とあり)の順に継がれていた、または重ね折りされていたもの。後欠
2	94	32		〔書状(断簡②)〕(2-94-31の続き)	三月廿六日(近世)			状	1	前欠
2	94	33		〔願書案〕(「焚火ニ用ユル物件ハ薪口ニ限り使用ヒ、其他ノ焚物ハ一切相用不申」など)	[]年八月、[]年八月十七日、[]八月六日 八ヨリ十マテ(明治25年頃の中畑清治区長就任以降)	岩沼町人民総代人・区長・中畑清治 二、全・山田源吉 三、全町人民総代人・区長・高橋留治 一、此列ニ一ニ三ト改メ、此〃ニ二一ニ三ト改メ	口(警カ)部武市郎殿、口中雷之助殿	状	1	破損大
2	94	34		〔法度・願書写〕(①〔屋敷手入等につき法度写〕、②〔町奉行御免願書写〕)	①文久三年二月朔日 ②宝暦十三年七月	①入江権太夫・重判、米山喜右衛門・ 〃 ②荒井嘉右衛門	②志摩殿、主水殿、内蔵人殿、下野殿	冊	1	
2	94	35		七月廿一日ヨリ 慶応四辰軍事御用金受払帳	(記載内容: 慶応4年7月21日~明治元年11月16日)			冊	1	
2	94	36		〔仙台藩門閥家臣分限帳〕(4丁)	(近世)			冊	4	鉄製クリップにより留めている
2	94	37		諸御用先後列左之通(御納戸番近御用・御櫛番近方御用・仙御馬番・御納戸遠方御用・御櫛番遠方御用中畑貞次を含む古内家中書上げ)	(近世)			冊	1	やや破損
2	94	38		〔租税領収等記録〕	(記載内容: 明治10年1月28日~11年2月24日)			冊	1	綴じ紐に明治11年の人足召仕状など文書4点括り付け。表紙腐食
2	95	1		〔輪ゴム〕					1	断裂
2	95	2		〔申達状〕(「当月分諸紙御買上之義」)	七月六日(近世)	岩より・鈴木山之輔	仙二而・中畑友五郎様	状	1	
2	95	3		〔書状〕(「此境味菴先生様倍御安泰御勤仕御起歳被遊」など)	二月十九日(明治元年以前)	今野松三郎	中畑友五郎様、玉搦下	状	1	
2	95	4		〔書状〕(「繁の事、毎度より不相替御世話被成下、難有仕合ニ奉存候」など)	三月廿五日(近世)	権左衛門(我妻権左衛門)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	95	5		〔申達状〕(「私義御用之義御坐候ニ付」)	七月廿五日(近世)	横田民治	中畑友五郎様	状	1	
2	95	6		〔申達状〕(「今夕公平様御始御下りに付」)	十二月十三日(近世)	長谷力之助	中畑友五郎様	状	1	
2	95	7		〔書状〕(「老父初、拙夫事も無事ニ罷在申候間、御尊意被成下度願上申候」など)	六月廿二日(近世)	我妻権左衛門	中畑友五郎様	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	95	8		〔書状〕(「御頼之鎌先之湯、御殿方へ申遣シ置候処」など)	二月廿四日(近世)	片平与惣左衛門	中畑友五郎様、御報	状	1	
2	95	9		〔書状〕(「先達而者御日帰御登仙二而、何程か御難義被成置候半哉と奉察上候」など)	四月廿三日(近世)	磯村小子、拝	中畑様	状	1	
2	95	10		〔書状〕(「陽之輔様御召御入料之内二付品々被仰下、承知仕候」など)	二月廿九日(天保4年以前カ)	伊藤丈太夫	御叔父様(中畑左角種朋カ)	状	1	
2	95	11		〔申達状〕(「別紙為御知状之趣相達 御聴ニ申候条、右別紙直々返達仕候」)	十月廿二日(近世)	音人(鈴木音人)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	95	12		〔書状〕(「昨日者御念翰被成下、難有仕合奉深謝候」)	二月七日(近世)	山之輔(鈴木山之輔)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	95	13		〔書状〕(「此節悴義罷登居、万端何角御役(厄)介様、千万難有仕合ニ奉存候」など)	菊月十七日(近世)	高沢専治、拝	中畑友五郎様	状	1	
2	95	14		〔申達状〕(「御守札書通・御団書巴」について)	九月十七日(近世)	白石屋敷・金子梶之助	岩沼御屋敷・中畑友五郎様	状	1	
2	95	15		〔申達状〕(「殿様え従 若殿様之御直書被為相登、受取差上申候」。「自分」として、追いはぎの流行について言及。)	十二月十四日(近世)	仙より・磯村篤治	岩・中畑友五郎様	状	1	
2	95	16		〔申達状〕(「今日為相登申候条、御受取被指上被下度奉存候」など)	六月七日(近世)	岩・鈴木山之輔	岩・中畑友五郎様	状	1	
2	95	17		〔書状〕(「今十六日 歎喜尊天え 御代拝相勤候様、西光院より申来り候所」など)	九月十六日(近世)	大橋様(白石領主片倉氏)・金子梶之助	岩沼屋敷二而・中畑友五郎様	状	1	
2	95	18		〔申達状〕(「改正手形式歩也 右之通、若殿様御事御鉄炮之御稽古被返候二付」)	六月五日(近世)	鈴木山之輔	中畑友五郎様	状	1	
2	95	19		〔婚礼次第書〕	万延元年庚申十二月五日			冊	1	
2	95	20		〔申上書〕(「今七日其元様御廻勤之節当村御野場ニおゐて鉄炮犯人御見当」)について	天保三年十一月七日	小川村仮肝入・治兵衛(印)	佐々木豊後殿、森運吉殿	状	1	
2	95	21		①〔上達書案〕「一同廻勤仕候由之処、同村二而犯人二行敷者見当候二付、」など ②〔縁組賞状案〕(「貴様御姉おなみとの」)について	①十月(①②とも近世)	①古内弘見(古内広賢) ②(花押)		状	1	
2	96	1		〔輪ゴム〕					1	
2	96	2		〔包紙〕(上書き「証文在中」)	(近世カ)			状	1	
2	96	3		〔要請書〕(「船検査トシテ明廿五日出張致候条」)	明治十七年四月廿四日	宮城県御用係宇津志清成(「宇津志」印)	名取郡岩沼戸長役場御中	状	1	
2	96	4		理髪人内約願(写)	(明治)			状	1	
2	96	5		副書(理髪人営業・廃業願様式)	何年何月何日(明治)	理髪人取締・何ノ誰	年行事・何ノ誰殿	状	1	
2	96	6		就学猶予願(名取郡岩沼町六百五拾三番地・平民胞三郎二男・滝沢仁平)	明治廿七年四月日	右保護者・瀧沢胞三郎	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	96	7		就学猶予願(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	96	8		就学猶予願(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	96	9		就学猶予願(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	96	10		就学猶予願(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	96	11		就学猶予願(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	96	12		就学猶予願(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田庄七殿	状	1	
2	96	13		所得金高内訳明細書(断簡)(岩沼町大字岩沼、館腰村大字本郷、千貫村大字南長谷における田畑の反別・地価・収益金の明細書)	(明治22年4月1日の町村制施行以降)			状	1	後欠

中畑善策氏所蔵資料目録

2	96	14		〔断簡〕(2-96-13「所得金高内訳明細書」の一部か)	(明治)				状	1	
2	96	15		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	16		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	17		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	18		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	19		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	20		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	21		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	22		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	23		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	24		就学御届(記入用紙)	明治廿年 月 日	右保護者	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	25		〔建物梁・柱寸法図〕	(明治)				状	1	
2	96	26		〔封紙〕(上書き「のし 御年賀 五」)	(明治)	早川庄三			状	1	
2	96	27		〔封紙〕(上書き「のし 御盃礼 壱」)	(明治)	南町・渡部六 左衛門			状	1	
2	96	28		〔封紙〕(上書き「のし 御年賀 五」。裏面に「本田 義七」)	(明治)				状	1	
2	96	29		〔封紙〕(上書き「のし 御出産 一」)	(明治)	江村忠太郎			状	1	
2	96	30		〔書状〕(「登仙候処、只今ニ至り使ヒ果シテ進退 極リ」など)	八月十七日 (大正3年以 前)	船山謙三	中畑左角様		状	1	
2	96	31		御鑑札願(「一、足駄下駄十五等工業」とのみあり)	(明治)				状	1	
2	96	32		明治十六年十一月調(馬車、人力車、荷車、人 口、寒暖について)	(明治16年11 月)				状	1	
2	96	33		証(人足賃金4円42銭5厘受取)	明治廿六年九 月	右・長田金右 衛門	岩沼町長太田 庄七殿		状	1	
2	96	34		三十二年度戸数割及町税惣高	(明治32年度)				状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫紙使用。
2	97	1		①〔申上書〕(「過ル廿二日、大肝入小野乙兵衛 義」について) ②〔披露状案〕(①の折紙裏に記載。「周防様御 当町御通行之節」について)	①弘化三年十二 月 ②十一月(近 世)	①検断・伊吉 (「栄」印)、周 蔵(印) ②中畑友五郎 種良(花押)	①大之進様 (岩淵大之 進)、友五郎 様(中畑友五 郎) ②早川武中様		状	1	
2	97	2		拙者義岩沼郷所持之奉公人前高当不作書上左 之通	巳九月八日 (明治2年以 前)	中畑友五郎			状	1	
2	97	3		〔書状〕(6月25日夜の大風雨による勢州神戸な ど上方の被害を報告)	七月(近世)	京屋弥一右衛 門			状	1	
2	97	4		〔書状〕(「殿様御事」のほか、「公方様御大変二 付夷船退帆之由相唱候処如何」など)	七月廿九日	親(中畑友五 郎)より	中畑貞次殿		状	1	
2	97	5		〔書状〕(「江戸表より之書状壱状被頼候間、御 序之砌指上被下度存候」など)	二月廿四日 (近世)	馬淵哲之介	中畑友五郎様		状	1	
2	97	6		〔書状副状〕(2-97-7〔書状〕に言及のある「別 紙」。「殿様御事」「馬ニケラレ遊シ候而 御スネ 折レ候由」など)	(安政5年)七 月廿一日夜認	(中畑友五郎)	(中畑貞次)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	97	7		〔書状〕(「別紙(2-97-6「書状副状」)ヲ以秘事為申登候条、何分独見之上挨拶可申登候」。その他、当時の状勢に関する記述あり。)	(安政5年)七月廿一日認	親(中畑友五郎)より	中畑貞次殿	状	1	
2	97	8		〔書状〕(「最前ハ与右衛門殿御婚礼も御首尾好相濟、恐悦至極ニ奉存候」など。)	六月十七日(文化3年以前)	鈴木儀兵衛	左角様(中畑種良)	状	1	
2	97	9		〔仰渡状〕(「御足輕口口治悴見習・七太郎」について)	(近世)			状	1	
2	97	10		〔方齋君に呈する文〕	(明治16年12月6日の増田有常死去以前カ)	畏齋(増田有常カ)	方齋君	状	1	前欠
2	97	11		御触(断簡。本文欠。「左之御触、貴様・鈴木良左衛門触出シ」など)	(近世)			状	1	後欠カ
2	97	12		〔達状〕(10月17日付境野平八郎宛後藤孫兵衛差出達、10月15日付境野平八郎宛後藤孫兵衛差出達、12月付豊前差出達、など)	十二月廿六日(近世)	惣左衛門(古片惣左衛門カ)	惣御家中	状	1	
2	97	13		拙者儀御知行所立付作子名元并手余り無仕付有無之訳畝反割付ヲ以相調書上候様被仰渡承知仕左之通(草案。中畑氏の旧知行地についてのもの。奥書きに「今朝者蜜(密)名良光」とあり)	(明治カ)			状	1	
2	97	14		閑上浜御堅メ人数之内難洪名附左之通り(卯之太郎ほか9名)	(慶応4年カ)			状	1	
2	97	15		〔廻状カ〕(「各御用之義有之候条、即刻 御城え罷出候様可有之候」)	六月廿二日(近世)	中貞次(中畑貞次)		状	1	
2	97	16		〔申達状〕(「明廿七日 屋形様・御曹司様御事、東京え被遊 御登候二付」)	(明治元年)辰十月廿六日	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	
2	97	17		〔申達状〕(「昨夜御伺、御飛脚ヲ以被相登候二付」)	(明治元年)辰十月廿六日	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	
2	97	18		〔申達状〕(「昨夜山口権七郎殿より大條孫三郎様御宅え即刻之御呼出申来」など)	(明治元年)辰十月廿六日	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	
2	97	19		〔書状〕(「御国元出立前、時々御尋来被下、珍餉御直送之上、遠路御祝銭、感謝之至候」など)	(天保10年)五月三日	菊隠翁(志村篤治、志村弘強)、拜	中畑友五郎賢契	状	1	
2	97	20		〔申達候〕(「急御用被為有候二付」)	十月廿五日(近世)	音人(鈴木音人)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	97	21		〔申達候〕(「昨廿七日 屋形様・御曹司様、東京え遊 御登候二付」)	(明治元年)十月廿八日	仙より・横田四郎衛	岩沼二而・中畑友五郎様	状	1	
2	97	22		〔申達候〕(「屋形様・御曹司様御事」)	(明治元年)十月廿六日	友五郎(中畑友五郎)	(合点)嘉右衛門様、(合点)為輔様(伊藤為輔)、(合点)勘之輔様	状	1	
2	97	23		〔申達状〕(「先刻中嶋 御屋敷え御出勤之訳申達置」について)	(明治元年)十月廿六日	友五郎(中畑友五郎)	(合点)嘉右衛門様、(合点ナシ)為輔様(伊藤為輔)、(合点)勘之輔様	状	1	
2	98			墨色之伝	享和元年神無月吉日	神田見利	八巻一考文	状	1	
2	99	1		〔書幅捲り〕(「山中無曆日」)				状	1	
2	99	2		〔書幅捲り〕(「采芳采菲無以下体」(詩経・谷風))		平祚胤(白石領主片倉家老・本沢祚胤カ)、漫揮(「祚胤之印」)(「佰(カ)起氏」印)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	100			〔達書〕(「近衛内府様御事」について)	(慶応2年)寅 三月七日	大条孫三郎	鮎貝七郎平殿	状	1	
2	101			〔申達状〕(「屋形様・御曹司様御事」)	(明治元年)辰 十月廿六日	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	
2	102			〔書状〕(「先日悴罷出、色々御丁寧御取扱被成下、難有仕合奉拜謝候」など)	初秋十二日 (近世)	辺見英之進	中畑友五郎様	状	1	
2	103	1		〔書幅捲り〕(七言絶句1首。「右、遊青嶺温泉」)	(明治3年3月1 日の橋斎死去 以前)	橋斎(只野欽 吾、只野克 己)		状	1	
2	103	2		〔書幅捲り〕(七言絶句1首。「右、石溪先生(志村篤治弘強)寓屋于円嶺有二絶偶読之、不堪感懐聊次其一韵奉和之」)	(弘化元年5月 9日の伊東包 実死去以前)	竹隈伊東包 実、敬具(「包 実之印」)(「伯 穎」印)		状	1	
2	104	1		〔揚屋入名付〕(「膳所用人・河田権右衛門」ほか14名)	(近世)			状	1	前後欠
2	104	2		大番頭并脇番頭番付(「一番」「佐藤但馬」以下「拾番」「片平数馬」までの仙台藩大番頭および脇番頭名附)	天(保)七申正 十一日			状	1	
2	104	3		安政六正月十三日御用召(「久世平八郎屋敷石母田但馬」など人名書上げ)	(安政6年正月 13日)			状	1	
2	104	4		安政六年正月十一日御用召(仙台藩若年寄三好武三郎など35人名人名書上げ)	(安政6年正月 11日)			状	1	
2	105			〔縷留等秘伝書〕	(近世カ)			状	1	前後欠
2	106	1		〔申達状〕(「岩淵英喜殿え御買物不足忝切式朱ト式百四拾三文御立替被下候分」について)	二月十九日 (近世)	岩・木名瀬正 太夫	仙・中畑友五 郎様	状	1	
2	106	2		〔申達状〕(「此度指上候御反物の義、調書行違候由二而、別而御調書被相下、品々被仰下、致承知候」など)	五月十九日 (近世)	鈴木山之輔	中畑友五郎様	状	1	
2	106	3		〔申達状〕(「毬式つ分」金1切・代747文など3件分、金2切1朱・代1貫92文「右之通被仰下置、為相申候」)	五月朔日(近 世)	渡辺哲平	中畑友五郎様	状	1	
2	106	4		〔御用状〕(「御給主え被備下候御石被渡下、受取振等之義、一卷指添、被御申聞候事」など)	四月十三日 (近世)			状	1	
2	106	5		〔書状〕(「登仙之砌ハ御面倒様、右御礼申上候」など)	五月朔日(近 世)	岩沼より・岩 淵大之進、拜	仙二而・中畑 友五郎様	状	1	
2	106	6		〔書状〕(「於芳様御乳母容子之義」について)	五月十九日 (近世)	松崎養三、拜	中畑友五郎様	状	1	
2	106	7		〔申達状〕(「横田四郎衛内用不形付二付」)	五月三日(近 世)	岩沼より・岩 淵大之進	仙二而・中畑 友五郎様	状	1	
2	106	8		〔申達状〕(「御用被為在今日中罷登候様ニ被仰出趣被仰聞、致承知候。一昨日之頃より風邪ニ相中」など)	五月三日(近 世)	岩沼より・岩 淵大之進	仙二而・中畑 友五郎様	状	1	
2	107			〔勘定書貼継〕	(文化二年十 二月廿五日 (最終貼継部 分))			状	1	
2	108			六月御入料金代左之通り(「御用人渡ス」の金7切半・南鐐銭代378文など)	(近世)			状	1	後欠
2	109			〔勘定書類綴〕(「志村先生らへ謝礼金覚」など6点一綴)	慶応三(ニカ) 丙寅十二月分 (第1綴目)(な ど)			冊	1	
2	110			丁卯(慶応3年)之詰御謝礼方(「若殿様・裕次郎様・辰之輔様御寄合」における「志村先生」ほか11名へ謝礼金書上げ)	(丁卯、慶応3 年)			状	1	
2	111			〔付札〕(「蔵人様ヲ書間違与相見得候事」とのみあり)	(近世)			状	1	
2	112	1		〔輪ゴム〕					1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	112	2		[紙片](赤ボールペン書きの上書き「古内家関係」)					1	
2	112	3		[披露状案](「去々年十二月中、伊豆守様御事、私在所岩沼御通行之節」についてなど)	(慶応3年)三月	古内左近介(古内広居)	嶋田興様	状	1	
2	112	4		[伺書案(断簡)](「右左近介義当時江戸勤番中二付」)	八月(安政3年以降)	古内源之進		状	1	前欠
2	112	5		[伺書案](3-38-12[伺書案]とほぼ同文。「此度天性院様江戸より被遊 御下り候節、古内左近介在所岩沼 御休御寓ニも罷成候ハ」など)	(安政3年6月以降)			状	1	
2	112	6		[寒中見舞状]	十一月(安政3年以降)	古内左近介広居(花押)	金主計様	状	1	
2	113	1		[書状](「滞府中ハ諸事御厄介被下、且諸品安物共御才覚被下、辱仕合、御着後評議も受候之所、分外ニ恰好成由、至極珍重罷在申候」など)	(近世)			状	1	折紙端欠カ
2	113	2		[俳句](刷物)	(近世カ)	燕々軒百陽、百山、陽和(ほか19名)		状	1	
2	113	3		[和歌詠草](「おほやけにいとまふして、ふるさとにやすらへしか」など)	(近世)	元章(菱沼東作)		状	1	
2	113	4		[漢詩詠草](「甲午除夜」〈五言律詩〉、「乙未元旦」〈七言律詩〉、「春日茶話」〈五言律詩〉)	天保六乙未歳吟	華園隠叟(「宗阿」印)(「慶義」印)		状	1	
2	113	5		手本(「慶応とらのとし大小」)	(慶応2年)	東岸敬人(花押)		状	1	
2	113	6		[漢詩・和歌書付](薩天錫七言絶句、相模州田原坊和歌など)	(近世写カ)	薩天錫、相模州田原坊、家隆朝臣(藤原家隆)、芭蕉翁		状	1	
2	113	7		冬暁(五言律詩2首)	(近世)	日軒斎藤井、拝草		状	1	
2	113	8		[書状](「社倉之書、脇方より頻ニ被責付申候間、不遠内為御登被下度、此段も被仰候」など)	十一月廿一日(弘化元年以前)	志村篤治(志村弘強)内・北条直記	中畠友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	113	9		御一門衆より指上候和歌写	(近世)	角田(石川氏)、登米(伊達氏)、水沢(伊達氏)、岩手山(岩出山伊達氏)、宮床(伊達氏)、川崎(伊達氏)、前沢(三沢氏)、真坂(白河氏)		状	1	
2	113	10		[志村五城漢詩等写]	(原文は天保3年5月18日の志村五城死去前)	五城(志村五城)		状	1	
2	114	1		御直書写(「外夷拒絶之 睿慮、幕府ニおみて御尊奉、攘夷之御処置ニ御一決相成」など)	(文久3年)癸亥九月			状	1	
2	114	2		[沙汰書写](一紙に同一月日付・差出・宛名の2通。①「同性(姓)慶邦儀、其藩え引取、於東京謹慎可為致事」。②「同性(姓)宗敦儀、格別之思召を以於国許謹慎被 仰付旨、更ニ 御沙汰候事」)	(明治元年)十二月	行政官	伊達亀三郎	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	114	3		[申達状](二月付で行政官より「金札」「流通」の件で「心得違之者無之様府藩県共夫々篤与説諭可致候」旨の達あり。)	明治二年三月	黒沢藤蔵、印	古内左近介殿(古内広居)、御連名有り	状	1	
2	114	4		[沙汰書写](「其方父伊達慶邦嫡子宗敦儀」)	(明治元年)十二月十二日	行政官	伊達亀三郎	状	1	
2	114	5		[小林喜吉家内人別書](「合八人」)	明治八年亥調			状	1	
2	114	6		[書状](桜田門外の変について詳細を記すなど)	(万延元年4月頃)			状	1	
2	114	7		[歳暮受取証文](金200疋、鮭塩引1尺)	十二月晦日(近世)	右内弟子・中野兵工四(カ)郎(印)	御使者衆	状	1	
2	114	8		[書状](「佐藤君、雨天二付候而、御断之品ニ承知仕候」など)	二月十六日(近世カ)	七降(カ)棋	岩沼雄(カ)君	状	1	端欠
2	114	9		証(殿堂有志金1円受領)	旧七月十六日(明治36年以前)	後藤仏心(「後藤仏心」印)	中畑清治様	状	1	
2	114	10		[書状](「去頃悴方へ御越被下候節御用立候傘、此者へ御渡戻被下度、傘不足、夫へ雨湿方、不得止責付可申候」など)	五月廿五日(近世)	志村退蔵(志村味庵、志村利安)、拝	岩沼御用人・中畑友五郎様	状	1	
2	114	11		[手紙](「五月分 上々様御月守、竹駒寺・和光院より可御納申候間、御受取、被指上被下度、御手紙候」)	五月朔日(近世)	古片専介(カ)	中畑友五郎様	状	1	
2	114	12		[書状](「被仰付置候御飯料壹俵、漸昨日相払申候間奉差上候」)	五月九日(近世)	中畑貞次	御親様(中畑友五郎)	状	1	
2	114	13		神術鋒倉伝太元流系伝記	(近世)			状	1	折紙奥欠カ
2	114	14		[書状案](「日増向暑御坐候得共、御道中無御恙被遊御着、其後共ニ 益御機嫌克可被遊御坐、恐悦至極之御義ニ奉存候」など)	(近世)			状	1	
2	114	15		覚(「鮮御肴 一折 左近介様・御二方様え 日向様御二方様より」など3品目の目録)	(安政3年4月以降)			状	1	
2	114	16		目録(「熨斗 壹折」など6品目)	明治廿二年陰二月廿八日	星米治郎	中畑清治殿	状	1	
2	114	17		[披露状](「徴粧院様へ「年甫之御祝詞申上度、如斯ニ御坐候。御序之刻宜敷様御執成被仰上可被下候」)	正月七日(近世)	丹野八弥順長(白石領主片倉家中)(花押)	中畑友五郎様、御詰合中様	状	1	
2	114	18		[古内家中名附書](「日数廿日 十日 岩淵大之進」など、中畑友五郎・貞次、吉田関治を含む16名)	(安政6年5月24日の吉田関治死去以前)			状	1	
2	114	19		覚(「金貳百疋 徴粧院」など5名分「右之通 神納仕候」)	文久四年正月廿八日			状	1	
2	114	20		[年頭祝詞状]	子ノ正月(文久4年以前)	中山謙吉師知(花押)	中友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
2	114	21		[年頭祝詞状]	正月(近世)	千葉伝之助胤良(花押)	中畑友五郎様	状	1	
2	115	1		九月廿九日御用召左ニ(仙台藩御奉行職但木土佐ら29人書上げ、および「小十郎様御隠居御願之由」など)	(9月29日、近世)			状	1	
2	115	2		[名附書](「一」～「五」まで、一番につき5～6名、逸作らの人名書上)	(近世カ)			状	1	
2	115	3		[仙台藩門閥家臣屋敷替覚書](「袋町角へ川崎」など9名分)	(近世)			状	1	
2	115	4		[安政の大獄における公卿等仕置覚]	(己未、安政6年)			状	1	
2	115	5		[仙台藩役職名附覚](「大番頭」「松前」ら37名)	(近世)			状	1	
2	115	6		[仙台藩役職名附](御奉行職後藤孫兵衛ほか22名)	辰十一月十五日(近世)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

2	115	7		文久元年五月廿八日夜四つ半時頃英吉利人宿寺高輪東禅寺え切込候狼藉者人数并御用出役御固メ諸候(侯)之家来之内討死并手負人数	文久元年五月廿九日	松平時之助(大和郡山藩主・柳沢保申)		冊	1	
2	115	8		[仙台藩役職名附](若老・大番頭大町源十郎ほか33名)	安政五戊午四月十五日			状	1	
2	115	9		嘉永二酉年御分領中八拾歳已上者調(南・北・中・奥各地域総計2,506人について)	嘉永二酉年			状	1	
2	115	10		文政八年御書立之御人数木戸寛左衛門殿え御折合相成候覚書写左之(「名取郡関上浜備」、「同郡蒲崎より国分荒浜迄持場」について)	(文政8年)			状	1	
2	115	11		[申上状](「亙理伯耆様御事、今廿九日越河御泊り、明晦日巖沼御泊り二而江戸御下り被成置候段」)	申ノ五月廿九日(万延元年以前)	検断・周蔵(「美保」印)	大之進様(岩淵大之進)、友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	1	1		[紙袋](墨書きの上書き「切支丹関係書類」)					1	
3	1	2		[人別証文案](「我等下中清治儀、当武拾九歳二相成候ヲ、北町弥蔵跡後家女かん家督聳二令縁組度願申出候」)	嘉永三年四月	一一一	北町検断・周蔵殿	状	1	
3	1	3		[長谷力之助寺請状]	天保十一年二月	名取郡南相野村曹洞宗・鷹硯寺靈充(「鷹硯禅寺」印)(花押)	岩淵大之進殿、中畑友五郎殿	状	1	
3	1	4		[古片専蔵・佐藤和多吉・伊藤順治・菊池直右衛門寺請状]	天保十一年二月朔日	名取郡岩沼郷曹洞宗・法常寺仏戒(「法常禅寺」印)(花押)	岩淵大之進殿、中畑友五郎殿	状	1	
3	1	5		[佐藤利太郎寺請状]	天保十一年二月朔日	名取郡岩沼真言宗・光明院運(「天龍寺」印)(花押)	岩淵大之進殿、中畑友五郎殿	状	1	
3	1	6		[岩沼給主切支丹改仰付状]	(近世)			状	1	
3	1	7		[戊辰戦争戦死者慰霊文](戊辰戦争で戦死した大宮重左衛門と三浦曾右衛門について)	明治三十三年旧八月廿日			状	1	
3	1	8		[鈴木玄説人別書上]	辰ノ正月廿五日(慶応4年以前)	蒲地泰輔(印)		状	1	
3	1	9		履歴書	明治廿二年一月十三日	中畑清治(「中畑種昌」印)		状	1	
3	1	10		切支丹関係書類目録(藁半紙にペン書きで「元禄5年11月29日古内主膳召仕転切支丹佐藤円右衛門類族改牒」ほか7点を記載)				状	1	
3	1	11		①誓詞(案文。「宮城県陸前国名取郡岩沼町字新小路丸山鎮坐 丸山神社」について) ②[就学届案](①と同一面に記載。「六百六十四番地・きぬ」について)	①明治廿八年三月十日 ②明治廿八年三月	②右保護者・大泉平助		状	1	
3	1	12		[人別村請証文](「貴体様御下中清治義、当武拾九歳二罷成候ヲ、北町弥蔵跡後家女かん家督聳二縁組仕候段申出候」)	嘉永三年四月	北町検断・周蔵(印)	中畑友五郎様	状	1	
3	1	13		[金子請取証文](「手形式切也 右之通頼母子金槌ニ請取申候」)	午ノ六月十日(近世)	菊池助市郎(印)		状	1	前欠
3	1	14		[伺書案(断簡)](「前文之趣」「今一応吟味仕呉候様右山之輔申談候義」など)	(近世)			状	1	
3	1	15		不時壹季(中畑友五郎および嫡子貞次、知行高・年齢・役職等書上げ)	万延元年六月	中畑友五郎		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	1	16		[奉公人前高畝代・自分立附調書(断簡)](帳崩れ。高3貫500文のうち、小川村作子7人分、 \times 1貫984文、畝分1丁4反5畝27分、立附11石5升など)	(近世)				状	1	欠損大
3	1	17		[願書(断簡)](防火に関する願書。)	[]月十八日(明治36年以前)	岩沼町人民総代人・区長中畑清治			状	1	丁間文書として「[ペン書き「昭和四十四年ヨリ」]二百七十二[ペン書きで「七」と訂正]年前(元禄五年)」とのみある紙片。
3	1	18		元禄五申年十一月廿九日 古内主膳召仕 転切支丹佐藤丹右衛門類族存命改牒	元禄五申年十一月廿九日	古内源吉重興(「重」印)(花押)	岩淵茂兵衛殿、吉田忠兵衛殿		冊	1	
3	2	1		[写真用紙袋]		写場・エイキ岩沼仲町 TEL2610	社ム所様			1	
3	2	2		[礼状]「[拝復 御手紙ならびに写真二葉有難く落掌いたしました。写真は「文化年間の、御島・五大堂所在の碑が分る」「案内図」と「仙台冬至庵連中の建てたものようである「拓本」。)」	(昭和41年)九月七日	宮城県警察本部教養課・真田良	佐々木喜一郎様		状	1	年代・作成・宛先は写真被写体のもの。
3	2	3		[モノクローム写真](3-2-2[礼状]に言及のある「写真」。被写体は3-2-5-2「松島五大堂・御嶋句碑集」)	文化丁丑(14年)中秋撰	(「崑崙」印)			状	1	年代・作成・宛先は写真被写体のもの。
3	2	4		[モノクローム写真](3-2-2[礼状]に言及のある「写真」。被写体は拓本。「芭蕉翁 朝よさを誰まつしまそ片心」)	(近世カ)				状	1	
3	2	5	1	[包紙](上書き「奥州松島真景之図 従松嶋町楼上之眺望」)						1	
3	2	5	2	松島五大堂・御嶋句碑集(刷物)	文化丁丑(14年)中秋撰	(「崑崙」印)			状	1	
3	3	1		[ハترون紙製封筒](青ボールペン書きの上書き「唯一神道神拝次第」)						1	
3	3	2		[神拝作法書]	(近世カ)				状	1	やや破損
3	3	3		唯一神道神拝之次第	寛延三歳(加藤理兵衛恵継授与之畢)	南邑太膳(印)(印)			状	1	
3	4	1		[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き「貸借関係」)						1	
3	4	2		金子借用証券(金260円、名取郡館腰村内の田8筆を抵当として)	明治卅二年三月卅一日	名取郡岩沼町五百五拾六番地・右借用人・安部賢蔵(「盛」印)、名取郡岩沼町六百三拾五番地・右引受証人・中畑清治(「中畑」印)	三浦金右衛門殿		状	1	
3	4	3		[地価金等覚書]「[惣収益金]119円34銭2厘、 \times 300円34銭2厘など)	(明治)				状	1	3-4-5「地所売渡証」の「備考」欄参照。

中畑善策氏所蔵資料目録

3	4	4		[地所売渡証(断簡②)]	明治十五年四月	名取郡岩沼郷・売人・八巻才助(「八巻」印)、同郡同郷百七拾壹番地・保証人・長坂文平(「儀」印)、(奥書)戸長相原致遠代理・筆生・平田久之進(「平田景義」印)	中畑清治殿	状	1	本来3-4-5、3-4-4の順に綴じられていたもの。内容は3-4-5「地所売渡証」の「表題(内容)」欄に一括して記載。
3	4	5		地所売渡証(断簡①)(地所売渡金70円)	(明治15年4月)	(八巻才助ほか)	(中畑清治)	状	1	
3	4	6		地券書入金子借用証(金30円)	明治十七年十一月、(奥書)明治十七年十一月三日、(返金受取署名)明治廿四年十月	岩沼本郷・金子借用人・中畑清治(「中畑種昌」印)、右保証人・大泉平助(印)、(奥書)戸長大友伝之助(「宮城県名取郡岩沼本郷戸長大友伝之助」印)、(返金受取署名)平間弥五郎(印)	平間弥五郎殿	冊	1	
3	4	7		①備前借用証(案文。籾15俵也、抵当陸前国名取郡南長谷村字中ノ寄田119番・田反別4畝18分。証文本文無し。) ②[書状案](①と同一面に記載。「御家族様方御帰省并御道中等之義者、本月十八日付ヲ以伊藤君より委細御進達ニ及居候事ニ伺上候」など)	(明治)			状	1	折紙一部切取られ欠
3	4	8		借金御届書(様式)	(明治)			状	1	
3	4	9		地券売渡証(畑4筆分、地価34円98銭4厘)	明治十九年一月	地券売渡人・中畑清治		状	1	
3	4	10		地券売渡証(名取郡岩沼郷字相原田の田4筆の地番・反別・地価のみ記載)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	
3	4	11		建物売渡証(断簡か。陸前国名取郡岩沼郷字町田186番地建物、売買代価200円)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	
3	4	12		建物売切証(断簡か。名取郡岩沼郷字桜田建物、売買代価75円)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			状	1	
3	5			誓文(刷物。五箇条の誓文。御宸翰之御写附)	(慶応4年3月14日)			状	1	
3	6			[上達書案](一紙に同一月日付・差出の2通。①「拙者義、旧御知行所之内昨年見込之処相違置候之処」について。②「拙者義、旧御知行畑之内、松崎前二而ノ水亡拾四文之処」について。)	(明治3年)午ノ正月廿二日	中畑友五郎		状	1	
3	7			[北海道新聞切抜](「われらの北方領土」記事)	昭和45年1月3日土曜日	(北海道新聞社)		状	1	
3	8			[勘定書](「六月十四日より同月廿六日迄御主人前拾二泊り置」、「惣々23貫500文」、など)	六月廿五日(近世)	吉郎右衛門手代・治平	御役人様	状	1	最前の数丁欠

中畑善策氏所蔵資料目録

3	9			〔徳川家茂上洛記録写〕	(記事内容: 慶応元年4~5月)				冊	1	
3	10			宋・元・明・清書画名家一班(写本)	(明治カ)	(表紙記載) 玉田園主写之(印)、(裏表紙記載) 芋邨生写			冊	1	
3	11			〔紙片〕(和紙にフェルトペン書きで「左角 友五郎」とのみあり。赤ボールペン書きで「古内家江他家より法要通知其他直接関係なし」の書き込みあり。)					状	1	一部一部切取られ欠
3	12			記(5月6日 〆100貫目)	五月六日(明治)	小野酒店	中畑様		状	1	後欠カ
3	13			〔長沼流兵学免許状〕	文化九年四月六日	片平亘定広(「字日子胖」印)(花押)			状	1	
3	14			〔書状〕(「母事、不快之容子承り候二付、態々白牛酪相調御下給、忝次第二候」など)	(安政5年)八月三日認	親(中畑友五郎)より	中畑貞次殿		状	1	
3	15	1		〔書〕(「黄金神社」とあり)					状	1	
3	15	2		〔画仙紙白紙〕					状	1	
3	16			①〔包紙〕(上書き「極上名茶」印) 金華山) ②〔手伝金(カ)御免書写〕(「御在国[]金口口切御免被成下候事」) ③〔伊達家一門手伝覚写〕	①(近世) ②元文元年六月 ③(近世)	①(印)(「御茶舗(カ)・仙台三日町松屋亀吉」印) ②古内和泉(古内広充)			状	1	
3	17			〔芦幸七郎女子芦姫願書写(断簡)〕(端に「八」の丁付けあり。『玩易齋遺稿』上巻(信山社出版、1998)pp.252-256所載文書、芦東山記念館所蔵資料目録No7「芦幸七郎女子芦姫願書写」とほぼ同文)	(記載内容: 宝暦6年)				状	1	
3	18			〔史料目録〕(瀬戸物店岩沼町銀座二丁目一平陶苑広告ちらしの裏に赤鉛筆書きで「安永2年礼記 山崎間齋点 4冊」ほか22書目を記載)					状	1	
3	19			〔断簡〕(「当出物成覚」とのみあり)	(近世)				状	1	
3	20			〔書籍複写〕(某書第十節(pp.225-233)。仙台の米騒動に関する記事)					冊	1	
3	21			証書(「小学校初等科第五級卒業候事」)	明治十六年一月三十日	下野郷小学校	平民農・佐藤みやの・八年三ヶ月		状	1	
3	22			〔茶封筒〕		土木建築設計施工・株式会社上の組				1	
3	23	1		〔封筒〕		日本たばこ産業株式会社東北支社				1	
3	23	2		蝦夷地見分模様達書(ゼロックス複写)	安政三年正月廿九日	公邸藤種良(中畑友五郎)模写			冊	1	年代・作成は被複写史料のもの。中畑善策氏所蔵資料中に該史料の原本無し。
3	23	3		口上(分割ゼロックス複写①)(3-23-6「口上」と同一。「此度蝦夷地之内御領分ニ 御拝領候二付」など)	(安政6年10月)	(古内左近介(古内広居))	(沢崎賀右衛門、清水直人、加藤文左衛門)		状	1	年代・作成・宛先は被複写史料のもの。原史料を3-23-3(3-23-6と同一)と3-23-4(3-23-5と同一)に分割してゼロックス複写したもの。中畑善策氏所蔵資料中に該史料の原本無し。

中畑善策氏所蔵資料目録

3	23	4		〔口上〕(分割ゼロックス複写②)(3-23-5〔口上〕と同一)	(安政6年)十月	古内左近介 (古内広居)	沢崎賀右衛門殿、清水直人殿、加藤文左衛門殿	状	1	3-23-3「口上」の「備考」欄参照。
3	23	5		〔口上〕(断簡。分割ゼロックス複写②)(3-23-4〔口上〕と同一)	(安政6年)十月	(古内左近介 (古内広居))	(沢崎賀右衛門、清水直人、加藤文左衛門)	状	1	3-23-3「口上」の「備考」欄参照。
3	23	6		口上(分割ゼロックス分割複写①)(3-23-3「口上」と同一)	(安政6年10月)	古内左近介 (古内広居)	沢崎賀右衛門殿、清水直人殿、加藤文左衛門殿	状	1	3-23-3「口上」の「備考」欄参照。
3	23	7		〔クナシリ・エトロフ地図〕(ゼロックス複写)	(文化5年)			状	1	中畑善策氏所蔵資料中に該史料の原本無し。
3	23	8		〔新聞切抜ゼロックス複写〕(3-7〔新聞切抜〕をゼロックス複写したもの)	(昭和45年1月3日土曜日)			状	1	年代は被複写史料のもの。
3	23	9		〔新聞切抜ゼロックス複写〕(3-7〔新聞切抜〕をゼロックス複写したもの)	(昭和45年1月3日土曜日)			状	1	年代は被複写史料のもの。
3	24	1		〔茶封筒〕		日本たばこ産業株式会社 東北支社	日本たばこ産業株式会社		1	
3	24	2		〔書類〕	(平成)05.07.28	岩沼市農業協同組合・本店		状	1	
3	24	3		〔領収書〕	平成5年8月5日	宮城県司法書士会々員・司法書士・相原國郎		状	1	
3	25	1		〔茶封筒〕		日本たばこ産業株式会社 東北支社	日本たばこ産業株式会社		1	
3	25	2		御免 真製の里耶垂伽(薬効書。「和蘭曆数千八百十六年十二月十五日」の「かびたん侘言」などを収載)	(1816年12月15日以降版)	長崎本家調合所・和蘭訳司・名村茂弘謹製(「茂弘」印)、大坂出店売弘所・御堂筋瓦町南え入東側・室津屋辰三郎、仙台取次所・御城下南町・転宅柳町角・名取屋嘉平		状	1	
3	25	3		小野篁歌字尽(版本)	文政二卯年孟夏再板	書林・裳華房・仙台国分町十九軒・伊勢屋半右衛門(板)(〈フタツヤマー〉)		冊	1	表紙書入れ「宝」。背表紙書入れ「岩沼中町阿部作之丞持用也」。
3	25	4		①〔孟子 仁言(表紙断簡)〕 ②〔書〕(①の裏面に書付。和歌1首、「入孝出弟」(朱熹『小学』題辞)、「高山不見人、只聞響人語」(王維「鹿柴」の「空山不見人、只聞人語響」か))	(明治頃カ)	無能人書		状	1	
3	25	5		〔直垂の武士に訪われる僧の図〕(印刷物)		(画)六辺涯方(「日龍」印)			1	
3	25	6		清水家(仙台藩茶道清水家歴代覚書)				状	1	「竹駒稻荷神社社務所」用紙に青インクで記載。

中畑善策氏所蔵資料目録

3	25	7		万延ト閏三月朔日改元、安政七庚申歳三月三日始 井伊家工乱防聞録	(記載内容: 安政7年3月3日~9日)			冊	1	第2丁破損
3	25	8		[相馬野馬追図]	(近世カ)				1	
3	25	9		伊勢二見浦略絵図	(近世)	勢州山田一志町・藤原長兵衛板行			1	
3	25	10		奥州金花山路縁起(写本)	宝暦六年四月晦日(写)			冊	1	浦表紙書入れ「宝暦六年四月晦日名取郡岩沼郷・中畑左角此主也」。
3	25	11		東方朔置文 全(写本)	明治十四辛巳年九月廿五日求	(筆写者)中畑左角		冊	1	裏表紙書入れ「宮城県名取郡岩沼新小路 主 中畑左角」。
3	25	12		春色田家の花(巻4。版本)	(近世)	江戸・為永春水著		冊	1	欠損大
3	25	13		卯ノ二月九日御年十九 内藤侯より内藤治部左衛門被召出被仰含候写(俚約令)	卯ノ二月九日(近世)			冊	1	
3	25	14	1	[包紙](上書き「六歌仙 八十四号 中畑清治口口」)	(明治)			状	1	
3	25	14	2	[和古書(断簡)](3-25-14-3「世界裕」の一分か)	(明治刊カ)			状	1	
3	25	14	3	世界裕(版本)	(明治刊)			冊	1	奥付「奥州仙台名取郡岩沼新町百足屋弥三郎」。最前数丁欠
3	25	15		①大正六年拾月貳拾壹日小遣帳 法名浄庵妙蓮大姉 ②大正六年拾月貳拾一日 御香奠申受帳 法名浄庵妙蓮大姉(中畑さと)(前記丸括弧は原文のもの) ③大正六年十月二十六日 野辺帳 法名浄庵妙蓮大姉 (3冊合綴)	①大正六年拾月貳拾壹日 ②大正六年拾月貳拾一日 ③大正六年十月二十六日			冊	1	
3	25	16		[書幅捲り](「寿福在堪意無能無仁」)				状	1	
3	25	17		新陰流兵法(免許皆伝書)	文政拾壹年九月	狭川新三郎将(「藤原」印)(花押)	斎藤九郎右衛門殿	冊	1	
3	25	18		昭和四年度 家根更諸掛覚帳 中畑家	(昭和4年度)			冊	1	
3	25	19		明治四拾参年四月家(屋)根皆人夫費用記 岩沼町新小路中畑自用	明治四拾参年四月			冊	1	
3	25	20		[書幅捲り](「思無邪」〈論語・為政篇〉)				状	1	
3	26	1		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)呉春(「呉春」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	2		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)南岳(「南岳」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	3		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)南岳(「南岳」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	26	4		[鹿を遠望する狩衣の人物図]	全年全月(明治32年9月)十八日発行	臨写印刷発行者・東京市日本橋区馬喰町三丁目四番地・渡辺忠久			1	
3	26	5		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)「景文」印、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	6		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)景文(「景文」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	7		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)呉春(「呉春」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	8		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)南岳(「南岳」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	9		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)南岳、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	10		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)月溪(「呉春」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	26	11		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月)廿一日発行	(画)「南岳」印、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	27	1		[包紙](片面に「御手紙一」、片面に「橋元梅平」とあり)	(近世カ)			状	1	
3	27	2		[目録](「御手鑑軸」など25品目)	四月廿三日(近世)	窪田兵口口		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	27	3		[紙片](赤ボールペン書きの上書き「関係ナシ」)					状	1	
3	27	4		[断簡]「十年前八月 式丈三尺 本年九月・十月 式丈三尺」とのみあり)	(近世カ)				状	1	
3	27	5		[雑記綴]([医師松本一斎126歳について覚書])	天保十一庚子年七月廿三日写				冊	1	
3	27	6		凶歳枉詩及歌(詩中に「君不聞天明年中凶作事、安清破却金玉門」とあり)	(天明3年以降)				冊	1	
3	27	7		覚(断簡①)(4月分6貫637文など7件、ノ7貫636文)	(5月29日、近世)	(覚吉)	(中畑様)		状	1	本来3-27-7、3-40-32の順に継がれていたもの。後欠
3	27	8		[書状]「新製方溜金之義者」について)	十月十一日(近世)	岩・伊藤為輔	仙・中畑友五郎様		状	1	
3	28			[古内氏直書]「中畑左角 近年之儀候得共、諸事心付、叮嚀令勤仕候」)	四月廿五日(近世)	(古内氏)	橋本半蔵殿		状	1	軸装。
3	29	1		[人名書立て](小林万五郎ほか17名)	(近世カ)				状	1	
3	29	2		[金銭払勘定帳](元金15切の払、「御雛飾、奥老方へ相渡」金1切半など19件ノ金13切半・代8貫166文、「御祭祀方」松崎白山御神事御入料」代167文など4件ノ1貫68文)	文化十五年三月	中畑左角(中畑種朋)(印ナシ)、鈴木良左衛門(「続」印)			冊	1	
3	29	3		[書状]「今般結構御役目被蒙 仰候由承知仕、恐悦至極之御義ニ奉存候。右御祝申上度、如斯御坐候」)	十一月廿八日(近世)	小林繁之進定則(カ)(花押)	中畑友五郎様		状	1	
3	29	4		[年頭祝詞状](再啓に「過ル五日ニ五六寸雪積、今日又々大雪二尺五六寸余相積、御当地三十年來之由」など)	正月十一日(近世)	赤坂甚左衛門定安(花押)	中畑友五郎様、人々御中		状	1	
3	29	5		[年頭祝詞状](二白に「御母様えも宜敷御伝言被成下偏ニ奉願上候」とあり)	正月(近世)	宮崎多利之丞乗干(花押)	中畑友五郎様		状	1	
3	29	6		[株数等覚]「筑前白毛 試作物 上毛三十九株 壱升六合」など6件)	(近代カ)				状	1	
3	29	7		[古内左近介広居養妹・伊達主殿邦賢婚儀につき口上書試書き]	(慶応2年1月8日の伊達邦賢前妻伊達氏死去以降)				状	1	
3	29	8		[披露状]「大殿様」へ「乍憚年始之御祝詞申上度、如此御坐候。御序ヲ以宜敷被仰上可被下候」)	正月元日、(裏書き)正月三日(近世)	斎藤専三郎直方(花押)、磯村彦太夫信計(花押)、中畑友五郎種良(花押)、渡辺哲平則近(花押)。(裏書き)木名瀬正太夫直(木名瀬直方)(花押)	木名瀬正太夫様。(裏書き)渡辺哲平殿、中畑友五郎殿、磯村彦太夫殿、斎藤専三郎殿		状	1	
3	29	9		[披露状]「大奥様、益御機嫌克歳暮之御祝義可被遊御整、恐悦至極之御儀ニ奉存候」)	十二月廿八日、(裏書き)十二月廿九日(近世)	斎藤専三郎直方(花押)、磯村彦太夫信計(花押)、中畑友五郎種良(花押)、渡辺哲平則近(花押)。(裏書き)木名瀬正太夫直(花押)	木名瀬正太夫様。(裏書き)渡辺哲平殿、中畑友五郎殿、磯村彦太夫殿、斎藤専三郎殿		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	29	10		[披露状] (「大殿様、益御機嫌克歳暮之御祝義可被遊御整、恐悦至極之御儀二奉存候」)	十二月廿八日、(裏書き)十二月廿九日(近世)	斎藤専三郎宜方(花押)、磯村彦太夫信計(花押)、中畑友五郎種良(花押)、渡辺哲平則近(花押)。(裏書き)木名瀬正太夫直(花押)	木名瀬正太夫様。(裏書き)渡辺哲平殿、中畑友五郎殿、磯村彦太夫殿、斎藤専三郎殿	状	1	
3	29	11		[披露状] (「大奥様」へ「乍憚年始之御祝詞申上度、如此御坐候。御序ヲ以宜敷被仰上可被下候」)	正月元日、(裏書き)正月三日(近世)	斎藤専三郎宜方(花押)、磯村彦太夫信計(花押)、中畑友五郎種良(花押)、渡辺哲平則近(花押)。(裏書き)木名瀬正太夫直(花押)	木名瀬正太夫様。(裏書き)渡辺哲平殿、中畑友五郎殿、磯村彦太夫殿、斎藤専三郎殿	状	1	
3	29	12		[判鑑・合判覚] (折紙表面に「判鑑 左角」とのみあり。裏面に「合判」として「古内弘見家中・小性通太田幸太夫之下中為諸用之」「卯之吉」などあり)	(近世)			状	1	
3	29	13		[年頭祝詞状] (「二白」に「松前方弥被遊御逃候御模様かと千万恐悦奉存上候」などとあり)	(明治2年カ)正月九日	菱沼東作元章(花押)	中畑友五郎様、御坐右	状	1	
3	29	14		①[披露状] (「若殿様御事、御道中無御滞被遊御着、其後共ニ 益御機嫌克可被遊御坐、恐悦至極之御義二奉存候」) ②[金銭払覚] (①の裏面に記載。元金320枚・1貫894文、払「御用方」9貫283文など4件×29貫42文)	①七月四日、(裏書き)七月五日(近世) ②(近世)	①吉田快順勝口(一字花押に隠れる)(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)伊藤清之進祐徳(花押)	①千葉伝之助様、御同役中様。(裏書き)中畑友五郎殿、吉田快順老	状	1	
3	29	15		[不快・御用支者名附] (渡辺哲平など14名)	(近世)			状	1	
3	29	16		[披露状] (「殿様御事、御道中無御滞被遊御着、其後共ニ 益御機嫌克可被遊御坐、恐悦至極之御義二奉存候」)	七月四日、(裏書き)七月五日(近世)	吉田快順勝口(一字花押に隠れる)(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)伊藤清之進祐徳(花押)	千葉伝之助様、御同役中様。(裏書き)中畑友五郎殿、吉田快順老	状	1	
3	29	17		[白米石高覚] (「奥方」、「仙台表」、「御在所」、「中嶋御屋敷」のそれぞれについて)	(近世)			状	1	
3	29	18		[書状副状] (「逐啓、昨日認之紙面ニ薄々認候通ニ御坐候所、同役寿周母、其表ニ罷登居候二付」など)	九月朔日(近世)	佐藤玄円	中友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	29	19		[年頭祝詞状] (疱瘡を案じる二白あり)	正月(天保4年以前カ)	伊藤丈太夫良泰(花押)	御叔父様(中畑左角種朋カ)	状	1	
3	29	20		①[消息] (「此頃ハ 於佑様御安産被遊、恐ながら御めて度、有難クまいらせ候」など) ②感慨(①の裏面に記載。七言絶句。「磯村方之事」とあり)	①(弘化2年～安政6年)	①貞鏡院(古内広居祖母)	①やそ瀬さま、富江さま	状	1	
3	29	21		[和歌詠草] (「武隈之里、鶺鴒之館なるほとりに、内輪となんいへる、其はハ芳に好景を結、花輪に隣り千貫松」など)	(近世)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	29	22		〔書状〕(「先達者御日柄能御令息様御婚姻御整被成置、恐喜之御事ニ奉存候」)	極月廿二日(近世)	菅原東海	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	29	23		〔花押書〕(「則貞<振仮名『ノリサタ』><花押>此反、静之字」)	(近世)			状	1	
3	29	24		〔花押書〕(「友規<振仮名『トモノリ』><花押>此反、為ノ字」)	(近世)			状	1	
3	29	25		〔年頭祝詞状〕(「二白」に「旧臘者御娘様御事御痘瘡之由」、「只今二而ハ御本快」とあり)	正月(近世)	平井玄純宜(花押)	中友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	29	26		〔年頭祝詞状〕(「御守札吉通例年之通延命寺より 徴粧院様え指上申候二付」)	正月十五日(近世)	丹野八弥順長(白石領主片倉家中)(花押)	中畑友五郎様、御詰合中様	状	1	
3	29	27		〔年頭祝詞状〕	正月(近世)	吉田寿周程(カ)(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	29	28		〔数字書上げ〕(「信百六拾五」など)	(近世カ)			状	1	フェルトペン書きで「時候の挨拶状 明治以前」とあり。
3	29	29		〔数字書上げ〕(「信百七拾七」など)	(近世カ)			状	1	
3	29	30		①〔願書案〕(「拙者義、仙御屋敷夫婦定詰御免被成下、隠居被 仰付」、「悴同氏貞次」への相続について。嘉永4年3月以来の履歴記載あり。隠居に関する文言以外3-135-2-57〔願書案〕とほぼ同文) ②〔古内家中名書上げ〕(①の裏面に記載。中畑貞次を含む22名)	①慶応三年八月廿二日 ②(近世)		①古専蔵殿(古片専蔵)、只欽吾殿(只野欽吾、只野克己、禰斎)、横四郎兵衛殿(横田四郎兵衛)、岩大之進殿(岩淵大之進)、境茂右衛門殿	状	1	
3	29	31		〔習字断簡カ〕(「行」とあり)	(近世カ)			状	1	
3	29	32		〔いたづら書き〕	(近世カ)			状	1	
3	29	33		〔書状案〕(「屋形様・御曹司様御乗切二而在所岩沼迄被遊 御下、私屋敷え被為 入、御目見被 仰付」)	(近世)			状	1	
3	29	34		〔年頭祝詞状〕	正月(近世)	高橋敬三郎氏良(花押)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	30	1		〔漢詩〕(「飛槎浦客舎自下賦」<七言絶句>、「天照海逕 和歌題」<七言絶句>)	(近世カ)			状	1	
3	30	2		〔漢詩〕(題欠損<七言絶句>、「病起偶成」<五言絶句>、「病後謝友人」<七言絶句>)	(近世カ)			状	1	前欠
3	30	3		田家即興(七言律詩)	(近世カ)			状	1	
3	30	4		〔漢詩〕(七言絶句)	(原詩は文化13年2月19日の頼惟完死去前)	京師・頼惟完		状	1	
3	30	5		歳旦(五言律詩)	天保九戊戌	源克己(只野克己カ)		状	1	
3	30	6		蒙菴(志村篤治)老先生登園嶋古墟(五言絶句)	(近世)	中畑種良、敬具		状	1	前欠
3	30	7		〔和歌〕(「文久三大小」、「七十の寿」)	(文久3年カ)			状	1	
3	31	1		〔日記〕	(記載内容: 安政5年5月14日~12月3日)			冊	1	一部破損
3	31	2		戊午安政五年二月十八日 諸覚帳(祝義覚、4月5日~10月22日分出銭覚、慶応元年8月9日~翌年2月29日分「取物覚」、など)	(記載内容: 安政5年2月18日、慶応元年8月9日~慶応2年2月9日など)			冊	1	「手細工覚」1点が綴り紐に挿入される。

中畑善策氏所蔵資料目録

3	31	3		〔伊達齊村夫人信誠院卒伝写〕(徹山公等法諡、「姫君様」を悼む和歌なども記載)	(寛政8年5月17日の信誠院死去以降)	大年寺十六代・現住・哲俊岳謹		状	1	
3	31	4		①旧御指上金勘定覚 ②〔願書案・伺書案〕(「過ル十九日 殿様被遊御下候節、御直々被 仰付候ハ、御登方旁御金御不足二付」) (2冊綴)	①天明三年三月廿一日 ②(願書)天明三年三月廿一日、(伺書)(天明3年)うの三月廿一日	①中畑左角(中畑種良)・判 ②(願書)中畑左角(中畑種良)、(伺書)中畑左角・判	②(願書)-(御家老衆御月番(伊藤)茂左衛門殿)、(伺書)伊藤茂左衛門様	冊	1	
3	31	5		甲子元治元年十二月十日ヨリ 御日用方金銭受払候帳	(記載内容:元治元年12月10日~29日)	中畑友五郎		冊	1	
3	31	6		〔勘定書(断簡)〕	(近世)			状	1	前後欠
3	31	7		覚(「黒まめ巻升」130文、「かつくり」20文など7品分、 \times 500文請取)	巻月廿九日(近世)	上(カ)元(カ)五助	上様	状	1	
3	31	8		〔勘定書(断簡)〕(「十二月十八日御留主居より受取」金15切など5件)	(近世)			状	1	前欠カ
3	31	9		〔勘定書(断簡)〕	(近世)			状	1	前後欠カ
3	31	10		〔勘定書(断簡)〕	(近世)			状	1	後欠
3	31	11		癸丑嘉永六年正月ヨリ始 御日用方粗仕立候帳	(記載内容:嘉永6年1月14日~30日カ)			冊	1	
3	31	12		丙辰安政三年五月十八日より改正 御膳米御賄米受払調候帳	(記載内容:安政3年5月18日~安政4年1月8日)			冊	1	
3	31	13		寛政九年巳六月六日 木挽御作軒請取方書上帳	(記載内容:寛政9年6月6日~9日)	横田庄蔵(印)、今野幸三郎(印)		冊	1	「同月十日」付木挽・清六差出(横田)庄蔵様宛〔板渡証文〕を末尾に綴り込み。
3	31	14		覚(粳39俵、金395切5分5毛、2口合428切5)	(近世)			状	1	
3	31	15		覚(寛政2年正月より翌年12月まで「御用人方より証文指上置候御金」につき元金および利足金の調書)	寛政四年二月廿八日	中畑左角(中畑種良)		冊	1	
3	31	16		覚(4月18日に戴いた5両について4月21日から5月29日までの払内訳)	(文久3年カ)亥ノ五月卅日	中畑貞次		冊	1	
3	31	17		〔田畑割渡状〕(2冊合綴。各18筆、高500文分)	明治三午年三月	①鈴木忠治(「明」印)、中山志津馬(印)、渡部敬介(印)、など ②鈴木忠治(印)、中山謙吉(印)、高橋直三郎(印)	①横田今朝五郎殿 ②横田今朝五郎様	冊	1	
3	31	18		寅ノ正月・二月分御勘定書左之通(「炭定入、加沢ノ甚吉え正・二月渡高」22貫100文など17件 \times 191貫600文)	(寅正月・2月)			状	1	
3	31	19		明和四年三月十二日 御知行請取牒	明和四年三月十二日	小川村・長左衛門		冊	1	
3	32	1		〔紙縫紐〕					1	
3	32	2		〔書状〕(「御叔父様御事、御登仙後少々御心配被為入候由奉伺」について「金蛇宮」で祈禱し、「竹駒宮」で百度参をした旨)	正月十六日認(近世)	丈太夫(伊藤丈太夫)	貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	32	3		〔書状(断簡②)〕	二月廿二日(近世)	(中畑友五郎)	(中畑貞次)	状	1	3-32-22〔書状(断簡①)〕の「備考」欄参照。前欠
3	32	4		慶応二とらのとしの大の月をよめる(慶応2年の大の月を歌に詠み込んだもの2首)	(慶応2年カ)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	32	5		〔書状〕(「尊公様御屋敷之内畑八せ分程之分、八巻直衛へ御立附二被成居候由伺上申候」)	九月廿日(近世)	伊藤貞治	貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	32	6		〔達状〕(「私え御預罷成居候佐藤新介家中小性通三品清三郎儀妻」、「昨夜小産仕候由」について)	六月〇〇日(安政3年以降)	古内左近介(古内広居)		状	1	
3	32	7		〔関上浜出張中用心金受払調書〕(「八木次郎衛方より遜金」の御元金3両2歩・代20貫文の払内訳など)	(慶応4年)辰ノ五月八日	中畑貞次		状	1	
3	32	8		〔関上浜出張中用心金受払調書〕(「八木次郎衛方より遜金」の御元金3両2歩・当百銭200枚の払内訳など)	(慶応4年)辰ノ五月八日	中畑貞次		状	1	
3	32	9		〔申達状(断簡)〕(「前欠」太鼓打御組方人数「卯三郎弟藤四郎」ら5名について)	五月十六日(近世)			状	1	前欠
3	32	10		〔人名・年齢書上〕(「北、善助次男善之助 年廿歳」ら9名)	慶応四辰年五月十四日			状	1	
3	32	11		〔書状〕(「今日就吉辰御結納被進、御同然目出度思召候」)	十二月十三日(近世)	日向様、御二方様より、右御使者・太宰左太夫	長之助様(古内長之助)江	状	1	
3	32	12		①〔書状〕(「京都大チシ之義被仰下、誠ニ大そうなる様ニ承り申候」など) ②〔諸品等書上〕(①の裏面に記載。「麻上下 壱具」など24品目、「蜆壱升 米ヶ袋」など5件、「麻上下 壱具」など20品目書上)	①(文政13年カ)十二月五日 ②(近世)	①松崎周年	①友五郎様(中畑友五郎)、足下	状	1	
3	32	13		入記(「萌黄御具足 壱領」など武具11品書上げ)	文久三年四月廿三日	中畑貞次		状	1	
3	32	14		〔書状〕(「御邸内之真竹五本御払相請申度」)	(明治36年8月23日の中畑清治死去以前)	古内広行、拝	中畑清治様、献上	状	1	
3	32	15		〔書状〕(「西山君之義、色々御面倒ニ罷成、多謝之至御坐候」など)	七月五日(天保14年以前カ)	恭蔵(伊東恭蔵)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	32	16		〔披露状〕(「昨六日私儀 御小性頭兼役御野場役、是迄之通被 仰付、難有仕合ニ奉存候」)	十二月七日(近世)	八木章九郎勝有(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	32	17		〔消息〕(「御まゝ様御機嫌よくいらせられ、昨日此表へ御登仙被給候御事、御めて度存上まいらせ候」など)	(近世)	久の	友五郎様(中畑友五郎)、人々	状	1	
3	32	18		〔手習い〕(書状書き出しの手習い、及び柴田条四郎ら8人の名書上げ)	(近世)			状	1	
3	32	19		〔申達状〕(「御飛脚ヲ以、御足輕之内善之助急病、霍乱症之由ニ而大病ニ付」)	(慶応4年カ)六月三日	岩沼・伊藤為輔	関上二而・中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	32	20		口上(「明廿一日、亡母五拾四回忌相当ニ付」、「廿銭 内小路」ら26名書き上げ)	(明治24年)十一月廿日	中畑清治		状	1	
3	32	21		〔暑中見舞状〕	五月廿八日(近世)	伊藤為輔	中畑貞次様、我妻友代様	状	1	
3	32	22		〔書状(断簡①)〕(「塩之義者丈太夫方えも売付申遣候筈。何儀ニ而も金代為登次第御払相受候都合ニ御坐候間、急速可被相登候」など)	(2月22日、近世)	同友五郎(中畑友五郎)	岩沼・中畑貞次殿	状	1	本来3-32-22、3-32-3の順に継がれていたもの。後欠
3	32	23		〔書状〕(「御飛脚ヲ以、善之助薬用不叶病死ニ及候段、扱々込入候事ニ御坐候」など)	(慶応4年カ)六月三日	岩沼・伊藤為輔	関上二而・中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	折紙一部切取られ欠
3	32	24		〔暑中見舞返礼状〕	六月(近世)	中畑貞次種(中畑種昌)(花押)	太田熊之進様	状	1	折紙一部切取られ欠
3	32	25		〔暑中見舞状〕	六月十五日(近世)	大泉岸之介	中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	32	26		〔英語数詞読み方覚書〕	(近世カ)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	32	27		①〔願書〕(「岩沼御給主今野栄之進義、当五拾壹歳ニ罷成候処、隠居被 仰付」、「養子同氏与衛門」への相続について。去年からの病状と治療についての記載あり) ②〔伺書〕(①の裏面に記載。①についての伺)	①文久三年十二月 ②一(文久3年12月)	①今野栄之進・重判、平田祐之進、今田龍蔵、(奥書)国分東作 ②一(古内広居)	①国分東作殿 ②小梁川出雲殿、片倉小十郎様、小梁川(以下無記名)、下郡山、但木、佐々	状	1	
3	32	28		〔書状〕(「大松沢祐仙老方品々被仰付、奉畏候。先日態々出張御薬礼金弍朱并掛物壹幅相渡申候」など)	(慶応2年)三月廿一日	中畑貞次	御親様(中畑友五郎)	状	1	やや破損
3	32	29		〔書状(断簡①)〕(「山ノ下様より御風呂敷包御頼二付指上申候。且上包仕候風呂敷ハ、木名瀬様御登仙砌、川前様え御包物被遣候節之義ニ御座候」)	(12月24日、近世)	仙御屋敷・斎藤専三郎	岩沼二而・中畑貞次様	状	1	本来3-32-29、3-32-33の順に継がれていたもの。後欠
3	32	30		〔書状〕(「おちう事ハ格別快方、おさと事、流産後之障と相見得少々不快、併二三日中ニ快方ニ相及可申候」)	(慶応4年)五月廿八日	岩沼・同(中畑)友五郎	閑上浜・中畑貞次殿	状	1	
3	32	31		〔年頭祝詞状〕	正月(近世)	佐瀬俊三郎良(花押)	中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	32	32		〔書状〕(「過日御昇進之件ニ付国家大義名誉之褒章ヲ賜ワラレ候事ニ御坐候得者、近親知己之諸氏ニも一覽ヲ遂ケサセラレ度御所望ニ付而者」騰本巻部充御写取御送付相成度」)	(明治)			状	1	
3	32	33		〔書状(断簡②)〕	十二月廿四日(近世)	(斎藤専三郎)	(中畑貞次様)	状	1	3-32-29〔書状(断簡①)〕の備考欄参照。前欠
3	32	34		記(17年度御用立金15円受取)	(明治)十九年一月十九日	平間弥五郎(「マル五」平間印)	中畑清治様	状	1	
3	32	35		〔廻状〕(「廿九日 次郎衛殿 元日 貞次」から「五日 敬止郎殿」までの「御城番当番割」について。)	正月一日(近世)	貞次(中畑貞次)	(合点)逸平様(瀧沢逸平)、(合点)敬止郎様(遠藤敬止郎)、(合点)次郎兵衛様(八木次郎兵衛)、(合点)五太夫様(三浦五太夫)、(合点)永治様(吉田永治)	状	1	
3	32	36		①〔諸入費書上〕(「清治分」の「明治七年夏季諸用意金高割計」) ②〔荒畑反別書上〕(①の裏面に記載。伊藤敬八郎、中畑清治ら16名の荒畑反別書上)	①(明治8年頃) ②(明治)			状	1	
3	32	37		口上(「明五日、亡養母百ヶ日相当二付」)	五月四日(明治36年以前)	中畑清治		状	1	
3	32	38		〔古内氏入湯中小遣代金書上〕(「一、百文 槻木町御小休御茶代」等5件「〆 壹貫与代七拾文差引」)	(近世)			状	1	後欠
3	32	39		〔閑上浜出張中用心金受払調書〕(八木次郎衛方より遜金3両2歩の受払の内訳を記す)	(慶応4年)辰ノ五月	中畑貞次		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	32	40		[願書]「拙者儀弟同氏文蔵義、当式拾才ニ罷成候処、伊達勝三郎様御家中御小性通菊地太仲聳養子」について	慶応四年六月	八木次郎兵衛	専蔵殿(古片専蔵)、欽吾殿(只野欽吾、只野克己、禱齋)、(合点)四郎衛殿(横田四郎衛)、大之進殿(岩淵大之進)、茂右衛門(殿ナシ)(境茂右衛門)、東作殿(菱沼東作)、清之進(殿ナシ)(伊藤清之進)	状	1	
3	32	41		[仰渡書写]「旧御知行之内、奉公人前所持之輩持高被成下候義、士凡分毎被仰渡置候通二候処、今以御割合も不相濟候二付」、「割合」について8ヶ条あり。」	(明治2年)巳ノ十月廿八日	清八郎(伊藤清八郎)(中畑友五郎書写カ)	丸山、新小路	状	1	
3	32	42		[願書]「新刃刀 四振 此入料金拾壱両也、銀廿四匁也」、「右之通御物置御行新刃刀御腰物方より五ヶ年賦を以御払申受候様被成下度奉願候」	慶応三年十二月	古内左近介一口(花押)(古内広居)	大内筑後殿、片平大丞殿、下郡山下野殿、坂英力殿、但木土佐殿、佐々備中殿、石田正親殿	状	1	
3	32	43		[土用中安否伺状](松五郎ら13名の「面附」あり)	六月(近世)	佐瀬俊三郎良(花押)	中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	32	44		[達書]「善之助病死拝借金貳歩也」について	(慶応4年カ)六月廿二日	貞次(中畑貞次)	小貫藤之丞殿	状	1	
3	32	45		[願書]「拙者儀親類御城下蓮房小路光林寺家中岩間清太郎実弟同氏平右衛門義、当式拾八才ニ罷成候ヲ、添人ニ被成下、御当所住居被成下度奉願候」	慶応四年辰六月	阿部謙信安(印)(花押)	瀧逸平殿(瀧沢逸平)(印ナシ)、八次郎兵衛殿(八木次郎兵衛)(印)、中貞治殿(中畑貞次)(印)、遠敬止郎殿(遠藤敬止郎)(印ナシ)、吉栄治殿(吉田栄治)(印ナシ)	状	1	
3	32	46		[達状]「明十五日関上浜え御兵具物共被相下候二付」	(慶応4年)壬四月十四日	貞次(中畑貞次)	小林万五郎殿、御用前中(印)	状	1	
3	32	47		[書状]「ろく之義」について「函館大町忠谷久吉ト申ス酒荒物等ヲ商売スル店之下女奉公仕居候由ニ御坐候。」など	(明治)			状	1	
3	32	48		[書籍目録]「仲景全書」等38書目	(近世)			状	1	
3	32	49		[上達状(案カ)]「橋元松治等四人、無役御裏御門御武頭加勢被 仰付候人数二付」	五月十二日(近世)	(中畑貞次カ)		状	1	
3	33	1		[画仙紙](ボールペン書きで「中畑様」とのみあり)				状	1	
3	33	2		[封紙]	(近世カ)			状	1	
3	33	3		畳紙寸法(畳紙の図入の寸法書)	(近世カ)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	33	4		〔語釈覚〕(「胆大」、「心小」、「智円」、「行方」の各語義)	(近世カ)				状	1	
3	33	5		〔熨斗紙〕		中畑家、茂庭家			状	1	
3	34	1		〔目録〕(「進上 御着 一折 已上」)	(近世)				状	1	
3	34	2		覚(「鮮御着 一折 左近介様・御二方様え 日向様・御二方様より」など3件の目録)	十二月十三日(安政3年以降)				状	1	
3	34	3		〔目録〕(「進上 御着代 三十疋 以上」)	(近世)				状	1	
3	34	4		〔目録〕(「進上 鮮御着 一折 以上」)	(近世)				状	1	
3	34	5		〔達書〕(「阿武隈川筋通船被相留置候処、公義御船印ハ白地へ赤九曜之御旗被相建候事ニ申来候条」)	(慶応4年)辰八月廿二日	菱東作(菱沼東作)	中畑貞治殿(中畑貞次)		状	1	
3	34	6	1	〔ハترون紙製封筒〕(ボールペン書きで「局関係」とのみあり)					状	1	
3	34	6	2	委任状(「金四円也 但黒川郡大衡村石垣庄三郎方ヨリ為替ニ相成候分」について)	九月廿一日(明治18~24年)	柴田郡菅生村二十三番地・石垣庄右衛門(印)	岩沼駅為替郵便局、御中		状	1	
3	34	6	3	貯金登記済通知書(金4円)	(消印①「武蔵東京 廿四年三月十八日ル便」、(消印②「陸前岩沼廿四年三月十九日二便)	郵便為替貯金局、(検印「出口」印)	陸前国岩沼町百六十四番地・相原ひさ殿		状	1	
3	34	7		〔ハترون紙製封筒〕(フェルトペン書きの上書き「貞次」)						1	
3	34	8		〔清和源氏系譜〕(清和天皇から源頼義まで)	(近世カ)				状	1	
3	34	9		記(焼酎粕100貫目代金、元利×11円4銭受取)	(明治)卅三年一月廿四日	小野惣助(印)	中畑様		状	1	
3	34	10		〔触書写〕(「諸拝借金不納分御詞(祠)堂金并諸向御備金之義」および「面々相対借財并御詰役方焼印」について触。和歌2首の記載あり)	天保十亥年九月廿日御触出し	(中畑友五郎写カ)			状	1	折紙一部切取られ欠
3	34	11		売薬二十等商業鑑札(宮城県陸前国名取郡岩沼郷・鈴木養吉)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)				状	1	
3	34	12		〔古内家中役料書上帳〕(権左衛門殿ほか15名分)	(近世)				冊	1	
3	34	13		①〔地税・地印調書〕(中畑清治を含む数人分地税・地印、直しで×金5切7貫554文) ②〔地印調書〕(①の折紙裏に記載。地印5人分、残×6貫752文、直しで1切6分8厘8毛)	①(明治7年4月の管内区画更正以前) ②(明治)	①第拾五大区小九区・七拾貳番屋敷・農・中畑清治		状	1	折紙端欠損	
3	34	14		御馬道具之部(「斎藤専三郎始末」の「御馬道具」21品目、その他10品目の目録)	(近世)				状	1	折紙端欠
3	34	15		〔売代金受取証文〕(「改正壱切也 奥印・上中拾本」など9件)	(記載内容:3月28日~閏8月1日、文久2年以前)	(検印「(マルニ)仙台肴町二丁目吉田屋」)			状	1	
3	34	16		〔払金内訳書〕(「御元」金1歩2朱について、17日「五軒茶屋御休所御入料」金2朱・代85文など、3月17日・18日の17件の払内訳)	(記載内容:3月17日~18日分、近世)				状	1	
3	34	17		〔申達状〕(「例年之通 近衛様え献上事、御飛脚、来月五日白石出立ニ御坐候処、伊勢え被相願御品物被為有間敷や」)	正月廿一日(近世)	白石屋敷・大河内忠左衛門(白石領主片倉家中)	岩沼御屋敷・横田四郎兵衛様		状	1	
3	34	18		〔紙片〕(フェルトペン書きの上書き「貞次」)						1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	34	19		〔申達状(断簡)〕(「(前欠)全日之御先御道具扣取」詰ノ御門下え猩猩々緋・御鉄炮五拾挺」など)	五月四日(近世)			状	1	前欠
3	34	20	1	〔「將軍足袋」紙袋〕					1	上部破損
3	34	20	2	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	3	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	4	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-14の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	5	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	6	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	7	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	8	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	9	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。最終丁)	(近世写)			状	1	
3	34	20	10	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	11	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	12	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。第5丁カ)	(近世写)			状	1	
3	34	20	13	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	14	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	15	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	16	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	右半丁欠損
3	34	20	17	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	左半丁欠損
3	34	20	18	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	19	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-33の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	20	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	21	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-22の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	22	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-25の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	23	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-24の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	24	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-20の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	25	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-23の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	26	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	27	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	28	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	29	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	30	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	31	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	32	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	33	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	34	清眼流目医書(断簡)(写本。第1丁)	(近世写)			状	1	
3	34	20	35	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-38の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	36	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	37	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-39の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	38	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-37の続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	39	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	40	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	41	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	42	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	43	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	44	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	45	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。第3丁カ)	(近世写)			状	1	
3	34	20	46	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。第4丁カ)	(近世写)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	34	20	47	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	48	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	49	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	50	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	51	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	52	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	53	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。第2丁カ)	(近世写)			状	1	
3	34	20	54	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	55	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	56	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	57	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	58	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本。3-34-20-47の 続き)	(近世写)			状	1	
3	34	20	59	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	60	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	61	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	62	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	63	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	20	64	〔清眼流目医書(断簡)〕(写本)	(近世写)			状	1	
3	34	21		天保十三壬寅稔五月四日 屋形様御入部御成 二付大手御門御武頭当番勤書左二	(天保13年5月 4日)			状	1	
3	35	1		〔伺書〕(「私屋敷大町寺丁目頭二所持仕候処、 此度屋敷手入致候二付砂相入申候間」)	(慶応元年)丑 ノ十月十八日	古内左近介 (古内広居)		状	1	
3	35	2		〔申達状〕(「要人様御母方之御伯父柴田外記様 今暁七つ時被成御病死候二付」)	(文久2年)九 月八日	寺崎屋敷・八 木友吉	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	3		〔申達状〕(「高泉源三郎様御母泰寿院様、今十 一日御病死被成候二付」)	(文久2年)九 月十一日	佐沼屋敷・相 沢三郎兵衛	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合様 中	状	1	
3	35	4		〔書状〕(「御内意被成下候次第、善悪之間甚心 痛罷有申候間、御遠察被成下」など)	五月十七日 (近世)	菅原(菅原東 海)、愚筆	中畑様	状	1	
3	35	5		〔副状〕(「副啓申上候候。段々願上置申候まき 方、当月初二被相下候様御取計被成下度奉願 置候処、何時頃御下シ被成下候哉」)	同月同日(近 世)	菅原東海、愚 決	中畑様	状	1	
3	35	6		〔書状〕(「湖柳軒より借財仕候由二悴申聞候 処、何程位拝借仕候哉」など)	極月十七日 (近世)	菅東海(菅原 東海)	中畑様	状	1	
3	35	7		〔上達状〕(「於見衛様御事、今十九日焼(暁)七 ツ時御召出シにて、櫻沢不動尊被遊御参詣候 二付、洞口運五郎」について「昨夜九ツ時頃より 実母霍乱之症二罷成り」など)	(文久2年カ) 戌六月十九日	渡辺善五郎		状	1	3-35-7〔上達状〕、3-86-1〔申達 状〕、3-86-2〔申達状〕、3-86-3〔申 達状2通貼継〕は一連のもの。
3	35	8		〔人名書上〕(長谷力之助、中畑友五郎ら5名)	(近世)			状	1	
3	35	9		〔人名書上〕(正月元日竹中道見老ら18名、二日 松前定真様ら2名)	正月元日(近 世カ)			状	1	
3	35	10		〔申達状〕(「来ル廿日、主水広胖様御事寛裕院 様、御百ヶ日御相当二付」)	(文久2年)六 月九日	松川屋敷・長 尾成衛	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	11		〔申達状〕(「故実保様御事 海月院様 六月廿三 日 七回御忌」など)	(文久2年)六 月十日	小野屋敷・鈴 木源之助	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	12		〔申達状〕(「式部様、過ル十七日御病死被成候 所、文七郎様御指渡之御従弟二付」)	(文久2年)九 月十九日	遠藤文七郎 内・伊藤敬之 助	古内左近之介 様(古内広 居)・御家来様 中	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	35	13		[申達状]（「式部事」「養生不被相叶、昨十七日 暁七つ時被致死去候」）	（文久2年）九 月十八日	宮床屋敷・ 君ヶ袋貞吉	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	14		[申達状]（「高泉源三郎殿御母義泰寿院殿御病 氣之所、御薬用不被為叶、今十一日御死去被 成候二付」）	（文久2年）九 月十一日	白石屋敷・高 橋五郎兵衛 （白石領主片 倉家中）	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合様 中	状	1	
3	35	15		[申達状]（「四郎盛篤様御事 南海院様 九月十 八日 廿七回御忌」など）	（慶応2年）九 月十二日	飯野川屋敷・ 菅間求馬	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	16		[申達状]（「故讃岐宗秩事 顕徳院 五月廿五日 十七回忌相当二付」）	（文久2年）四 月廿八日	岩出山屋敷・ 安積権兵衛	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	17		[申達状]（「志摩様、御指紙二而今十五日被成 御登 城候所、大番頭被為蒙 仰、難有仕合二被 思召」）	六月十五日 （近世）	薄衣屋敷・田 辺記之介	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様	状	1	
3	35	18		[申達状]（「六郎事、過ル十四日宿継御奉書を 以御用之義二付早速上府被 仰付」）	六月十六日 （文久2年以 前）	宮床屋敷・ 君ヶ袋貞吉	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	19		[申達状]（「先般及御知相成居候出生之男子名 元、大力与被附進候」）	（文久2年）戊 戌六月十五日	岩出山屋敷・ 安積権兵衛	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合様 中	状	1	
3	35	20		[申達状]（「お雪様御事御法号、泰寿院様与被 付進候間」）	（文久2年）六 月十五日	米谷屋敷よ り・安倍与五 右衛門	岩沼御屋敷二 而・横田四郎 兵衛様、御詰 合中様	状	1	
3	35	21		[申達状]（「志摩様奥様 円性院様 七月四日 二 十七回忌 御相当二付」）	六月十一日 （近世）	松崎屋敷・木 村林蔵	岩沼御屋敷・ 横田四郎兵衛 様、御詰合中 様	状	1	
3	35	22		[古内氏直書]（「木名瀬正太夫へ進談之義申付 度候」など）	三月廿九日 （近世）	（古内氏）	伊藤繁右衛門 とのへ	状	1	
3	35	23		[封筒]	（近世カ）	岩沼・はより	仙御やしき・ 於さととの		1	
3	35	24		[書状案]（「此度 徳運軒先生七廻忌御相当二 も候間、御石碑建方相成候由」について）	（近世）			状	1	
3	35	25		①[書状(断簡)]（「今晚迄玄米五升之高二是非 御無心仕度候」） ②[諸覚書]（①の裏面に記載。藁の代価。「荒 木覚」など）	①九月廿三日 （①②とも近 世）	①中畑、拝	①舟山様	状	1	前欠
3	35	26		[申達状(カ)(断簡カ)]（「婚礼調之事、木工之 介昨日承候処、何二我等登後首尾合申等二申 合尤候事」）	（近世）			状	1	前後欠カ
3	35	27		[申達状]（「御自分御厩立之春御馬」について 別紙写(3-35-30「写」)之通大内縫殿様より申 来」など）	九月六日(安 政3年以前)	横田四郎衛	中畑友五郎 様、御同役中 様	状	1	
3	35	28		[志村東華辞世]	（天保3年）	（志村東華）		状	1	
3	35	29		[漢詩詠草]（七言絶句1首）	（天保3年 春カ）	（志村東華カ）		状	1	
3	35	30		写(3-36-27[申達状]に言及のある「別紙写」。 「其方所持之鬼首春馬、此度 御覧之上被召 上、御厩入被 仰付旨被 仰出候」)	九月六日(安 政3年以前)	大内縫殿	古内長十郎殿 (古内広居)	状	1	
3	35	31		[元治元年4月13日・18日大名官位叙任書上げ] (伊達慶邦ら30名)	(元治元年)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	35	32		〔書状〕(「先日者長之詰合千万御面倒被成下、毎度難有仕合奉存候」)	十二月十九日(近世)	岩より・鈴木山之輔、自分	仙二而・中畑友五郎様	状	1	
3	35	33		寒入二付伺 御機嫌申上候輩名元調左二(古片専蔵ら25名)	(近世)			状	1	折紙一部切取られ欠
3	35	34		〔消息〕(「宿守清助夫婦、不わこふに二而、このころ清助事妻お菊、いとまさしいたし候間」など)	九月廿七日(近世)			状	1	
3	36	1		〔紙縫紐〕					1	
3	36	2		〔伺書案〕(「御膳米并御賄米春方御免被成下度奉願候」。去々年の御役御免願などについて記載あり)	明和七年二月七日	中畑喜右衛門番代・中畑左角(中畑種良)		状	1	
3	36	3		〔書状〕(「先達而者病氣為御尋合、態々御賢園様御事、お波御連立被下、芳宅へ御見舞、誠二何より之珍肴等御投恵(ママ)被下、御厚志之御義、筆紙二叵尽、叵有仕合奉存射候」など)	極月八日(弘化2年以降)	永野仁左衛門	中畑友五郎様	状	1	
3	36	4		〔年頭祝詞状〕	正月(近世)	菊田三九郎時明(花押)	中友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	36	5		明治十年分民費分銀わり	明治十年三月十九日	村扱・高橋甚左衛門(「高橋長英」印)	一小区之務所御中	冊	1	
3	36	6		膳部(料理配膳等に関する覚)	(近世カ)			状	1	
3	36	7		〔願書〕(「高、田代五百九拾貳文」、「右之通持高之御百姓二御座候処、凶年以来困窮仕候間」について)	寛政十三年三月	志賀村御百性・仲吉(印)、(奥書)地肝入・和七(印)	小川村地肝入・和七殿、(奥書)八巻源之丞様、仲山仲蔵様、菊地仲左衛門様	冊	1	付札1ヶ所。
3	36	8		〔寒中見舞状〕	十二月廿日(近世)	伊東貞介包秀(花押)	中畑大先生(中畑友五郎カ)、玉几下	状	1	
3	36	9		〔披露状〕(「殿様御事、御道中無御滞被遊 御着、其後共二益御機嫌克可被遊御坐、恐悦至極之御義奉存候」)	十二月十八日、(裏書き)十二月十九日(近世)	斎藤専三郎宜方(花押)、鈴木兵記明道(花押)、磯村彦太夫信(磯村彦太夫信計)(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)大内嘉右衛門雅丘(花押)	千葉伝之助様、御用前中様。(裏書き)斎藤専三郎殿、鈴木兵記殿、磯村彦太夫殿、中畑友五郎殿	状	1	
3	36	10		〔年頭祝詞状〕	正月五日(近世)	吉尾右門	中畑友五郎様	状	1	
3	36	11		〔披露状〕(「今日私義、長之助様御懐守兼帯被 仰付、難有仕合奉存候。右御礼申上度奉存候条、宜被仰下度如斯御坐候」)	九月廿六日、(裏書き)十月(嘉永元年以前)	中畑友五郎種良(花押)、(裏書き)菱沼東作元章(花押)	菱沼東作様、(裏書き)中畑友五郎殿	状	1	3-135-2-66〔披露状〕以前の史料。
3	36	12		〔年頭祝詞状〕	正月九日(近世)	千葉伝之助胤良(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	36	13		〔披露状〕(「昨日者 大殿様御道中御安泰二被遊御登、益御機嫌能可被遊御座、恐悦至極之御儀二奉存候」)	正月廿七日、(裏書き)正月廿八日(文化3年以前)	中畑左角種良(花押)、(裏書き)片平清左衛門	片平清左衛門様、(裏書き)中畑左角様(中畑種良)	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	36	14		[披露状] (「大殿様」へ「就寒中御容体相伺申度、如斯御坐候。此旨御序ヲ以宜被仰上被下度候」)	十二月七日、(裏書き)十二月(近世)	佐藤玄円有隣(花押)、木名瀬正太夫直方(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)高沢弥一右衛門宣睦(花押)	高沢弥一右衛門様。(裏書き)中畑友五郎殿、木名瀬正太夫殿、佐藤玄円老	状	1	
3	36	15		[披露状] (「葦名鞠負様御妹おます様御事、御薬用不被為叶御病死之段承知仕、奉絶言語候御事御坐候」)	十二月五日、(裏書き)十二月(近世)	佐藤玄円有隣(花押)、木名瀬正太夫直方(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)高沢弥一右衛門宣睦(花押)	高沢弥一右衛門様。(裏書き)中畑友五郎殿、木名瀬正太夫殿、佐藤玄円老	状	1	
3	36	16		[披露状] (「大奥様」へ「就寒中、乍憚御容体相伺申度、如斯御坐候。此旨御序ヲ以宜被仰上被下度候」)	十二月七日、(裏書き)十二月(近世)	佐藤玄円有隣(花押)、木名瀬正太夫直方(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)高沢弥一右衛門宣睦(花押)	高沢弥一右衛門様。(裏書き)中畑友五郎殿、木名瀬正太夫殿、佐藤玄円老	状	1	
3	36	17		[書状] (「頃日者 貞次様御事、御間柄能御婚礼被遊御整、御悦之御義奉存候」。「二白」に「とみゑ様も宜敷奉願候」)	十二月七日(近世)	横田民治清盈(花押)	中畑友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	36	18		[披露状] (「大殿様御着後益御機嫌能被遊御座候半与、恐悦之御儀二奉存候」、「御湯治中」のお礼など。)	四月十七日(文化3年以前)	中畑左角種良(花押)、(奥書)片平清左衛門定龍(カ)(花押)	片平清左衛門様、(奥書)中畑左角殿(中畑種良)	状	1	
3	36	19		[披露状] (「勇五郎様御縁方御内々昨日御取替、諸事御都合能相済、恐悦至極之御儀二奉存候」)	五月四日(文化3年以前)	中畑左角種良(花押)	片平清左衛門様	状	1	
3	37	1		[輪ゴム]					1	
3	37	2		水府邪党御仕置一件	(安政3年4月25日)				冊	1
3	37	3		安政三辰年五月十四日御届(写。琉球へフランス船入港につき届出)	(安政3年)五月十八日申上刻	松平薩摩守(島津斉彬)			状	1
3	37	4		[書状写] (大和国高取における天誅組との戦いについて勝利を報じる)	(文久2年)九月二日	植村駿河守(植村家保、大和国高取藩主)家来・草川右衛門			状	1
3	37	5		[披露状写] (「去ル永安(安永)五年申ノ三月」、「水戸殿宝蔵堀破り」、諸品を「盗出」すなどした「水戸殿先手組葛谷大内蔵次男同苗蔵之進事」について。)	(安永7年)				状	1
3	38	1		[紙縫紐]						1
3	38	2		[披露状] (「広幡大納言様御女、近衛内府様御養女 正君様御事、御曹司様え御縁組、如御願之被 仰出、恐悦至極之御儀奉存候」)	十月(文久3年~慶応2年)	古内左近介(「広居(花押)」を抹消)	本間一学様、御同役中様	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	38	3		[伺書案(断簡)](「当 御参府之節、私在所岩沼 御小休ニ相成候筈ニ 御道中割相済候段被仰渡、承知仕」、「鮮御肴一種献上仕 御機嫌相窺可申哉」など4ヶ条について「相窺申候条(後欠)」)	(近世)			状	1	
3	38	4		[披露状案](2-29-9[披露状案]とほぼ同文)	五月十一日(安政3年以降)	古内左近介(古内広居)内・横田四郎兵衛清躬(花押)	右近様、右兵衛様、御用人様中	状	1	
3	38	5		口上(「松平余一磨様御事」「去月廿八日御養子御家督無御相違被為蒙 仰候」など)	(文久2年)八月	古内左近介(古内広居)		状	1	
3	38	6		[伺書](「此度 御曹司様御事 御参府之節、私在所岩沼 御休御寓ニも被成候ハハ、乍憚居館え被為 入御下置御膳指上候様被成下度奉存候」など)	九月(万延元年以降)	古内左近介(古内広居)抹消線あり)	大条孫三郎様、大内縫殿(傍記「筑後」)様、片平大丞様、下郡山下野様	状	1	
3	38	7		口上(「於佑様弥御安泰御超歳成さるべく、御めて度候事に存上まいらせ候」など。折紙裏に「進上 御太刀 一腰 御馬 一疋 以上」とある目録)	正月元日(安政4~6年)	古内左近介(古内広居)祖母・貞鏡院	大松沢・軍之進さま、御同役中さま	状	1	
3	38	8		[上達状案](「私儀、御用之義有之候間、来月六日迄ニ登仙仕、其段可相違被仰渡候所、暑邪ニ相当り」など。)	六月(安政3年以降)	古内左近介(古内広居)		状	1	全文抹消線あり。
3	38	9		[披露状案](2-29-9[披露状案]とほぼ同文)	五月十一日(安政3年以降)	古内左近介(古内広居)内・横田四郎兵衛清躬(花押)	右近様、右兵衛様、御用人様中	状	1	
3	38	10		[披露状案](「御前様へ「乍憚歳暮之御祝義申上度、如斯御坐候。此旨御序を以宜御心得頼入存候」)	十二月(安政3年以降)	古内左近介(古内広居)	森田左右衛門様、野村四郎右衛門様	状	1	
3	38	11		[上達書案](2-95-21①[上達書案]の写しかけ)	(10月、近世)	(古内弘見(古内広賢))		状	1	
3	38	12		[伺書案](2-112-5[伺書案]とほぼ同文。ただし書きかけ)	(安政3年6月以降)			状	1	
3	38	13		口上(案文。「屋形様御事、過ル五日」「御領知之 御判物被下候由 上意有之」件につき。)	(万延元年)閏三月	古内左近介(古内広居)		状	1	
3	38	14		[書状案](「御曹司様」「今日私在所岩沼居館え夕七ツ時被為 入、九条様え被為 出、其後御飯屋 御寓え被為 入、恐悦至極之御儀ニ奉存候」)	(明治元年)			状	1	折紙の地の端に古内広居花押あり。
3	39	1		[勘定帳・勘定書綴](木材、人足等について勘定帳1冊および勘定書14通一綴。「御役人様中」が宛所のもの(第5綴目)あり)	(寛政12年)庚申ノ九月十一日(第8綴目)など			冊	1	
3	39	2		ふたへ田竿覚(田9筆×194文、田14筆×291文)	(近世)			状	1	
3	39	3		[俵受取証文](5斗入1俵)	十一月廿四日(近世)	金右衛門(印)	中畑左角様	状	1	
3	39	4		嘉永五年正月より 御薪通帳	(記載内容:嘉永5年1月5日~11月14日)	折立・権右衛門	岩沼御屋敷・中畑友五郎様	冊	1	
3	39	5		弘化三年三月十七日 豆腐通(見返しに「嘉永七年十月七日法岩十七廻忌来客調」書き込み)	(記載内容:弘化3年3月17日~22日、嘉永7年10月7日)	南町・杉右衛門	中畑友五郎様	冊	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	39	6		天保十三年三月吉日 通帳(帳末に「弘化二乙巳年八月之頃北ノ町甚太郎方玄米六升入置候由。米相場、手形巻歩二付六升」と覚書あり)	(記載内容:天保13年3月~12月28日、弘化2年8月)	同心町・藤蔵	中畑友五郎様、内・御家来様	冊	1	
3	39	7		安政六己未三月 大学之車読左二(若殿様及び裕治郎様と家中による大学や論語の輪読について)	安政六己未三月			冊	1	
3	39	8		於富様方御仕度(「白地模様附帷子御紋付 忝反」など24品目書上げ)	(文化13年)			冊	1	
3	40	1		[紙縫紐及び紙片]					2	
3	40	2		[仰渡書ほか写](内容①「御預方被 仰渡書写」〈「御番人」の規定12ヶ条〉。②「御番人え之被仰せ渡書写」〈6ヶ条〉。③「口〈痰カ〉之妙薬」〈薬の処方〉)	①②閏三月(安永2年、または文政13年)	①源兵衛、三郎左衛門(窪田三郎左衛門)、清右衛門	①尾形軍之允殿、渡部三郎兵衛殿、鏡藤右衛門殿、伊藤丈太夫殿、中畑左角殿、橋本与左衛門殿 ②御番人中	冊	1	
3	40	3		[漢詩詠草](「壬辰七月廿七日酷暑之処え雨勃然降誠喜雨、如司馬氏喜雨之賦」〈七言古詩〉、「霜月十五日得早梅卒賦」〈五言古詩〉、および「重題早梅」〈五言古詩〉の3首)	(天保3年壬辰以前)	風軒先生		状	1	
3	40	4		[古内氏直書(断簡①)](「古之糶六七俵有之由先日承候。此節名ニハ別而骨折、外用人共も指働候間」「糶六七俵之内五俵、名々兩人・用人三人え遣候」)	(1月4日、近世)	(古内氏)	伊藤茂左衛門とのへ	状	1	本来3-40-4、3-99の順に継がれていたもの。全体の内容を3-40-4[古内氏直書(断簡①)]の「表題(内容)」欄に一括して示す。後欠
3	40	5		[勘定書](「左吉」金6切2分8厘1毛など4件、金22切7分7厘7毛)	六月廿日分調(近世)			状	1	
3	40	6		覚(「あすろかて一枚」代金8切受取)	五月廿三日(近世)	今野屋・嘉平(「口(仙)台大町二丁目今嘉」印)	上	状	1	
3	40	7		記(「蒲焼」70銭など4件、金1円40銭5厘)	九月六日(明治)	間下条之助	上様	状	1	やや破損
3	40	8		[仕切状](「御羽織染ちん」金1切1歩など3件、金3切6分7厘6毛)	(記載内容:4月13日、4月29日、近世)			状	1	
3	40	9		[申達状](「若殿様・若奥様御単地之義二付被仰下、承知仕候」)	五月七日(近世)	岩・渡辺哲平	仙・中畑友五郎様	状	1	
3	40	10		①[申達状](「大殿様、昨日本多浜へ御廻り之節御土産為御持二相成候御通盆・風呂敷借受罷成候由、右御返進被成候間御受取可被下候」) ②[勘定書](①の裏面に記載。23貫751文など3件、金40貫458文)	①五月七日(近世)	①岩・小林繁之進	①仙・中畑友五郎様	状	1	
3	40	11		[申達状](「御直書御忝封被相下、請取申候」)	四月十三日(近世)	岩・木名瀬正太夫	仙・中畑友五郎様	状	1	
3	40	12		[受取状](「為御盆礼金一疋被下置槌二受取上申候」)	七月十六日(近世)	木町通・石川(印)	岩沼様、御屋敷	状	1	
3	40	13		覚(「白粉にて忝式」930文)	五月七(カ)日(近世)	石川屋善三郎(「仙台荒町石川口口屋」印)	上	状	1	
3	40	14		[断簡カ](「六人分 新小路 一、拾三人九分 南町方」とのみあり)	(明治カ)			状	1	前欠カ
3	40	15		覚(中皿10枚代金1歩2朱など6件、金3〆300文、替3歩3朱100分)	五月二日(近世)			状	1	
3	40	16		[受取状](「油紙包巻つ 梅崎とのより於千代方え 右之通槌二受取候」)	丑三月五日	大堀専七郎(印)	御使衆	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	40	17		覚(「麻横紡袴仕立ちん」3匁8分など3件、 \times 11匁5分)	六月二日(近世)	仕立屋三之丞		状	1	
3	40	18		[勘定書(断簡カ)](「新御部屋方」 \times 48貫794文など)	(近世)			状	1	前欠カ
3	40	19		[勘定書(断簡カ)](「御用立分」「漉巻帖」「小札八枚 とみゑ方」など)	(近世)			状	1	
3	40	20		[申達状](「磯田」「松尾」「瀧尾」「岩尾」へそれぞれ「巻封」に「品添 人々さま為相登申候間、御受取御都合被成下度候」)	五月朔日(近世)	岩・小林繁之進	仙・横田四郎兵衛様	状	1	
3	40	21		[書状(断簡)](「申遣候御発句、扱々恐入、甚面白事ニ御座候。随而愚老者不及なから(後欠)」)	(近世)			状	1	後欠
3	40	22		[年頭祝詞状](「明候而三ヶ年ニハ候得とも今ニ高堂ニ坐臥致候心地忘れかたく時々御懇愛ヲ按出シ申候」などとあり)	仲春望日(近世)	中畑友五郎種良(花押)	鳴原与祖右衛門様、玉案下	状	1	
3	40	23		[勘定書(断簡)](「御手許方」「かいせい二枚分いとわた」など)	(近世)			状	1	前欠
3	40	24		[勘定書](「力之助為登」金70切の内訳、「徴粧院様へ上ル」金5切など)	(近世)			状	1	
3	40	25		[勘定書](金50切の内訳、「鈴木山之輔へ被払下候分」など)	(近世)			状	1	
3	40	26		[一関藩家老名書上](沼田典膳ほか4名)	(近世)			状	1	
3	40	27		巻紙(「御元金受取高」「白封御払金方」など)	嘉永六年十二月	中畑友五郎(「専」印)		状	1	
3	40	28	1	[包紙](上書き「仏祖 正伝 菩薩 大戒 血脈」)	(大正6年5月7日)	現長松顕道叟授与(「大徹」印)(「顕道」印)、庸源良冲		状	1	
3	40	28	2	仏祖正伝血脈(印刷物)	大正六年五月七日	大徹顕道布納(「大徹」印)(「顕道」印)	帰戒善人	状	1	
3	40	29		[暑中見舞状]	六月(近世)	岩淵大之進種苗(花押)		状	1	折紙奥欠カ
3	40	30		[物品書上げ](「手ぬくひ 二本」など5物品書上げ)	(近世カ)			状	1	後欠
3	40	31		[書状(断簡)](「眼病少々快、今日一戦試申度候所、御隙二候ハ、鳥渡御来臨被下度、所希御坐候」)	(近世カ)			状	1	後欠
3	40	32		[覚(断簡②)]	五月廿九日(近世)	覚吉	岩沼様・中畑様	状	1	3-27-7「覚(断簡②)」の「備考」欄参照。前欠
3	41			[食物考(零本)](版本。「補遺食療品」以降の丁残存)	(近世刊カ)	男直温誌、龍徳院小川汝菴法印(「忠実」印影印)、邨嘉平刻		冊	1	前欠
3	42			[勢至菩薩図]		陽堂(「川崎之印」)			1	
3	43			[猛虎図](画賛「猛虎一声百難消滅」)	昭和四十三年十一月吉日	七十翁・陽堂(「川崎」印)(「陽堂」印)			1	
3	44			[女達磨図](画賛「寿」)	昭和四十三年元旦	七十翁・陽堂(「川崎」印)(「陽堂」印)			1	
3	45			[達磨図](画賛「大師睥睨百難退散」)	昭和四十七年元旦	陽堂(印)			1	
3	46			[書幅捲り](「無事是貴人」(臨濟録))		(「双松之印」)(「武守」印)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	47			[諸文書書付] (①[伺書案]、②[古内氏系図] (古内主膳重広から源右衛門広業まで) ③[伺書(カ)案] ①~③を縦紙同一面に記載)	①(文久2年) 閏八月三日 ②③(近世)	①古内左近介 (古内広居)		状	1	前後欠
3	48			[伊達家歴代当主一覧表]	(最終記事は 慶応3年5月18日)			状	1	
3	49			毎山有春克己(折り詠草)				状	1	
3	50			失鶴(七言律詩)	(近世)	服元珪、稿 (「元圭」印) (「季璋」印)		状	1	
3	51			[漢詩詠草](七言絶句1首)	(文化7年1月24日の畑中白華死去以前)	藤白華(畑中白華)、九拜 (「君英」印) (「向英」印)	右奉寄懐南山尊者(瑞鳳寺14世住持)	状	1	
3	52			[書状(断簡)](本文は「之御仕合ニ御座候。御怡相急如斯御座候。恐惶謹言」とある部分のみ残存)	五月廿五日 (近世)	岩淵大之進種苗(花押)	中畑友五郎様	状	1	折紙端欠
3	53			[系図(断簡)](「男 大吉 男沢丈之進養子」以下兄弟姉妹6名)	(近世カ)			状	1	欠損大
3	54	1		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月) 廿一日発口(行)	(画) 呉春(「呉春」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	54	2		[山水図](印刷物)	全年全月(明治30年11月) 廿一日発行	(画) 元信(「元信」印)、画作印刷発行者・大阪市西区江戸堀北通五丁目七十四番屋敷・田中幸助			1	
3	55			菊(印刷)		(画) 山口蓬春			1	
3	56			[戸籍謄写](猪股伝治、相原常蔵、菅井伊七など)	(明治7年)			状	1	前欠
3	57			[古内氏系図(断簡)](古内広敬・広孝・広寛各夫妻戒名、中村定国などを含む古内氏系図断簡)	(近世)			状	1	欠損大
3	58			[阿保原地蔵尊覚](刈田郡三沢村阿保原地蔵尊への行程など)	文久二稔二月十七日			状	1	
3	59			[中畑仙止郎戸籍抄本]	明治四拾年七月十八日	仙台市戸籍吏・和達孚嘉 (「仙台市戸籍吏印」)		状	1	
3	60			[給与状](「金五円 右金慰労手当トシテ給与ス」)	明治廿四年十二月十六日	岩沼郵便局 (「陸前国岩沼郵便局」印)	書記中畑清治	状	1	
3	61			目録(「悪疾録予防事務及村会開設中役場事勸励ノ掌(賞カ)」、「十五年度村会開設中出仕弁当料」など)	(明治)十五年九月	戸長・相原致遠	筆生・中畑清治殿	状	1	
3	62			明治廿六年十二月現在第弐区戸数調(表題に関する記載無し。太田やいの戸籍関係情報記載)	明治廿六年十二月			状	1	「宮城県名取郡岩沼町役場」罫紙使用。
3	63			[漢詩詠草](七言古詩1首)	(近世)	宣明禅徒遊方象降(カ)秀納草(印)(印)		状	1	
3	64			[語訓覚書](帰去来辞の語句など)	(近世)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	65			〔書状〕(「先達而中万端御役介様、加之御品物等拝借被仰付上、難有仕合、御礼難筆紙尽奉存候」など)	四月十九日 (近世)	宗潤、拝	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	66			〔願書案〕(部分的省略あるも3-125-5〔願書案〕とほぼ同文)	(慶応元年五月カ)	古内左近介 (古内広居)	大条孫三郎殿、大内縫殿殿、片平大丞殿、下郡山下野殿	状	1	
3	67			〔包紙カ〕(上書き「御供御直会」)	(近世カ)			状	1	
3	68			〔古内広孝直書(断簡②)〕	文月十一日 (文政元年以前)	広孝(古内広孝)	伊藤繁右衛門殿	状	1	3-69〔古内広孝直書(断簡①)〕の「備考」欄参照。
3	69			〔古内広孝直書(断簡①)〕(「今般 御両親様より被仰付、吉田快順態々為御登被成下」など)	(7月11日、文政元年以前)	(古内広孝)	(伊藤繁右衛門)	状	1	本来3-69、3-68の順に重ねられていたもの。
3	70			〔古内広賢直書(カ)〕(「同役続兼候義二付内談之趣過頃有之、得意申談置、猶又取計引続候様可致候者也」)	(文政13年カ)十二月十八日	(古内広賢カ)	中畑友五郎殿	状	1	
3	71			奥州中井郡騒動村惣珍事素破大明神御実粥(戯書。)	(近世)			状	1	
3	72			〔披露状〕(「旦那様御始、皆々様へ「暑中御機嫌伺申上度、如斯御坐候。御序を以宜被仰上被下度御頼仕候」など)	六月十七日 (文政5年～安政5年)	清水道看直 (清水直良) (花押)	中畑友五郎様、御詰合様中、人々御中	状	1	
3	73			〔書状〕(「朶雲、難有拝読」、「如高諭之、当年者諸国変事多相聞得候処、御国許者別而之候事も無御坐候」など)	七月十五日 (近世)	東作(菱沼東作カ)、拝	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	74			〔書状〕(「将節かひ丹一反、今日幸便二付為相登候間、又々以染方御注文奉願候」)	十二月十九日 (近世)	岩沼・千葉伝之助、拝	仙御屋敷・中畑友五郎様	状	1	
3	75			〔書状〕(「御紙面被成下拜見」、「将、五丁めえ之紙面、早速御届被成下候由、難有仕合奉存候」など)	八月廿一日 (近世)	大泉源太左衛門、拝	中畑友五郎様	状	1	
3	76			〔書状〕(「当年分 御年鑑差上候内、殿様御事、土性ニ為在候ヲ水性ニ書認差上候二付」)	正月廿五日 (近世)	和光院	中畑友五郎様	状	1	
3	77			〔申達状〕(「中山甲蔵病死二付、同人存生中、御馬御相手等ヲ始諸事深切ニ勤仕申上候二付」)	六月十三日 (近世)	仙より・横田四郎衛	岩沼二而・中畑友五郎様	状	1	
3	78			〔申達状〕(「私義、過ル廿六日評定所え罷出候処、一遍御糺之上、不調法と相心得候様被仰渡」など)	二月廿七日 (近世)	仙御屋敷・大泉今朝之介	岩沼・中畑友五郎様、窪田三郎左衛門様	状	1	
3	79			〔書状〕(「先達而者御来尋、其上何寄之品々御恵贈被下、多謝之至候」など)	四月朔(弘化元年以前)	菊隠翁(志村篤治、志村弘強)	中畑賢契(中畑友五郎)	状	1	
3	80			〔申達状〕(「呉座包壺つ」など2品「太神宮え之御献納物御補之上、白石御代参之者え被相頼候二付」)	正月廿五日 (近世)	只野欽吾(只野克己、禰齋)	中畑友五郎様	状	1	
3	81			〔書状〕(「横沢様御知行方一件」について)	九月廿六日 (近世)	忠左衛門(菊地忠左衛門カ)、拝	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	82			〔書状〕(「ゑな治事二付而八万端御世話被成下、巨有仕合奉存候」など)	十二月十九日 (近世)	七尾柳格	中畑友五郎殿	状	1	
3	83			〔書状〕(「伊藤様御閨室様御病氣之よし」など)	十二月十九日 (近世)	国分町・中村源五右衛門	中幡友五郎殿(中畑友五郎)	状	1	
3	84			〔申達状〕(「大友松秀老、此度御供二而被罷下候二付」など)	九月廿日(近世)	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	
3	85			〔申達状〕(「泰寿院様御事御病死被成置候二付、徴粧院様・若殿様御忌服之義委曲被仰下、承知仕候」)	(文久2年)九月十三日	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	年代比定は3-35-3〔申達状〕「備考」欄参照。

中畑善策氏所蔵資料目録

3	86	1		[申達状](「御徒組洞口運五郎義、自分遠慮罷在候段今朝御伝仕置候処、高橋六左衛門方より別紙<3-86-2[申達状]>之通申来候間、向後之義被仰含候様可被為御吟味致御通達候」など)	(戊年、文久2年カ)六月廿日	友五郎(中畑友五郎)	伝之助様(千葉伝之助)、(合点)章九郎様(八木章九郎)、(合点)清之進様(伊藤清之進)	状	1	3-35-7[上達状]の「備考」欄参照。
3	86	2		[申達状](3-86-1[申達状]に言及される「別紙」。「御徒組洞口運五郎義」など。)	(戊年、文久2年カ)六月廿日	高橋六左衛門	中畑友五郎様	状	1	3-35-7[上達状]の「備考」欄参照。
3	86	3		[申達状2通貼継](①「別紙<本史料②>」之通高橋六左衛門申聞候之所、洞口運五郎について。②「今日、於見衛様御事、樫沢不動尊え御参詣二付御徒組壺人御供立二被召仕候二付、焼<暁>正七つ時前二罷出候様首尾罷成度申達候処、右御徒組洞口運五郎」について)	①(戊年、文久2年カ)六月廿日 ②(戊年、文久2年カ)六月十九日	①友五郎(中畑友五郎) ②高橋六左衛門	①(合点)伝之助様(千葉伝之助)、(合点)章九郎様(八木章九郎)、(合点)清之進様(伊藤清之進) ②中畑友五郎様	状	1	3-35-7[上達状]の「備考」欄参照。
3	87			[郵便貯金宣伝]				状	1	
3	88			[包紙](上書き「南町方人足面附入 仕口共二入」)	(明治カ)			状	1	
3	89			[願書案](「古内要人義、当何拾何才罷成候処」、「養方之弟同氏亀吉」への相続について。)	(天明2年以降)			状	1	裏打ちあり。後欠
3	90			[仰渡書写](「右惣平家之棟木二先祖代々箱入候而其上二幾重二も包、終二不為披見、棟木二結付置候処、此度切落見候得ハ、左之書付有之」。)	(寛政八年被仰渡)		奥州会津油田村御代官所百姓惣平	状	1	文中の「左之書付」とは文治4[1188]年4月18日付の源義経蝦夷渡りに関係する偽文書写
3	91			[申達状](「今日御茶道方御道具遜渡相成候所」)	六月九日(近世)	境茂右衛門	中畑友五郎殿	状	1	
3	92			[申達状](「泰寿院様御事」、「御大切之御場合被為成候二付」)	(文久2年)九月十一日	米谷屋敷・安倍与五右衛門	岩沼御屋敷・横田四郎兵衛様、御詰合中様	状	1	
3	93			[申達状](3-135-2-20[申達状]に言及のある「別紙」。「泰寿院様御事」「今十一日朝五つ半時御死去被成候間」)	(文久2年)九月十一日	米谷屋敷・安倍与五右衛門	岩沼御屋敷・横田四郎兵衛様、御詰合中様	状	1	
3	94			[書状](「于時、弥過ル十五日鬮開二相成候処、小子鬮高二相成、御世話被成下候甲冑、直々請取、飾方仕、自分着用之部と心得候得者、又々一入色増り悦喜罷有候」)	十月十七日(近世)	岩・伊藤為輔	仙・中畑友五郎様	状	1	
3	95			[申達状](「高泉源三郎様御母泰寿院様御事、御病氣之処、御薬用不被為叶、今十一日御死去被成候二付」)	(文久2年)九月十一日	石森屋敷・平田歎太夫	岩沼御屋敷・横田四郎兵衛様、御詰合中様	状	1	
3	96			[申達状](「小十郎様御事、御忌中為御知相成居候所、今十二日御忌御免被為蒙仰候間」について)	九月十二日(近世)	白石屋敷・高橋五郎兵衛(白石領主片倉家中)	岩沼御屋敷・横田四郎兵衛様、御詰合中様	状	1	
3	97			[書状](「昨日者御道中無御滞朝五半時頃 御着、御上下共二無別状罷在申候間、御安慮被成下奉願上候。」など)	七月十日(近世)	中畑貞次	中畑友五郎様	状	1	
3	98			[書状](「於かね様一際緩々御物語可仕勘弁ヲ以罷出候而、盃頂戴過、前後相相失程二相成、半途二申上候趣、御承知被成下候哉。」など)	八月廿五日(近世)	元支倉より、拝	壺丁目頭様(古内氏)	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	99			[古内氏直書(断簡②)]	正月四日(近世)	(古内氏)	(伊藤茂左衛門)	状	1	3-40-4[古内氏直書(断簡①)]の「備考」欄参照。前欠
3	100			[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き「友五郎」)						
3	101			[書状](「其御許え御貸附金御返納方相滞候二付」など)	四月十三日(弘化2年以前)	片岡内膳光行(花押)、田村采女勝亮(花押)、山村主水寛近(花押)	古内主膳様(古内広保)	状	1	
3	102			[申達状](「此度甲冑新製御取立御世話被成下候二付、製造之志有之輩者聊宛之溜金被仰付」)	十月五日(近世)	岩・伊藤為輔	仙・中畑友五郎殿	状	1	3-94[書状]と関連。
3	103			[申達状](「高泉源三郎様御母泰寿院様御事、御薬用不被為叶、今十一日朝五つ半時御病死被成候に付」)	(文久2年)九月十一日	飯野川御屋敷・菅間求馬	岩沼御屋敷二而・横田四郎衛様、御詰合中様	状	1	
3	104			[申達状](「清水道幹老え之 御直書御壱封被相出候二付被相登、昨日横田善吉ヲ以遣申候処、道幹老留主之由二而不分二有之」など)	九月十三日(文久2年以前)	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	
3	105			仙台府大守公御法号写(伊達家初代伊達朝宗から安政5年4月22日没の伊達齊義生母真明院までの年代の者を記載)	(安政5年4月22日以前)			状	1	
3	106			五郎右衛門様より二雪様江之御状之内写(蝦夷地までの道中見聞)	安政三丙申五月八日之到着也	(五郎右衛門)	(二雪)	状	1	
3	107			[戯書](「此度蝦夷地御拝領二付鯛献上目録左二一、伊予御吟味を止させ鯛」などとあり)	(安政6年頃カ)			状	1	
3	108			[和歌](「除夜」、「酉年試筆」、「癸酉年の大小月毎によめる」、「神祇」の4首)	(癸酉、文化10年)	七十四老・令盛(振り仮名「リョウセイ」)		状	1	腐食
3	109			覚(写。「此度別段之金御節儉御取締被仰出候義ハ委曲御書立之通二候処」の一文のみ残存)	(近世)	次郎左衛門	主水様、勘解由様、弘見様(古内広賢)、大隅様	状	1	後欠
3	110			[婚儀式次第書]	(近世カ)			状	1	前欠
3	111			式斗八升入塩二而万漬肴交数御定	卯ノ正月	菅野五平次、只長兵衛		冊	1	
3	112			増脩 改正和漢年歴箋(版本)	嘉永二己酉年正月増補再刻	東都書林・千鐘房発兌		冊	1	昭和44年までの年歴書き継ぎなど補記あり。
3	113			村々掃除控(岩沼郷・堀内・本郷・小川・長岡・三返吉・小長谷6ヶ村の「御掃除并堀垣請取丁場」)	(明治22年4月1日の町村制施行以前)			冊	1	
3	114			婚礼推諫記(写本)				冊	1	
3	115			安永六丁酉年九月より 諸覚書(物成割極めを記す)	安永六年九月	片平清左衛門重判、中畑左角(中畑種良)重判、千葉庄兵衛重判、佐藤長右衛門重判		冊	1	
3	116			武家肇要(内題:掌中 武家肇要。版本)	文政十亥冬			冊	1	奥付書入れ「天保九年二月 伊藤丈太夫良(花押)」。
3	117			御軍用御定 全(内題:御軍用御定纏符附。写本)	安政六未歳於仙府写之、享保拾六辛亥歳改正写之			冊	1	奥付書入れ「中畠持用」。また、全文抹消のかたちで「安政六未歳於仙府写之 中畠性(姓カ)(中畑貞次花押)」。
3	118			[書札礼書](写本)	(近世)			冊	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	119				〔ノート〕(「明治5年太政官布告の学制区」および「石川文書ニ就テ 東北学院大学教授大石直正先生」に関して)				冊	1	「NOTE BOOK」(製作会社未詳)を使用。下半分裁断
3	120				〔仙台藩戊辰戦争敗戦後記録〕	(記載内容:明治元年7月~10月15日)			冊	1	
3	121				震旦国年代記抜書(写本)	(近世写)			冊	1	
3	122				〔漢詩詠草〕(「登愛宕山即草」の七言絶句1首)	(明治元年11月27日の志村退蔵死去以前)	味菴(志村味庵、志村退蔵、志村利安)、草		状	1	
3	123	1			〔封紙〕	(文久2年以降)	岩左京大夫(岩城左京大夫、岩城隆邦、出羽国亀田藩主)	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
3	123	2			〔封紙〕	(文久3年~慶応2年)	田内膳(田村内膳、田村栄顕、一関藩主)	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
3	123	3			〔封紙〕	(文久3年~慶応3年)	田内膳(田村内膳、田村栄顕、一関藩主)	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
3	123	4			〔封紙〕	(文久3年~慶応4年)	田内膳(田村内膳、田村栄顕、一関藩主)	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
3	123	5			〔封紙〕	(安政3年4月以降)	春日讃岐守、森但馬守、春日伯耆守	古内左近介様(古内広居)	状	1	
3	123	6			〔封紙〕	(安政3年4月以降)	進藤式部権少輔	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
3	123	7			〔封紙〕	(文久2年以降)	岩左京大夫(岩城左京大夫、岩城隆邦、出羽国亀田藩主)	古内左近介殿(古内広居)	状	1	
3	123	8			〔包紙〕(上書き「金貳両 但改正八枚也」)	(近世)			状	1	
3	123	9			〔封紙〕	(近世)			状	1	
3	123	10			〔包紙〕(上書き「御召麻上下 一具」)	(近世カ)			状	1	
3	123	11			〔包紙カ〕(上書き「寸志寸情印迄御慰御(書きかけの一字(貝偏)あり)」)	(近世カ)			状	1	
3	123	12			〔包紙カ〕(上書き「阿ら玉」)	(近世カ)			状	1	
3	123	13			〔未使用罫線紙〕				状	1	
3	123	14			〔包紙〕(上書き「御供御直会」)	(近世カ)			状	1	
3	123	15			〔包紙〕(上書き「御肴料二十疋」)	(近世)			状	1	
3	124	1			〔紙片〕(赤ボールペン書きの上書き「古内家関係」)				状	1	
3	124	2			〔願書案〕(「当 御下向之節御模様次第居館外廻り被遊 御覧、家作修理覆等之儀者何分相扣候様被 仰出候被段被仰渡候二付」)	安政三年四月	古内長十郎(古内広居)	片倉小十郎殿、高泉筑後殿、芝多対馬殿、大町因幡殿、後藤孫兵衛殿	状	1	
3	124	3			〔願書案〕(「伊達主殿殿後妻二私養方之妹縁組仕候様被成下度奉願候」など)	(慶応2年以降)	(古内広居)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	124	4		[願書案] (「私儀、宅御用御免被成下度奉願候」。江戸勤番中当6月中旬から臍の腫物につき御番医師御近習小川内玄的・菅野淡水、小川草延家中千葉草信らの療治を受けた旨を記す)	(近世)				状	1	
3	124	5		[願書案] (「私儀内用有之、来ル九日より同十三日迄日数五日、在所岩沼え御暇被成下度奉願候」)	元治二年二月	古内左近介 (古内広居)	大条孫三郎殿、大内縫殿殿、片平大丞殿、下郡山下野殿、但木土佐殿(全員にかかる抹消線あり)		状	1	
3	124	6		[願書案] (3-124-2[願書案]とほぼ同文)	安政三年四月	古内長十郎広居(花押)	片倉小十郎殿、高泉筑後殿、芝多対馬殿、大町因幡殿、後藤孫兵衛殿		状	1	
3	124	7		[願書案] (「来月十二日、於松嶋 義山様式百回御忌御法事之砌、私家中家老指次用人木名瀬正太夫・中山藤吾・鈴木簾蔵儀、乍恐自分押被 仰付候之様被成下度奉願候」)	安政四年六月	古内左近介広居(花押)	片倉小十郎殿(片倉宗景)		状	1	
3	124	8		[願書案] (「私儀、当 御留主江戸吉ヶ年番登被仰付、来ル廿九日発足罷登候二付」)	安政五年二月	古内左近介 (古内広居)	早川三弥殿		状	1	
3	125	1		[ハترون紙製封筒] (上書き「フェルトペン書き」縁組遣状「ボールペン書き」[抹消「友五郎」] 浜警備試射願及金納二升相場以被入ノ儀免除願)						1	
3	125	2		[願書案] (「私儀、先年より名取郡笠嶋村并北目村・小川村・長岡村右四ヶ村之内境塚を以御預野被成下居候処」について)	(近世)	(古内氏)			状	1	
3	125	3		[願書案] (「私儀、催合米上納之分、前々より十一月頃市中相場より式升物ヲ以年々金直上納仕候処」について)	慶応二年十二月廿日	古内左近介広居(花押)	大内筑後殿、片平大丞殿、下郡山下野殿、但木土佐殿、坂英力殿		状	1	
3	125	4		[願書案] (「私儀、家中共え名取郡蒲崎浜・長谷釜浜・二ノ倉浜、右三ヶ浜海岸通於沙場、当寅ノ年より来ル辰ノ年迄三ヶ年之間、四月より七月迄、年々月々度宛大銃討試仕候義御免被成下度奉願候」)	慶応二年三月	古内左近介 (古内広居)	大条孫三郎殿、大内縫殿殿、片平大丞殿、下郡山下野殿		状	1	
3	125	5		[願書案] (「私儀、家中共え名取郡蒲崎浜・長谷釜浜・二ノ倉浜、右三ヶ浜海岸通於沙場、此末四月中より七月迄、月二巻両度宛大銃礮討試仕候儀被成下御免度奉願候」)	慶応元年五月	古内左近介 (古内広居)	大条孫三郎殿、大内縫殿殿、片平大丞殿、下郡山下野殿、但木土佐殿		状	1	
3	125	6		[願書案] (「私儀、家中共え名取郡蒲崎浜・長谷釜浜・二ノ倉浜、右三ヶ浜海岸通於沙場、当卯ノ年より来ル巳ノ年迄三ヶ年之間、四月より七月中迄、月二巻両度宛大銃礮討試仕候御免被成下度奉願候」)	慶応三年三月	古内左近介 (古内広居)	大内筑後殿、片平大丞殿、下郡山下野殿、坂英力殿、但木土佐殿		状	1	
3	125	7		[縁組賞状返書案] (「貴様御嫡子御同苗作左衛門殿御妻二、私養父方之妹愛事」について)	三月十九日 (近世)				状	1	
3	125	8		[縁組賞状返書案] (3-126-9[縁組賞状]傍記に対する返書。)	十一月七日 (近世)	(中畑友五郎 花押)	(堀田左治馬)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	125	9		[縁組賞状返書] (「貴様御嫡子要之助殿妻二、私姉喜代治」について)	月日	(端裏上書き) 千葉亀三郎定俊、(本文) (花押)	後藤又十郎様	状	1	
3	125	10		[縁組賞状] (「貴様御姉お元殿、私嫡子同氏秀之助妻二、市川竟殿御媒ヲ以、御内々御縁組致候処」について)	十一月十八日 (近世)	(端裏上書き) 横沢伝左衛門行恒、(本文) (花押)	古田山三郎様	状	1	
3	125	11		[縁組賞状] (「今般、以岩渕英喜殿御媒酌、貴様御妹おきく殿、私息同苗大吉妻二御縁組之事」について)	四月十四日 (近世)	(端裏上書き) 真山健蔵、(本文) (花押)		状	1	
3	126	1		[紙縫紐]					1	
3	126	2		[披露消息案] (「先々於佑様、ますます御機嫌よく被為入候御事」「此頃年賀のしうぎとゝのへ候二つき」など)	(安政6年以前)	御名許	やそ瀬さま、富江さま、人々御返事	状	1	
3	126	3		[消息] (「於佑様揃せられ益御機けん克入らせられ候御事」「貞鏡院事、頃日不快のよし聴せられ」など)	(安政6年以前)	園田(伊藤謙治良英妻)	百尾様、人々御返事	状	1	
3	126	4		[願書案] (「高沢弥市右衛門、当七拾八歳ニ罷成、不仁之症相煩、当正月十六日病死仕候」のため「養子同姓千治」の相続について。千治の養子の経緯につき記載あり)	天保七年三月七日	吉田俊作勝願(印)(花押)、伊藤謙治良(伊藤良英) (「干」印)(花押)	恭蔵殿(伊藤恭蔵)、欽治殿、忠太左衛門殿	状	1	
3	126	5		[願書] (「拙者義、御留守居御役并奥方勤仕、御免被成下度奉願候」など。去年10月からの履歴記載あり)	天保九年十二月十九日	伊藤謙治良英(「干」印)(花押)	恭蔵殿(伊藤恭蔵)、欽治殿、忠太左衛門殿	状	1	
3	126	6		[漢詩等習作]	(近世カ)			状	1	
3	126	7		九日御上府方(「御賄役吉人」など人員書上げ)	(9日、近世)			状	1	
3	126	8		[雑筆] (書状の書きかけ及び中畑貞次を含む9名書上げ)	(近世)			状	1	
3	126	9		[縁組賞状] (「今般、大友東吉殿(傍記「小丸五郎左衛門殿」)御取持ヲ以、貴様御妹於胞殿(傍記「中畑友五郎」養女お千代殿)、私倅基三郎(傍記「二男秀達」)妻二致御縁組、今日就吉辰賞状如此二御座候」)	四月十日(近世)	(端裏上書き) 小丸五郎左衛門、堀田佐治馬良彦・良康(本文の傍記に対応)、(本文)実光(塗抹)(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	127	1		[紙片] (片面に墨書きの上書き「富士和良比呂」、もう片面に赤インクでの上書きでの「友五郎お役御免願」とあり)				状	1	
3	127	2		[願書] (「拙者儀、御小性組定詰御免被成下度奉願候」。安政6年1月からの履歴記載あり)	文久三亥年正月十一日	沼倉富蔵胤(印)(花押)	千伝之助殿(千葉伝之助)(印)、中友五郎殿(中畑友五郎) (「専」印)、八章九郎殿(八木章九郎)(印)、伊清之進殿(伊藤清之進) (「祐」印)	状	1	
3	127	3		[縁組賞状返書] (「今般、斎藤徳五郎殿御取持を以、私実弟同苗仙止郎儀、貴様御養子御家督、就吉辰御縁約いたし候」など)	八月十三日 (近世)	(端裏上書き) 中畑貞次種昌、(本文) (中畑貞次花押)	菊田三九郎様	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	127	4		[披露状] (「若殿様御事、御道中無御滞被遊 御着、益御機嫌克可被遊御坐、恐悦至極之御義奉存候」など)	二月三日(近世)	八木章九郎勝有(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)磯村篤治信計(花押)	磯村篤治様。(裏書き)中畑友五郎殿、八木章九郎殿	状	1	
3	127	5		[披露状] (「徴粧院様・奥様御事、御道中無御滞被遊 御着、益御機嫌克可被遊御坐、恐悦至極之御義奉存候」など)	二月三日、(裏書き)二月四日(近世)	八木章九郎勝有(花押)、中畑友五郎種良(花押)。(裏書き)我妻権左衛門直氏(カ)(花押)	我妻権左衛門様。(裏書き)中畑友五郎殿、八木章九郎殿	状	1	
3	127	6		[願書案] (3-29-30[願書案]とほぼ同文)	(慶応3年8月22日)	(中畑友五郎)	(古片専蔵、只野欽吾、横田四郎兵衛、岩淵大之進、境茂右衛門)	状	1	
3	127	7		[願書案] (3-135-2-56[願書案]とほぼ同文)	文政十三年十二月六日	中畑友五郎種良(「藤」印)(花押)	大秀助殿、八数佐殿、横東輔殿	状	1	
3	127	8		[願書案] (「中畑左角、当五拾壹歳ニ罷成、傷寒之症相煩、当六月廿五日ニ病死仕付」 「聳養子同性(姓)友五郎」への相続について)	天保四年三月十七日	高沢弥一右衛門孝宣(「高」印)(花押)、千葉十右衛門胤(「胤カ」口)印)(花押)	八数佐殿、(合点)恭蔵殿(伊藤恭蔵)、横東輔殿	状	1	
3	127	9		①[包紙] (上書き「八ノ十六消毒 古内様御丸薬一日ニ巻包みつゝ御用」) ②[願書案] (①と同一面に記載。「拙者義、夫婦定詰御免被成下、隠居被 仰付度奉願候」。嘉永4年以來の履歴・病歴あり)	①(近世) ②(慶応3年)	②(中畑友五郎)		状	1	
3	127	10		[披露状案] (3-135-2-66[披露状]と同文)	(嘉永2年5月)			状	1	
3	127	11		①[暑中見舞状] ②[封紙] (①の裏に記載。同一差出・宛名が2ヶ所に記される)	①六月 ②(近世)	①中畑貞次種(中畑貞次種昌)(花押) ②從岩沼・中畑貞次	①斎専三郎様(斎藤専三郎) ②仙御屋敷二而・中畑友三郎様	状	1	
3	127	12		[封紙]	(近世)	大泉源太左衛門親章	中畑友五郎様	状	1	
3	127	13		[縁組賞状返書] (「貴様御子息御同苗貞治殿御妻ニ拙者姉ます事」について)	十二月五日(近世)	(花押)		状	1	
3	127	14		[目録] (「御帷子 一かさね」など7品書上げ)	(近世)	なかはた左角		状	1	
3	128	1		目録(藁半紙にボールペン書きで「元治元年十一月 箱根関所御番衆御中 古内左近介」ほか5点を記載)				状	1	
3	128	2		[関所通行手形] (「輕馬 式疋」、「宰領 式人 右之通 近衛様え献上荷物、指札之通為相登候ニ相違無御座候。其許 御関所無御相違御通可被下候」)	元治元年十一月	松平陸奥守内・古内左近介(古内広居)	箱根・御関所・御番衆御中	状	1	
3	128	3		[御判紙頼状案] (「子籠鮭 式尺 呉座包指札之通 宰領式人 右之通越河御境目被相通、御判紙被相出可預候。近衛様え献上仕候に付如斯御座候」)	文久元年十一月	古内左近介(古内広居)	御勘定奉行衆	状	1	折紙一部切り取られ欠
3	128	4		覚(「近衛様え御献上子籠産包箱 壱ツ」など7品目受取証)	天保三年十二月	御用足・伊勢屋清右衛門(「寿」印)、同・只野甚右衛門(印)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	128	5		京大坂賃金附	(追筆「安政六」未ノ十一月十七日	島屋・佐右衛門(「奥州仙台<ヤマ中>嶋屋」印)	上	状	1	
3	128	6		覚(「近衛様え献上呉座包巻つ」など7品目受取証)	天保貳年十二月八日	大町三丁目・伊勢屋清右衛門(「寿」印)、右清右衛門後見・只野甚右衛門(印)		状	1	
3	129	1		[紙片](フェルトペン書きの上書き「友五郎宛 必要なし」)				状	1	
3	129	2		[包紙](上書き「若木山法楽御祈禱御守札」)	(近世)	別当・石宝院	中畑友五郎殿	状	1	
3	129	3		[表彰状](「大正九年度納税成績良好ナルヲ以テ」織物巻反ヲ贈与シ之ヲ表彰ス)	大正十一年二月十一日	岩沼町・中畑はる	岩沼町長勲八等古内省三郎(「宮城県名取郡岩沼町長之印」)	状	1	
3	129	4		[日用品名書付](「竈爐、銅壺、葉罐、鉄瓶、飯櫃、搦鉢、柄杓」とあり)	(明治カ)	高等科第二学年・松崎まつ枝		状	1	
3	129	5		[断簡カ(写カ)](蘆東山の名のみ記載)	(近世)	貴明山下幽叟・蘆徳林(蘆東山)(花押)		状	1	前欠カ
3	129	6		[屈原「哀郢」]				状	1	
3	129	7		[覚書き](3-129-4[覚書き]と同文)	(明治カ)	高等科第二学年・松崎まつ枝		状	1	
3	129	8		[朱子家訓(断簡)](「奴僕不可不恤。守我之分者理也、聴我之命者」とある部分のみ残存)				状	1	前後欠
3	129	9		[朱子家訓(断簡)](「奴僕不可不恤。守我之分者理也」とある部分のみ残存)				状	1	
3	129	10		[往来物写]	(近世カ)			状	1	
3	129	11		[朱子家訓(断簡)](「讐將以義解之、怨須」とある部分のみ残存)	(近世)			状	1	後欠
3	130	1		[書状手習]	(近世カ)			状	1	
3	130	2		[書状](桜田門外における井伊直弼襲撃者の御預け等について報知)	(万延元年)閏三月廿六日	柴田栄之丞	横田民次様	状	1	後欠
3	130	3		[申達状](「殿様御事、明九日夜之九つ時 御召出ニ而被遊 御上府候御都合ニ付、各右御供心懸申渡置候条、其御心得可有之候」)	九月八日(近世)	中畑友五郎	瀧沢逸平殿(「静」印)、鈴木弥平殿(印)、中畑貞次殿(印ナシ)、渡辺若介殿(印)、(後欠)	状	1	後欠
3	130	4		[廻状](「殿様御事御復名相成候由如御別紙被相渡候間、為御承知之、御廻仕候」)	五月廿日(近世)	友五郎(中畑友五郎)	嘉作様、喜平治様(八木喜平治)、吉六様	状	1	
3	130	5		閑上浜え御警衛人数面附調左ニ(渡辺安右衛門ほか20名)	(慶応4年)辰ノ八月			状	1	
3	130	6		[人員書上(断簡カ)](「御足軽 四拾人」など「〆五拾三人」書き上げ)	(近世)			状	1	
3	130	7		[達書写](「堀田備中守殿御渡御書付、池田播磨守より到来」。6月13日のアメリカ船下田来港を始めとする外国船来港について)	(安政5年)六月十八日	(堀田備中守正睦)		状	1	
3	130	8		[ハترون紙製封筒](フェルトペン書きの上書き「維新史関係」)					1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	130	9		[書状(断簡)](本文は「御直書拝呈申候。尤御請ニハ不及被 仰出候」とある部分のみ残存)	(近世)	□□□□覚	□為(カ)右衛門□	状	1	破損大
3	130	10		[免職状](「依願備ヲ免ス」)	明治廿四年十二月十六日	岩沼郵便局(「陸前国岩沼郵便局」印)	書記中畑清治	状	1	「岩沼郵便局」罫線使用。
3	130	11		[達状](「御仮屋え 参謀衆御寓ニ付」など)	(明治元年)十月卅日	中友五郎(中畑友五郎)	只野発治殿(印)、伊藤豊一郎殿(印)、中山平左衛門殿(印)	状	1	
3	130	12		[達状](「今廿八日、参謀衆 御城え御当<到>着之由ニ付」など)	(明治元年)十月廿八日	中友五郎(中畑友五郎)	大内新三郎殿(印)、伊藤清一郎殿(印)、須藤軍平(印)、荒丈助殿(「重徳之印」)、鈴木円治殿(印)、八木有四郎殿(印)、八木五郎左衛門殿(印)	状	1	
3	130	13		[古内氏・上使対面次第書(断簡)]	(10月6日、近世)			状	1	
3	130	14		[申達状](「館林御人数滞陣中御人出入判被相渡置候分」について)	(明治元年)十月廿八日	友五郎(中畑友五郎)	(合点)喜平治様(八木喜平治)、(合点)音人様(鈴木音人)、(合点)順五郎様(高橋順五郎)	状	1	
3	130	15		[申達状](「改正紙札八切也 右之通御稽古料之内ニ而為相登候様被仰下、致承知候」など)	正月廿三日(近世)	岩沼・鈴木山之輔	仙二而・中畑友五郎様	状	1	
3	130	16		[申達状](「今廿八日、参謀衆等 御城え御当<到>着ニ付」など)	(明治元年)十月廿八日	横田民治	岩・中畑友五郎様、御用前様中	状	1	
3	130	17		[申達状](「館林御人数滞陣中、御人出入判鑑壹枚相見得申候処、貴兄方御始末被下間敷哉。御問合仕候」)	(明治元年)十月廿八日	友五郎(中畑友五郎)	(合点)勘之輔様、正順様、今朝松様	状	1	
3	130	18		[申達状](「殿様御事御復名御伺御差出相成候之処、如御別紙之御附札を以御差図相成候間、其御心得可有之候」)	五月廿日(近世)	伝之助(千葉伝之助)	中畑友五郎殿、御用前中	状	1	
3	130	19		先触(「明朔日為浦々廻勤之、武頭壹騎、同朝明六つ時岩沼発起、閑上浜より藤塚浜・井戸ヶ浜・荒浜迄相出被申候条、兼而之通案内并肝入在宿之首尾可預候」)	嘉永三年三月晦日	古内弘見(古内広賢)内・中畑友五郎(「藤」印)	右三ヶ浜(塚浜、井戸ヶ浜、荒浜)・肝入衆中	状	1	
3	130	20		[達状](「来ル十五日海岸方御用ニ而、同役逸平義出張ニ付」など)	五月十二日(近世)			状	1	前欠カ
3	130	21		調書(盗み取られた「三升炊鉄羽釜壹つ」など8品目書上げ)	(天保9年4月晦日)			状	1	
3	130	22		[申達状](「昨廿六日、監軍衆、西洋銃隊見分被致度候段被仰越候ニ付」など)	(27日、明治元年)			状	1	後欠カ
3	130	23		[宮城県陸前国阿武隈川調書]	明治十六年十一月四日	名取郡岩沼本郷戸長平田久之進代理・筆生中畑清治		状	1	やや破損
3	130	24		[申達状](「御仮屋え 参謀衆御寓ニ付」など)	(明治元年)十月卅日	横田民治	中畑友五郎様、御詰合中様	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	130	25		[達書]「大政御一新二付」など。慶長金等金・ 銭と通貨の交換割合表あり)	明治元(マ) 辰年閏四月	大政官		状	1	
3	130	26		[娼妓に関する定約様式書]	(明治)			状	1	
3	130	27		東京城日誌之内十二月七日御布告写(陸奥・出 羽両国の分割の布告)	(明治元年)12 月7日			冊	1	
3	130	28		[達書]「今廿八日、参謀衆等 御城え御当 (到)着之由二付」など)	(明治元年)十 月廿八日	中友五郎(中 畑友五郎)	伊藤豊一郎 殿、中山平左 衛門殿	状	1	
3	130	29		[達書(断簡)]「(前欠)之盗賊[]間之[]忍入候 ものと相見得、右壁者地上え倒シ置、同所板戸 も取離シ置出入仕候容子二而」など)	四月晦日(近 世)	中畑友五郎		状	1	前欠・破損
3	130	30		[願書]「明十七日浦々為御廻勤之、御武頭様 御参騎、岩沼御発起、藤曾根浜より相野釜浜・ 北釜浜・関上浜迄御出役被成置候間」の藤曾根 について)	(嘉永2年カ) 酉五月十六日	下野郷村肝 入・彦三郎	中畑友五郎様	状	1	
3	130	31		両点千字文 全 (写本)	明治十年五月 廿六(写)	中畑左角移 (写)シ		冊	1	裏表紙書入れ「宮城県管下陸前国 名取郡 岩沼新小路 中畑左角 (印)所持用」。
3	130	32		男女一代八卦 (刷物)	明和庚寅(七 年)補益而為 新刻			冊	1	奥に書き入れ「寛政四年季冬廿五 日」。
3	131	1		[法帖](顔真卿「一行帖」)				状	1	
3	131	2		[漢詩詠草]「春雨遊永岩寺即草」の七言絶句1 首)	(明治元年11 月27日の志村 退蔵死去以 前)	志村利安(志 村昧庵、志村 退蔵)、具		状	1	
3	131	3		[熨斗紙](上書き「のし寸志」)	(明治カ)	中畑久助		状	1	
3	131	4		[漢詩詠草](七言古詩1首)	(近世カ)		右呈中畑大人	状	1	
3	131	5		[和歌詠草]「伊藤おん氏の館へ朝な夕なまか り、いとおんむつましく脱カおんものかりいたし 侍りける故さとへ帰日、別れを惜して」詠んだ歌 1首)	水無月末の日 (近世カ)	成澄		状	1	
3	131	6		[書画寄書き]	(明治11年4月 8日の吉田菊 庵死去以前)	久吉(花押)、 菊庵(吉田菊 庵、吉田万)		状	1	
3	131	7		[書画寄書き]	(明治3年3月1 日の禰斎死去 以前)	禰斎(只野欽 吾、只野克 己)、将呂書、 菊庵(吉田菊 庵、吉田万)、 順斎書		状	1	
3	131	8		[書画寄書き]	(近世)	勇鬼、浮嶋主 人、房成、三 甫、重習館主 人(中畑友五 郎)、貫醉画		状	1	
3	131	9		[図画](月夜の枝に鳥。裏面にボールペン書き で「寄書其他」とあり)	(明治カ)				1	
3	132	1		[包紙](ペン書きで「遠藤速雄の仙台曆」。「菓 子のデパート・丸山)まるやま」の包紙)				状	1	
3	132	2		[1955年月めぐりカレンダー](遠藤速雄画。「皆 様の七十七銀行」の名入り。)	1955年	仙台 東北紙 工KK製版・印 行		冊	1	
3	133	1		[毛筆画帖(断簡)]「七ノ十四」第百四 文台二 灯台)	(明治24年12 月28日発行、 訂正再版は明 治26年8月19 日)	(筆者・手工科 研究会、発 行・普及社)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	133	2		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ十五」「第一百五 文箱」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	3		[毛筆画帖(断簡)](奥付)	同(明治廿四年十二月廿八日発行)	四谷区四谷北伊賀町一番地・彫刻・土山金蔵。(版權所有者)筆者・東京神田区中猿楽町六番地・手工科研究会(「手工科研究会之印章」)、など		状	1	
3	133	4		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ九」「第九十九 砧」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	5		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ十」「第百 簾 塵 払」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	6		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ三」「第九十三 太刀」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	7		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ六」「第九十六 軍配団扇二采幣」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	8		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ七」「第九十七 鉦」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	9		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ八」「第九十八 錠」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	10		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ十二」「第百二 瓦」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	一部切取られ欠
3	133	11		[毛筆画帖(断簡)](「七ノ四」「第九十四 折鶴二散り梅」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	一部切取られ欠

中畑善策氏所蔵資料目録

3	133	12		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ三」第八 鑿木槌)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	13		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ六」第十一 提煙草入)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	14		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ五」第十 ランプ 洋書)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	15		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ八」第十三 龍紋様)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	16		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ十四」第十九 冠笏)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	17		[毛筆画帖(断簡)](奥付)	明治廿六年八月廿九日 文部省検定済、同(明治二十六年)八月十九日(訂正再版)発行(同(明治二十四)年十二月廿八日出版)	筆者・東京神田区中猿樂町六番地・手工科研究会(「手工科研究会之印章」、など)		状	1	
3	133	18		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ十五」第二十 布袋和尚)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	19		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ十一」第十六 針箱)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	20		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ十二」第十七 起上りこぼし)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	21		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ四」第九 観世水静海波)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	133	22		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ十」「第百十五 紅葉」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	133	23		[毛筆画帖(断簡)](「八ノ十三」「第百十八 銀杏」)	(明治24年12月28日発行、訂正再版は明治26年8月19日)	(筆者・手工科研究会、発行・普及社)		状	1	
3	134	1		[紙縫紐]					1	
3	134	2		覚(「油紙包壺ツ」金2両1歩入など2件分請取)	酉三月十二日(文久元年以前)	仙台大町三丁目・京屋弥兵衛(「口」印)	中畑友三郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	134	3		[金子受取状](「油紙包壺ツメ九拾匁」金2両入など2件、2両・代64文請取)	辰十二月十二日(明治元年以前)	京屋・栄吉(「栄」印)	上	状	1	
3	134	4		[賃銭覚](金、銀、荷物1貫目の各運賃を記す)	三月六日(近世)	京屋・弥兵衛(「」印)		状	1	
3	134	5		[書状](「伊勢え為御登物被為有候二付京屋方賃銭之義」について)	三月六日(近世)	[](京屋弥兵衛カ)	中畑[](中畑友五郎カ)	状	1	前欠
3	135	1		[紙袋](墨書きの上書き「中畑家関係書類」)					1	「ピタバアレー 特選竹駒麦」袋の転用。
3	135	2	1	[紙袋](フェルトペン書きの上書き「中畑友五郎関係」)					1	
3	135	2	2	[陳白沙「五倫箴」夫婦箴]	(近世)			状	1	
3	135	2	3	[陳白沙「五倫箴」兄弟箴](「右方正学之四歳、父子・夫婦・兄弟・朋友」とあり)	(近世)			状	1	
3	135	2	4	[書状](「新規御井戸水御汲替被進度義二付」など)	七月二日(近世)	和光院	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	5	[申達状](「又々 御直書被相出候に付被相下、受取、奉拝見候。御書被成下候間、御請者不申上候」)	七月三日(近世)	岩沼より・古片専蔵	仙二而・中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	6	[書状](「清之助様御事、正月十四日より御城御当番之御都合二候間、同月九日頃爰許御発足二而御登仙被成候訳二御坐候間」など)	極月廿四日(近世)	今野(今野助一郎)、拝上	中畑様(中畑友五郎)	状	1	
3	135	2	7	証書(「下等小学第六級卒業候事」)	明治九年十二月廿三日	第七大学区宮城県管下第三中学区第五十二小学区・岩沼小学校(「五十二番学校之印」)	中畑左角・十四年九月	状	1	
3	135	2	8	[月給支給状](「月給金四円支給候事」)	明治十四年九月一日	(「宮城県名取郡岩沼本郷戸長役場之印」)	筆生・中畑清治	状	1	
3	135	2	9	[月給支給状](「月給金三円五拾銭支給候事」)	明治十四年一月	(「宮城県名取郡岩沼本郷戸長役場之印」)	筆生・中畑清治	状	1	
3	135	2	10	[申付状](「岩沼本郷戸長役場筆生申付候事。但、月給金貳円五拾銭下賜候事」)	明治十二年六月五日	(「岩沼本郷戸長役場之印」)	中畑清治	状	1	
3	135	2	11	[申付状](「第八大区小十区・岩沼郷」組扱申付候事」)	明治八年四月	宮城県	第八大区小十区・岩沼郷農・中畑清治	状	1	
3	135	2	12	[申付状](「岩沼本郷定雇申付候事。但、月俸金貳円給与候事」)	明治十一年十一月廿二日	(「名取郡役所」印)	中畑清治	状	1	
3	135	2	13	証書(「下等小学第七級卒業候事」)	明治九年六月廿六日	岩沼小学校(「五十二番学校之印」)	清治長男・中畑左角・十四年三月	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	135	2	14	1	〔封紙〕	(7月25日カ、天保3年以前カ)	広賢(古内広賢)	伊藤繁右衛門殿	状	1	本来は3-135-2-14-3〔書状〕のみの封紙か。
3	135	2	14	2	〔古内氏直書〕(「此間申付候村々備糶、弥以来ル二三日之内見分可申候」)	七月廿八日(近世)	広(古内氏)	伊藤繁右衛門殿	状	1	
3	135	2	14	3	〔古内広賢直書〕(「昨日申付候義、如何相成候哉」左角同道二而源十郎出勤致候様、早速首尾合候様致度候」など)	七月廿五日(天保3年以前)	広賢(古内広賢)	伊藤繁右衛門殿	状	1	
3	135	2	15		〔書状〕(「從 殿様、日外雀之画拝借罷在候ヲ御用ニ相入候に付」など)	十二月四日(近世)	吉田万(自分書「菊庵」)	仙・中畑友五郎様(自分書「重習齋先生」)	状	1	
3	135	2	16		〔申達状〕(「故景長様御子 興照院様 二百回御忌」について)	正月十一日(近世)	白石屋敷・小見平次郎	岩沼御屋敷・横田四郎兵衛様、御詰合中様	状	1	
3	135	2	17		〔申達状〕(「別紙写<3-135-2-18・19各「御触写」>之通両通御触到来仕候間相下申候。被相達 御聴候様仕度候」など)	(文久2年)六月十四日	横田四郎衛	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	18		御触写(3-135-2-17〔申達状〕)に言及のある「別紙写」の1通。「脇坂揖水様、去月廿三日御加判之列被 仰付、中務大輔与御名改被成候由公義使相達」など)	(文久2年)六月十一日	片平大丞	古内左近介殿(古内広居)、御連名有り	状	1	
3	135	2	19		御触写(3-135-2-17〔申達状〕)に見える「別紙写」の1通。「近衛大納言様御事、去月十二日左大将御推任被為蒙 宣下候段為御知申来候由、江戸より申来候」など)	(文久2年)六月十日、右御触十三日晚到来	片平大丞	古内左近介殿(古内広居)、御連名有り	状	1	
3	135	2	20		〔申達状〕(「泰寿院様御事御病氣之処、御薬用不被為叶、今日御病死被成置候段別紙<3-93〔申達状〕>之通向方御留主居より為御知状到来仕候間、指添申達候」など)	(文久2年)九月十一日	横田四郎衛	中畑友五郎様、御用前中様	状	1	
3	135	2	21		〔申達状(カ)(断簡)〕(「此度 御曹司様より玉崎之牡丹紅白式花、直々御貰受、被遊 御献上度被 思召候二付」など)	(近世)	伝之助(千葉伝之助)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	後欠
3	135	2	22		〔寒中見舞状〕	十二月廿一日(近世)	伊東貞介包秀(花押)	中畑先生(中畑友五郎カ)、坐右	状	1	やや破損
3	135	2	23		〔年頭祝詞状〕(「二白申上候。旧冬罷登、万端御世話様被成下、其上御厚情、難有仕合ニ奉存候」など)	正月元日(近世)	高沢弥一右衛門宣睦(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	24		〔年頭祝詞状〕(「二白」、「時に此頃伺上候処、御不快ニ被為入候由、如何被遊候哉」)	正月(近世)	我妻友代直寛(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	25		〔暑中見舞状〕	七月三日(近世)	窪田主一郎方盛(花押)	中畑貞治様(中畑貞次)、御同役様中	状	1	
3	135	2	26		〔書状〕(「貞治様御供御下り被遊、且御立寄被成下、難有仕合奉存候」など)	八月七日(近世)	三品清治郎	中畑先生様、参人々御中	状	1	
3	135	2	27		演舌(「悴名代ヲ以如斯御座候。且老人之和歌ヲ始手扣之通進上仕度さし添、如斯申上候」。「目録」として「当寿九十歳自歌自筆之短冊 岡崎忠太夫良輔」ら4名の和歌)	如月初一日(近世)	窪田、百拝	中畑君、御許に	状	1	
3	135	2	28		〔書状〕(「昨日ハ御麓末之至ニ奉存候。然者、明五日、朝飯、当寺ニ而進上仕候間、朝飯前ニ御越被下度待上候」)	六月四日(近世)	竹駒寺・納所	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	29		〔年頭祝詞状〕	正月十九日(近世)	伊東貞介包秀(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	30		〔年頭祝詞状〕(本文は漢文で記載。「はつ日影のとけき空や唐土もこまもひとつの夢そしらる」の和歌記載あり)	睦月初四(近世)	菱沼東作(藤元章)	中畑友五郎様	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	135	2	31	[書状]「私事も旧冬より不塩梅、此節ハ内腫二有之、扱々困切候仕合ニ御坐候」など	六月廿七日(近世)	桜森要七	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	32	[書状]「逗留中之入料書立別紙申聞、委細披見申候」など	十一月二日(近世)			状	1	前欠カ
3	135	2	33	[伺書(断簡②)]	(寛政9年頃カ)十月晦日	中畑左角(中畑種良)		状	1	付札1ヶ所。3-135-2-35[伺書(断簡①)]の「備考欄」参照。前欠
3	135	2	34	[付札カ]「吟味之通一段可然候。追々せいた之内ニ而見計相入可申、先ツ五分板ニ而当分宜候事」とのみあり	(寛政9年頃10月30日カ)			状	1	3-135-2-35、3-135-2-33の順に継がれていた[伺書]から剥離したのか。
3	135	2	35	[伺書(断簡①)]「此間被 仰付候御閑所御小用所敷居かもへ共ニ昨日迄ニ漸出来仕候」につき、普請の様子を報告。	(寛政9年頃カ)10月30日)	中畑左角(中畑種良)		状	1	本来3-135-2-35、3-135-2-33(各付札1ヶ所ずつあり)の順に継がれていたもの。全体の内容を3-135-2-35の「表題(内容)」欄に一括して示す。後欠
3	135	2	36	[古内氏直書カ]「順々相下置候雨戸数幾枚ニ可有之や」。「急之事ニハ無之候間、序之節可被申聞候」	十一月二日(近世)	(古内氏カ)		状	1	
3	135	2	37	①[申達状案]「各え申談候義有之候間、朝飯後則中嶋御屋敷え出勤可有之候」 ②[反別代銭割覚](①に上書きまたは②に①を上書き) ③[板戸・雨戸数覚](①の裏面に記載)	①八月三日(近世) ②③(近世)	①中左角(中畑左角)	①八巻源之丞殿、中山忠蔵殿、菊地忠左衛門殿	状	1	
3	135	2	38	[封紙①]([封紙②]に転用)	①(文化13年カ) ②(近世カ)	①富 ②岩沼より・ 飾(カ)より・たり	①中畑左角との(中畑種朋)へ ②二丁目ニ而・御兄様、人々御中	状	1	
3	135	2	39	己未安政六年四月 新陰流兵法陪臣御覧勝負附記録 方斎主	己未安政六年四月			状	1	
3	135	2	40	[書状]「御居館え罷出候様先度御紙表之趣奉畏、委曲承知致候所、此度急御用被仰付」など	十月五日(文久3年以前)	斎藤新兵衛(白石領主片倉家中)	中畑友五郎様	状	1	
3	135	2	41	[願書案(断簡③)]	(宝暦5年)			状	1	3-135-2-42[願書案(断簡①)]の「備考」欄参照。前欠、やや破損
3	135	2	42	[願書案(断簡①)]「御子様附・御目付」「両御役目御免被成下度奉口口願候」。願の理由たる療治歴を詳細に記す	(宝暦5年)			状	1	本来3-135-2-42、3-135-2-43、3-135-2-41の順に継がれていたもの。全体の内容を3-135-2-42[願書案(断簡①)]の「表題(内容)」欄に一括して示す。後欠
3	135	2	43	[願書案(断簡②)]	(宝暦5年)			状	1	3-135-2-42[願書案(断簡①)]の「備考」欄参照。前後欠
3	135	2	44	[願書案]「拙者次男同苗善次郎儀、当四歳ニ罷成候を、斎藤伴治養家督ニ内々申合候」など	天明三年二月十五日	中畑左角(中畑種良)	窪三郎左衛門殿(窪田三郎左衛門)、吉源兵衛殿、古惣左衛門殿(古片惣左衛門)、鈴市左衛門殿、中藤右衛門殿	状	1	本文全体にかかる抹消線あり。
3	135	2	45	[願書(断簡)]「拙者儀、奥老御役目御免被成下度奉願候」。去年御役御免願以降の腰痛療治歴あり	(近世)			状	1	後欠
3	135	2	46	[名札]「古内左近介使者・中畑貞次」とのみあり	(安政3年4月以降)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	135	2	47	[依頼状]（「曹洞教会結社周旋係御依頼候事」）	明治十一年十月廿二日	宮城県曹洞宗・中教院（「宮城県曹洞宗中教院」印）	法常寺檀徒・中畑清治	状	1	
3	135	2	48	[年頭祝詞披露消息]（「於佑様御機嫌よくならせられ、春陽之春へ御重歳被遊」など）	（安政6年以前）	貞鏡院（古内広居祖母）	八十瀬さま、富江さま、人々御中	状	1	
3	135	2	49	[まじない方覚]（「夜中目のサムル方」、「庭の石にコケヲ思俣ニ付ニハ」など）	（近世カ）			状	1	
3	135	2	50	[寒中見舞消息返書]	（近世）	とゑ（古内広賢妻）	おゑいさま、人々御返事	状	1	
3	135	2	51	[名札3枚綴]（3枚とも「古内左近介火消役・中畑貞次」とのみあり）	（安政3年4月以降）			冊	1	
3	135	2	52	明治六癸酉年八月十三日 仙止郎事菊田三九郎え賀養子二付親族及祝義申受帳（「諸私記」および「金貳拾五銭 内小路・伊藤良泰殿」ら6名の祝儀金書上げ）	明治六癸酉年八月十三日			冊	1	
3	135	2	53	中畑元区長慰勞寄贈金寄付人名（「金五拾銭 松尾小左工門」ら75名「計金拾参円」）	（明治36年8月23日の中畑清治死去以前）			冊	1	
3	135	2	54	[岩沼館由来書上げ]	（近世カ）			状	1	
3	135	2	55	[願書案]（「中畑左角、当五拾壹歳ニ罷成、傷寒之症相煩、当六月廿五日病死仕候」につき「賀養子同性（姓）友五郎」への相続について）	天保四年八月十七日	高沢弥一右衛門孝宣（「高」印）（花押）、千葉十右衛門胤（「胤益」印）（花押）	八数佐殿、磯彦太夫殿（磯村彦太夫）、橋九兵衛殿（橋元九兵衛）	状	1	
3	135	2	56	[願書]（「拙者義、定詰御免被成下度奉願候」。文政9年12月以来の履歴記載あり）	文政十三年十二月六日	中畑友五郎種良（「藤」印）（花押）	大秀助殿、八数佐殿（印を塗抹）、横東輔殿	状	1	
3	135	2	57	[願書]（「拙者義、仙御屋敷夫婦定詰御免被成下度奉願候」。嘉永4年3月以来の履歴記載あり）	慶応三年八月廿三日	中畑友五郎種良（「専」印）（花押）	古専蔵殿（古片専蔵）、只欽吾殿（只野欽吾、只野克己、禰齋）、横四郎兵衛殿（横田四郎兵衛）、岩大之進殿（岩淵大之進）、境茂右衛門殿	状	1	
3	135	2	58	[中畑家過去帳]	（記載内容：宝永2年12月12日～昭和22年1月20日）			状	1	
3	135	2	59	[中畑家過去帳]	（記載内容：宝永2年12月12日～慶応元年4月4日）			状	1	
3	135	2	60	天保十己亥歳十月廿九日 藤原種良後妻娶候二付祝義もの留帳	（記載内容：天保10年10月29日～11月26日）			冊	1	
3	135	2	61	[中畑家人別書上案]（「八人」書上げ。）	慶応三卯年三月廿五日	中畑友五郎		状	1	
3	135	2	62	不時老季（中畑友五郎および嫡子貞次、知行高・年齢・役職等書上げ）	（万延元年6月）	（中畑友五郎種良）		状	1	後欠

中畑善策氏所蔵資料目録

3	135	2	63	[中畑種良学問修行書上案](「儒学拙者義、古内弘見家中伊東恭蔵門弟二而稽古仕」など)	天保十三年十一月	右弘見(古内弘見(古内広賢))内・中畑友五郎種良(花押)		状	1	
3	135	2	64	[披露状](「私義今日御町扱被 仰付、難有仕合ニ奉存候」など)	十一月廿三日、(裏書き)十一月廿八日(近世)	中畑友五郎種良(花押)、(裏書き)我妻庄太郎直氏(カ)(花押)	我妻庄太郎様、(裏書き)中畑友五郎殿	状	1	
3	135	2	65	[披露状](「私義今朝日仙奥方御 〆り家内定詰被 仰付、難有仕合奉存候」など)	(嘉永4年)三月朔日、(裏書き)(嘉永4年)三月十一日	中畑友五郎種良(花押)、(裏書き)菱沼東作元(菱沼元章カ)(花押)	菱沼東作様、(裏書き)中畑友五郎殿	状	1	
3	135	2	66	[披露状](「今十五日私義、御目附使番・長之助様御書物御相手被 仰付、難有仕合奉存候」など)	(嘉永2年)己酉五月十五日、(裏書き)(嘉永2年)五月	中畑友五郎種良(花押)、(裏書き)横田四郎衛定高(花押)	横田四郎兵衛様、(裏書き)中畑友五郎殿	状	1	
3	135	3		[古内主膳直書](「此家之地蔵様えも名代相勤、三人之身之上安全之義可申上候」)	二月十三日(安永3年以前)	主膳(古内主膳)	中畑喜右衛門殿	状	1	
3	135	4		[古内重興直書](「中畑与右衛門二、為養生之、望之節者酒をとらせ可申候」)	十九日(宝永2年11月以前カ)	重興(古内重興)		状	1	
3	135	5	1	[封紙]	(明治26年1月)	法常寺	中畑清治殿	状	1	
3	135	5	2	[累代居士号授与状](「明治十七年孟冬当寺廿三世仏心代庫裡ノ再建ヲ翼賛シ」など)	明治廿六年一月	法常現住廿四世凌雲大秀叟(「法常禅寺」印)(「大秀」印)	壇徒・中畑清治	状	1	
3	135	6	1	[封紙]	(天保10年11月8日の南山死去以前)	紹観、九拝	南山(瑞鳳寺14世住持)、尊侍史	状	1	
3	135	6	2	[書状](「今日方登山可仕候内々含罷在候処、此間小僧寺人無人方二年存失敬申上候」など)	十一月朔(天保10年以前カ)	(紹観カ)	(瑞鳳寺14世住持南山カ)	状	1	3-135-6-1[包紙]の備考欄参照。
3	135	6	3	[書状](「江府役寺より之住触書昨日」「到来仕候処、雲山則相達申候。乍然不有号相認候而可然哉」など)	十二月十四日(天保9年以前カ)	(紹観カ)	(瑞鳳寺14世住持南山カ)	状	1	3-135-6-2[包紙]の備考欄参照。
3	135	7		[書状案](「中畑氏ハ母ノ出タル家ニシテ、今後嗣ナケレハ父母僕ニ命シテ其後ヲツカシム」など)	文政十一年五月日	中畑種良、再拝	味菴先生(志村味庵、志村退蔵、志村利安)、函丈	状	1	
3	135	8	1	[ハترون紙製封筒](青ボールペン書きの上書き「貞次」)					1	
3	135	8	2	[書状](「爰許産婦も旧六月十九日男子出生、安産、中町ろく事も旧六月廿五日女子出生、平産」の他に赤痢の流行など)	旧七月廿六日(明治)	清治(中畑清治)	おていさま	状	1	
3	135	8	3	[書状案](「御申越之趣ニハ、其御地え居住致度願之趣ニ相見得候得共」など)	(明治)廿三年八月十三日発ス、廿三年五月十四日便り	新潟県越後国南蒲原郡加茂町字定光寺長屋五十嵐三五郎殿方・斎藤良平		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	135	8	4		〔書状〕〔「伺候得共、九月廿三日御出帆之途中暴風二罹り、種々御混(困)難、烈風雨ニテ昼夜之別ナク御働之段」など〕	十一月九日即答(大正2年以前)	中畑左角	大泉橋三郎様	状	1	
3	135	8	5		〔申達状〕〔「去月分御奉公金残分之處、今日中御取都御返シ被下度候品者」など〕	十二月五日(近世)	鈴木良蔵	中畑貞次様	状	1	
3	135	8	6		記〔「木綿縞 吉反 大泉氏」代金85銭程など9件〕	(明治)			状	1	
3	135	8	7		①〔金銭借用証文案〕(借用金額記載無し) ②〔横田儀衛家人別書上げ〕(①の裏面に記載。家内6名分)	①明治五申年二月 ②(明治6年)西ノ五月	①借用 人・一、親類・一、菅間由之助(カ)、 〃組合・斎藤三五郎 ②横田義衛	①八嶋英雄(抹消)、佐藤玄円老	状	1	
3	135	8	8		〔書状〕〔「御尊父様事御病氣ニ被為有候由、如何被遊候哉」など〕	正月十九日(近世)	岩沼より・菊庵(吉田菊庵、吉田万)	仙御屋敷二而・中畑貞次様	状	1	
3	135	8	9	1	〔封筒〕	六月四日発(消印「明治七・七・五・午前 岩代福島」)	岩代国福島町・中畑久助	陸前国岩沼本郷・中畑清次様(中畑清治)		1	切手切取られ欠
3	135	8	9	2	〔書状〕〔「去ル廿九日御仕出之御状去ル一日到来、拝見仕、御紙面之趣委詳承知仕候。扱、久七事」など〕	(明治7年)七月三日	福しま・鴛田屋(中畑久助)	中畑清次様(中畑清治)	状	1	
3	135	8	9	3	〔書状〕〔「此度久七義其許様方え罷出、壹兩年之間奉公執行致度段御願申上候二付」。など〕	(明治7年)五月廿五日	中畑久助	中畑清治様、 拜上	状	1	
3	135	8	9	4	〔書状案〕〔「去月廿七日より久七様御事御病氣ニ而轟ト御平臥ニ御坐候」。など〕	(明治7年)六月十八日	中畑清治	中畑久助様	状	1	
3	135	8	9	5	〔書状案〕(3-135-8-9-4〔書状案〕とほぼ同文)	(明治7年)六月十八日	中畑清治	中畑久助様、 人々御中	状	1	
3	135	8	10		〔書状〕〔「時ニ御姉さま御単物出来相成候二付」など〕	正月廿五日(近世)	岩沼より・大泉源太左衛門	仙二而・中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	135	8	11		当郷百姓中畑清治口上伺申上候事	(明治4年)未ノ十一月	当郷百姓・中畑清治		状	1	
3	135	8	12		〔申達状〕〔「明九日御用之義有之候二付、朝五つ時揃二而、御同役御一統 御城え罷出候様被仰渡候段御通達仕置候処」など〕	四月八日(近世)	貞次(中畑貞次)	(合点)逸平様(瀧沢逸平)、(合点)次郎衛様(八木次郎衛)、(合点)五太夫様(三浦五太夫)、(合点)永治様(吉田永治)	状	1	
3	135	8	13		〔申達状〕(①「此度、党類を催し、人家え押入、金銭等掠奪致候者有之、所々横行二付」-②貼継の「別紙写」)	①十一月九日(①②とも近世)	①貞次(中畑貞次)	①(合点)逸平様(瀧沢逸平)、(合点)次郎衛様(八木次郎衛)、(合点)五太夫様(三浦五太夫)、(合点)永治様(吉田永治) ②御名(古内氏)、佐々備中、黒沢要人・留主居へ	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	135	8	14	①[願書案](「菊地庄吉母末次(須ノ誤カ)事、此度極難洪二付」) ②[中畑家人別書上](①の裏面に記載。中畑貞次以下6人)	①明治三年八月十五日 ②明治四辛未年正月廿日	①親類・鈴木文五郎成(カ)行(印)(花押)、右永次倅・菊地庄太郎直定(印)(花押) ②中畑貞次印	①中畑貞治様(中畑貞次)	状	1	
3	135	8	15	[寒中見舞状](「先日者一寸罷出候所、あやにく御留主え罷出、残念至極ニ奉存候」など)	十二月(近世)	中畑貞次種(中畑貞次種昌)(花押)	丈太夫様(伊藤丈太夫)	状	1	折紙一部切取られ欠
3	135	8	16	[廻状](「来ル九日御用之義有之候条、朝五つ時揃二而 御城え被出候様其御心得可有之候」)	四月七日(近世)	中貞次(中畑貞次)	次第不同、沼倉宮蔵殿(印ナ)、芳賀久右衛門殿(印)、千葉弥三太殿(印)(ほか20名)	状	1	付札1ヶ所あり
3	135	8	17	[名札](「古内左近介使者 中畑貞次」とのみあり)	(安政3年4月以降)			状	1	史料裏にフェルトペン書きで「維新当時」と書き込み。
3	135	8	18	[中畑清治戸籍情報書上げ]	(明治5年)申ノ二月	中畑清治、七十六番伍長・伊藤六之丞		状	1	
3	135	9	1	[ハترون紙製封筒](青ボールペン書きの上書き「左角 喜右エ門 左角 和多利」)					1	
3	135	9	2	[知行高内訳書](高375文の内訳)	明和三年十月十日		中畑左角	状	1	
3	135	9	3	[書状](「四月渡二返上之御米を六月渡迄御のべ被下、渴命相続仕候様被成被下度奉存候」など)	三月十二日(安永2年以前)	千葉加右衛門	中畑喜右衛門様	状	1	
3	135	9	4	[古内氏直書カ](「証文致如何延引ニ候や。初発其方令直談、弥以取組ニ相成、延引ニ相成候義ハ先以不分之方ニ候」など)	十一月廿一日(近世)	(古内氏カ)	中畑左角殿へ	状	1	
3	135	9	5	[仰渡状](「此度書メ文ニ書石八斗金三切之銘を以御手伝被召上候二付」など)	明和五年九月朔日		中畑和多利(中畑種良)	状	1	
3	135	9	6	[古内氏直書副状](「又々湯治可然哉与存候得共、先ツ見合おき候」など)	三月五日(近世)	(古内氏)	左角とのへ(中畑左角)	状	1	
3	135	9	7	1 [封紙]	(2月15日、近世)	大満寺・納所(「大満禅寺」印)	中畑左角様	状	1	
3	135	9	7	2 [書状](「先日申達候通、御用宿迄御入米被下候様御咄仕候処、御透無御座候哉」など)	二月十五日(近世)	大満寺・納所	中畑左角様、御同役衆	状	1	
3	135	9	8	[年貢内訳書](収納の年貢「米書石六斗六升」・「大豆書斗九升」・「今代七百八拾四文」の内訳)	明和五年十月		中畑和多利(中畑種良)	状	1	
3	135	9	9	[古内氏家中奉書](「御自分義前々被相頼上候御納戸金、此度御元利上納仕、親喜右衛門始数年世話致上」など)	正月四日(文化3年以前)	古片惣左衛門定恭(花押)	中畑左角殿(中畑種良)	状	1	
3	135	9	10	[古内広寿家中奉書](「此度江戸御登方御金不調達二付」など)	(明和3年)三月三日	伊藤茂左衛門良口(一字花押に隠れる)(花押)	中畑左角殿	状	1	
3	135	9	11	[古内広賢直書](「内々為申聞置度義有之候間、病氣押而も只今之内鳥渡出勤可致候」)	四月廿六日(近世)	広賢(古内広賢)	中畑左角殿	状	1	
3	135	9	12	[申達状案](「主膳様明廿一日北長谷山被遊御鹿山候二付」など)	十月廿日(近世)	中畑左角	平田喜衛様、阿部源蔵様、草刈三郎次様、相原嘉門之助様	状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	135	9	13	〔古内氏直書カ〕(「其方病氣如何致候哉。猶取詰薬用齋日之内押而も出勤可被下候」など)	四月十八日(近世)	(古内氏カ)	中畑左角殿へ	状	1	
3	135	9	14	〔書状〕(「岡ヶ崎・熊目へ昨夕相越、品々及相談候。随分宜敷都合にて有之、此節大慶存候。」など)	十一月廿日(近世)		中畑左角殿	状	1	
3	135	9	15	〔書状〕(「武蔵村御知行所之義二付」など)	九月廿日(近世)	今野助一郎	中畑様(中畑友五郎)	状	1	
3	135	9	16	〔書状〕(「三迫武鎗村御知行所御地肝入直治不都合之取扱振二付」など)	九月廿一日(近世)	今野助一郎	中畑友五郎様	状	1	
3	135	9	17	〔古内広賢直書〕(「左京太夫様御事当五月始而御入部被成候」など)	(天保2年)八月四日		中畑左角殿へ(中畑種朋)	状	1	
3	135	9	18	①〔伺書案〕(「初太郎様御家中誰養女拙者嫡子同氏左覚妻二縁組申度奉窺」) ②〔本願書案〕(同前内容の本願書)	①(享保17年)六月 ②享保十七年六月	①中畑喜右衛門重判 ②中畑喜右衛門種寛(花押)	②御家老宛書	状	1	
3	135	9	19	〔披露状〕(「拙者儀、御自筆を以御米半俵頂戴被仰付」など)	八月廿一日、(裏書き)八月廿四日(文化2年以前)	中畑左角種良(花押)、(裏書き)片平清左衛門定龍(カ)(花押)	片平清左衛門様、(裏書き)中畑左角様(中畑種良)	状	1	
3	135	9	20	〔付札〕(「口古内弘見儀在所罷有申候間御触之趣留置申候様可仕候」)	(近世)	中畑左角(中畑種朋)(「専」印)		状	1	
3	136	1		〔紙縫紐〕					1	
3	136	2		〔書状案カ〕(「御積氣之腹痛二宜薬」芍薬吉芍分など「八味」、および「枇杷葉湯」の調合法・用法などについて。)	(近世)	中畑友五郎		状	1	後欠カ
3	136	3		〔草花覚〕(「菊花弐文」など6件。「三」とあり)	(近世カ)			状	1	
3	136	4		〔薬覚〕(「渡辺皆人伝授」の「中風補薬八味丸」など)	(近世カ)			状	1	
3	136	5		〔薬覚〕(「新町重蔵伝授」の「瘡毒ノヨリヘカミ油ニテ和シテ用」五薬)	(近世カ)			状	1	
3	136	6		〔薬法書(断簡カ)〕(食中毒薬等の調合法。「東都ヨリフレイダサレ仙府へ来り、岩沼へ来ルヲ写ス」とあり)	(近世)			状	1	
3	136	7		〔薬覚〕(「積氣・心腹痛」の薬などの処方)	(近世カ)			状	1	前後欠カ
3	136	8		〔薬覚〕(「しゃくつかへ腹ノ痛、万病ヨシ」の薬の処方)	(近世カ)			状	1	折紙一部切取られ欠
3	136	9		三因方解毒円(郡村に仰せ渡された薬の調合法の抄写)	(原文天保4年8月梓行)	(佐々城朴安梓行)		状	1	
3	136	10		〔料理関係古書(断簡)〕(写本。「松茸砂漬之方」、「御膳御酒造方」、「一夜鮓之事」、「同鯛の鮓之事」、「竹の子すしの方」)	(近世カ)			状	1	
3	136	11		〔料理関係古書(断簡)〕(写本。「岡崎流たれ」、「ゆへしの事内匠殿流」、「こなふもミ様之事」、「きり麦の事」、「梨持様之事」)	(近世カ)			状	1	
3	136	12		〔料理関係古書(断簡)〕(写本。「塩鳥魚急二塩出候方」、「粉からし」、「浅間氷餅の事」、「鮎披キ漬之事」)	(近世カ)			状	1	
3	136	13		〔料理関係古書(断簡)〕(写本。「ふの拵様」、「御所麩之方」、「諸鳥塩水へ漬之方」、「さゝけやうかん」)	(近世カ)			状	1	
3	136	14		〔料理関係古書(断簡)〕(写本。3-136-18の続き。「水餅仕様」、「干鱈」。「右書物、大内氏より無心、写候」とあり)	(近世カ)			状	1	
3	136	15		〔料理関係古書(断簡)〕(写本。「みつかんへし」、「干鱈」)	(近世カ)			状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	136	16		[願書]「代四ノ文、平吉」、「代三ノ文、六兵衛」、「右之通御納戸御用代先年より奉拝借居候処」など	寛政四年四月八日	北長谷村拝借人・平吉(印)、同村口入・六兵衛(印)	御納戸御貸付・御役人様中	状	1	
3	136	17		[料理関係古書(断簡)](写本。「薯蕷まんちう」、「同方」、「三川味噌之仕様」、「当座くき漬仕様」、「青漬袖の方」、「ふ、土佐麩の方」)	(近世カ)			状	1	
3	136	18		[料理関係古書(断簡)](写本。「当座白味噌の方」、「酢作り様の事」、「烏魚塩早出の方」、「大角豆漬様」)	(近世カ)			状	1	
3	136	19		[料理関係古書(断簡)](写本。3-136-17の続き。「醤油の方」、「むし玉子」、「麩餅仕様」、「たれけいらんの方」)	(近世カ)			状	1	
3	137	1		[ハترون紙製封筒](封筒裏に墨書きで「中畑さんから拝借四点(八、十六)」)					1	「昭和二十三年一月九日第三種郵便物認可」の「月刊川柳宮城野」封筒使用。
3	137	2		[帳仕立伺書(案カ)(断簡)](「御曹司様御事」「来ル十一日被遊御出陣候段」について)	(慶応4年)			状	1	
3	137	3		[伺書(案カ)](「御曹司様御事、今般 御出陣二付、在所岩沼居館え被為 入」など)	(慶応4年)辰七月	古内左近介(古内広居)		状	1	
3	137	4		[披露状](「大殿様益御機嫌能歳暮之御祝儀可被遊御整恐悦至極之御儀奉存候」など)	十二月晦日(近世)	伊藤丈太夫良泰(花押)、中畑友五郎種良(花押)、千葉伝之助胤良(花押)。(裏書き)高沢専治宣睦(花押)	高沢専治様。(裏書き)千葉伝之助殿、中畑友五郎殿、伊藤丈太夫殿	状	1	
3	137	5		[願書](「拙者表借屋二同町善兵衛次男善五郎夫婦借屋二指置申等二内々申合候付」など)	天明七年十二月	北町御百性三之助跡・後家女(印)、右五人組頭・久吉(「静」印)。(末書)検断・佐藤清七(印)	検断・佐藤清七殿、(末書)九内様、左覚様(中畑左角種良)	状	1	
3	137	6		[家中弘証文案](「主人家中馬上役八木次郎衛弟同氏文蔵儀」など)	慶応四年六月	古内左近介(古内広居)家老・伊藤清之進	勝三郎様(宮床領主・伊達勝三郎)御家老・佐藤丹下殿、御同役衆中	状	1	
3	137	7		[伺書(案カ)](「私儀秋冷為 御機嫌伺上府仕候処、此度御暇被 仰出候ハ、直々御番相勤候様可仕哉」)	九月(近世)	古内弘見(古内広賢)		状	1	
3	137	8		[達書(案カ)](「屋形様御官位御昇進被 仰出候二付御悦申上候」など)	(嘉永7年)三月	古内弘見(古内広賢)		状	1	
3	137	9		[年頭祝詞状]	正月元日(近世)	千葉伝之助胤良(花押)	中畑友五郎様	状	1	
3	137	10		[和漢朗詠集・子日付若菜]	(近世)	養賢堂に而教居鈴木三左衛門先生之書也		状	1	
3	137	11		[書状](「今度左氏伝、全部に而払物相出候所、随分悦、好物之様二御坐候間」など)	五月六日(近世)	志村敬太郎	中畑友五郎様	状	1	
3	137	12		[漢詩詠草](「聴夜泉」(五言律詩)、「故行宮」(五言絶句)、「同諸子遊烏円潭石上題」(五言律詩)の3首)	(弘化2年1月14日の志村篤治死去以前)	志村篤(志村篤治、志村弘強)		状	1	

中畑善策氏所蔵資料目録

3	137	13		〔書状〕〔御手本紙御入料手形沓切被相返、樋二受取、式帖求置申、取紛、受取先より不遣候所〕など	八月廿二日 (近世)	菊庵(吉田菊庵、吉田万)、 拝	重習館様(中畑友五郎)	状	1	
3	137	14		天保三壬辰六月唐通辞平野案十郎ヨリ到来書簡(唐国情勢や琉球人来着など報ず)	天保三壬辰六月	(唐通辞平野案十郎)		状	1	
3	137	15		〔断簡〕〔時之文、其品々多故、先大概有増書記畢。右一帖者門人為筆墨〕とある部分のみ)	(近世カ)			状	1	後欠
3	137	16		〔人別村証文〕〔北町御百性弥蔵添人喜左衛門聲慶治〕について「此度不縁ニ付離別仕」など	弘化二年正月	北町検断・周蔵(印)	中畑友五郎様	状	1	
3	137	17		〔人別村請証文〕〔貴体様御下中慶治義、当式拾貳歳ニ罷成候ヲ、当御町御百性弥蔵添人喜左衛門聲ニ致縁組度段申出候間〕など	天保十五年正月	北町検断・周蔵(「藤原清之(カ)」印)	中畑友五郎様	状	1	
3	137	18		〔書状〕〔如例年御代参中畑喜右衛門殿被差遣〕など	三月五日(安永2年以前)	三日市太夫次郎芳光(花押)		状	1	折紙端欠
3	137	19		〔申付状〕〔岩沼本郷消防組頭取申付候事〕	明治十年三月十八日	(「宮城県第二大区一小区区務所」印)	第二大区一小区・岩沼本郷・平民・門真良作	状	1	
3	137	20		〔古内左近介広居家内人数書上〕〔古内左近介五拾歳〕ほか古内家内11名書上)	(慶応3年)			状	1	
3	137	21		〔書状〕〔其後罷出度奉存候段、如何様にも留主居無之〕など	三月廿六日 (近世)	菊庵(吉田菊庵、吉田万)、 拝	口畑友五郎様 (中畑友五郎)	状	1	
3	137	22		〔書状〕〔目当なしニ申進候も如何と相心得候方より、天下の珍本七冊さし上候間〕など	八月八日(近世)	吉之介(志村吉之介)	友五郎様(中畑友五郎)	状	1	
3	137	23		〔漢詩詠草〕〔秋郊閑望有閑〕にして吟じた七言律詩。割注に「曾余与岡韜斎従梅屋先生遊于宮城野。先生没十三年于今矣」とあり)	(天保9年)	静斎雄草(油井牧山)		状	1	前欠カ
3	137	24		〔秋山玉山「望芙蓉峰詩」〕	(明治11年4月8日の吉田菊庵死去以前)	菊庵(吉田菊庵、吉田万)		状	1	
3	137	25		十一月十八日茶事(茶事の次第書立て)	(11月18日、近世)			状	1	
3	137	26		〔書状〕〔若殿様御習草ニ被遊候に付〕など	五月三日(近世)	(吉田菊庵(吉田万)カ)		状	1	
3	137	27		〔披露状〕〔大奥様益御機嫌能歳暮之御祝儀可被遊御整恐悦至極之御儀奉存候〕など	十二月晦日 (近世)	伊藤丈太夫良泰(花押)、中畑友五郎種良(花押)、千葉伝之助胤良(花押)。(裏書き)高沢専治宣睦(花押)	高沢専治様。(裏書き)千葉伝之助殿、中畑友五郎殿、伊藤丈太夫殿	状	1	
3	137	28		写(「今般慶邦実子亀三郎え更ニ二十八万石下賜、仙台城御預被 仰付候処、幼弱之儀ニ付」など)	(明治元年)十二月十二日	行政官	伊達亀三郎重臣え	状	1	
3	137	29		〔表紙(断簡)〕〔「口古」内弘見え被相預置候御給主口(切)支丹宗門御改人数一紙帳 勝(花押)〕	(文政4年4月の古内広賢相續以降)			状	1	
3	137	30		〔書状〕〔昨夕御留主居病人見舞方御尋も申上候勘弁ニ而、愚妻罷出候所、実ハ土産もの取落ニ相成〕など	五月十五日 (近世)	菊庵(吉田菊庵、吉田万)、 拝	方斎先生、玉几下	状	1	
3	137	31		御朱印写	文化九年四月	徳川家斉印	片倉小十郎(片倉村典)え	状	1	
3	137	32		〔岩沼給主具足料金払願案(断簡④)〕	(文久2年)六月廿八日晚	御名本御重判(古内左近介(古内広居))	御奉行衆御連名	状	1	3-137-34〔岩沼給主具足料金払願写(断簡①)〕の「備考」欄参照。前欠

